諳軒日抄

月

共四十三

太政官文庫
和書門 類
三二二一七 號
二二五 函
九 架
四三 冊

内閣文庫
和書 類
三二二一七 號
一五・函
一九 架
四三 冊

内閣文庫		
番號	和 32217	
冊數	43(	3)
函號	150	130

裏面記載のない箇所は省略

国立公文書館
National Archives of Japan

異変取扱一件

目録

一 召捕人之事
二 他所者之事
三 他所行之事
四 御料地頼合之事
五 酔逆上并病人酒狂之事
六 倒者之事
七 手負人之事
八 変死人之事
九 病死人之事
十 理不尽ニ打逆手負人之事
十一 手負人取扱并用意之事
十二 喧嘩口論并手負人療治之事
十三 捕手遣候節之事

一 長崎会所有銀名目取書之
二 長崎奉行所御役屋敷之部
三 長崎奉行手附書記十ヶ条
四 長崎奉行所御用部屋之部 市中人別之事
五 長崎奉行所御触書記数ヶ条
六 唐船入津前後伺書上之事
七 長崎奉行所触書記数ヶ条 但長崎書

日本政府図書

十四　一　乞食之倒者之事
十五　一　辻番無之場所ニ倒者有之節之事
十六　一　門内ニ而出倒者有之候之事
十七　一　御成道并御代官支配之寺社方ニ而倒者若方
　　　ニ而倒者之節両方共見文ニ而済之事
十八　一　倒死ニ懐中ニ金銭之事
十九　一　自分屋敷前ニ而自分家来ニ切殺候節之事
二十　一　捨馬之事
廿一　一　川ニ致溺死候之事
廿二　一　武器類之事
廿三　一　疵負候者[illegible]之事
廿四　一　屋敷内捨物并変死之事
廿五　一　書付類之事
廿六　一　捨物主出候節之事
廿七　一　捨文之事
廿八　一　捨子之事
廿九　一　書上ヶ文言之事
三十　一　其人不知之節書上ヶ之死骸之事
卅一　一　其人不知之出子細不知之節之事
卅二　一　捨子養子先ゟ[illegible]家督止之者出奔
卅三　一　捨子死骸見分之事
卅四　一　其人不知ニ而[illegible]歳見分之事
卅五　一　同所分知行所ニ而出会之事
卅六　一　屋敷内并屋敷内捨子所々ニ而捨候節之事
卅七　一　捨子之預ヶ物[illegible]之倒死之事
卅八　一　捨子貰[illegible]病死之倒死之事
卅九　一　新規捨子有之候節之事
四十　一　迷子之事
四十一　一　拾物之事

四十二 水死者之事

四十三 御場内之部

四十四 溺入物之事

四十五 御場江人立入候節之部

四十六 身投者之事

四十七 喧嘩口論之事

四十八 御殺生場喧嘩并悪口申者打擲御座之部
同例なし

四十九 欠落者之部

五十 放火之部同例なし

五十一 御目見以上屋敷并同所組合辻番所江差置
物之事

五十二 乱心者之若欠込候節之例なし

五十三 辻番所江差置候者之部之部

五十四 家来ニ而屋敷取払之部同例なし

五十五 不届ニ而屋敷取払之部同例なし

五十六 御目付江問合例書

五十七 諸大名御鉄炮見分之節之部并同

五十八 御殿役人御鷹匠御仕置之部

五十九 御出入之御殿役人之屋敷破損之
通行之者御仕置之部

六十 御城内古来より御触之儀之部

一 屋浦内之事

一 万石以上并御家中御支配
　但御三家方家老者不

一 若年寄衆御支配
　本丸西丸之義御取扱ニ候處元文年中より向々
　御留守居方若年寄衆御用番ニ而上ヶ御取扱ニ相成様
　扱事
　但以前ニ者遠国奉行若年寄方御支配
　之分御座候内ニ而者是迄之通御用番ニ而
　上御支配方ニ而御取扱被成候ニ付是迄取扱
　御中之向人々御目付ニ而出勤ニ而者更ニ不
　中ニ者御座候ニ付是迄之通ニ而被成候
　享保十年九月

下ヶ札
御留守居方御支配若年寄衆御支配ニ而御座候

一 大字 長崎奉行前貸銀并目録出
　御附用之銀
　右者当暦文化之度用之銀ニ而御座候
　御取扱第一御出方并文政年中出方ニ付
　勘定所役御取扱之由ニ而取扱并支出
　切ニ相成候ニ付天保九戌年御勘定所附
　御勘定上ヶ之銀ニ而御附用之銀之儀
　同断ニ付御取扱書籍出方法度
　御国役并方出方之銀出ニ而之銀
　御中之分

一 御途銀
　是者御勘定并出方御用之銀ニ而
　御役人御勘定御取扱御代官方御勘定
　代所年寄御上ヶ高御代官宿並之分

一 御用銀ニ而減少入銀

之義享保十一年午九月大坂町奉行
江被仰出候書付之趣相心得候様申来候
候之儀ニ付右之趣御勘定所支配ニ而相
成候振合ニ而御心得可被成候

御札

一 地廻り之内ニ差支之義出来候節
出来候節御用方等又々其趣相届候義
ニ付候處ニ附置上者ニ相済候事

是ハ地方之内ニ而御用番江
上申候上ニ而相成候様仰付候
及御沙汰可申候

一 寄場之義ニ付切殺候ニ付罷越候
存之義差支可申之儀相済候事

是ハ御用番江可申上候事

一 是ハ在方ニ而御用番ニ付
相成候上御勘定所人足差出候分
方ニ而出来候節ハ町奉行人足差出候分

一 三ヶ所之訳
是ハ在方之儀ニ付町奉行所
御勘定所人足差出候分

一 諸道具之訳
是ハ御用物差出候訳差支候分

一 御朱印之訳
是ハ御朱印差出候分
御上納相成候分

一 御蔵入之訳

御用番ニ上ニ而相成候節ハ
上ニ方切殺候ハヽ其段相届候
御差図之上ニ而相成候様
可被仰付候

一 無宿之者并欠落之者捕候節ハ
町奉行所江相渡候上ニ而吟味之上
其者之親類并村役人共ニ呼出
吟味之上相済候

御沙汰御申

上之義者見廻之上町奉行所江
御勘定所江相届候上ニ而
相渡候様其段者以後ハ
御勘定所江相届候様可被仰付候
可被仰付候

一 是ハ寛政二戌年大坂御奉行ゟ
申上相成候分御勘定所掛之訳
地方役所ニ而之事

一 隠居入用之訳
是ハ文政六未年支配方掛之訳
御勘定所之分相成候分

一 御勘定方支配之訳
是ハ御勘定所之内御勘定所之
御用番ニ而御勘定所之
御勘定所之分

一 御勘定所差出并元高之訳
是ハ高掛之年貢之訳

[illegible]

諸札

御下札之趣ニ而相済候

諸札

一 安政二巳年三月廿日
御大目付衆[illegible]被仰渡候[illegible]

人足[illegible]地役[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 宝暦三酉年四月十二日
[illegible]

[illegible]

同断七ヶ年[illegible]

[illegible]成候分

一 下ノ関通船利銀
是ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]利銀[illegible]

一 地役人積銀
是ハ宝暦十二申年地役人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]成候分

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]成候

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 安政四未年七月十二日
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]上納人

一 地役人積銀
是ハ宝暦十二申年地役人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]成候分

一 薬種方用意銀
是ハ[illegible]七月十二日

[illegible]

一 俵物運賃川銀
是ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 商人[illegible]文傭銀
是ハ[illegible]村[illegible]

死罪之者取捨文字之儀相伺候ニ付申候

例
一 寛政七卯年十月廿四日
一 京都町奉行所ニ而[illegible]
肉ニ而差遣候ニ付[illegible]
申ニ付右之通ニ而上差遣死罪之者取捨
被申付候ニ付御覧之事
御吟味之節[illegible]
但所[illegible]書[illegible]
右之通

二
一 [illegible]之事
[illegible]
[illegible]
[illegible]
上申候[illegible]

本[illegible]
可申[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
寛政十年七月[illegible]

三
一 [illegible]之事
[illegible]
文政[illegible]

中札
一 [illegible]
寛政十二年十二月二日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二人之者[illegible]
[illegible]
[illegible]
候申候

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]申候

一 根證文[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]申候

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

岸之内ニ接ニ御座候町一番床店寄壱
人ニ而元捌来候場所ニ御座候へ共町々日雇とも
江対元捌候事
但シ町々ニ而も自分進退之元捌候事
右之通候ニ付此度相改候内ニ而被仰付候

十二月　御月番

一 出格子并武士様御屋敷様方御門出候
相ニ前後之御了簡之場所出入之元捌候
場所差出候覚大切之儀致事ニ御座候
御門出之場所ニ而元捌ニ付

以上

御札

御書取之趣相心得可申上候

一 拙者儀日雇之者共之場所出入之内ニ而
元捌之者共之場所ニ而元捌候

一 寺社地町地之者共御場所ニ而相改元
捌候事

御札

御書取之趣相心得可申上候

一

四 浜手地所之儀ニ付候事

一 町方地面首尾日雇人足元締捌来
之町々之場所ニ而元捌来候
場所之儀ニ而元捌之者共元捌ニ付

御札

御書取之趣相心得可申上候

一 寛保元酉年四月廿一日
中里町用屋敷之内ニ而元捌之
中里町屋敷之内ニ而坂尾源右衛門方ニ
相捌申候　所持之者
右之通御座候ニ付町人共之場所元捌

出生之内ニ而御座候文化
十四年町方之場所ニ而元捌之内ニ而
御座候ニ付町日雇人足元締元捌
之儀ニ御座候

一 浜手地所之儀

一 元捌之地所ニ而元捌之儀申上候
元捌之地所之内ニ而元捌七年
町方之地所ニ而元捌之儀ニ付
一町年番之内ニ而元捌之儀
右之通御座候ニ付元捌之儀
元捌之儀ニ而相心得可申候

一 御用捨
元捌之内ニ而元捌之儀ニ付御札捌之儀

相成候分寛政八辰年町方ニ而相改
右之通之場所ニ而元捌之儀ニ付
御座候ニ而元捌之儀ニ付
利得之者共元捌之者共ニ而
其後右之者共元捌之者共ニ而
一同相成候分

右之儀元捌之儀ニ付
之儀ニ而長崎奉行所ニ而
備前屋敷之儀ニ付

二 元捌之儀ニ付元捌之儀ニ付

上様ニ而御座候

御用捨代

出生之節上様ニ付
元捌之人元捌人
上様

中村与太夫手代共ゟ申出候ニ付猶又申付

右之通

御書付有之候得共右之御書付無之候ニ付

差出候ニ付町奉行所江申立候 [illegible]

於所々之宿々ニ而御料所私領等 [illegible]

在々所々之人馬 [illegible] 八月十日付

倒者之事

於 [illegible]

一 所々宿場村々ニ而倒者有之候節ハ

取計方之儀ニ付申達候事

御国内ニ而倒者有之候節ハ [illegible]

但御代官手付ニ而取計候事

右之通可相心得候

×

申渡之書付

六 倒者之事

寛政二戌年九月堀田摂津守殿御渡候御書付

一 手疵人

一 変死人

一 病死人

右之分是迄於御料私領共ニ訴出候節

支配之上見分検使等之儀町奉行所江申達候

処七日程迄之日限ニ而日数十日八日目ニ而

支配之ハ定例之通可相心得候事

但昨年之内ゟ右之通申達候

右之趣遠国奉行ニも申達候

申渡候事

右之通相心得可申候

所奉行衆

諸家家来

於年月以上御伺可申

御様

町奉行

一寺社奉行

寺社奉行ハ御用之節

並之通可相心得

社人山伏右ニ准ス

聖堂

戸田寺社奉行

御目付 [illegible]

[illegible] 役人

普請奉行

地方役人

寄合

勘定奉行

同医師

役医師

四谷三拝役

諸家用達

十四家々ニ付大目付

御之者

三番衆

小十人組

御納戸衆

町年寄役

右之御役々御目付

御目付

手習八郎兵衛

御代官仕

目付衆

砂利之儀ニ付

御免地之所

紅葉山之役人

御畳奉行

新地役人

御具足方

先達而同斉方ニ而[illegible]上[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
人[illegible]
右之[illegible]
御達申候
十二月　[illegible]
右者[illegible]十二月廿二日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
月日　[illegible]名

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
七ヶ村[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
月日　[illegible]名
[illegible]
[illegible]
[illegible]
十二月[illegible]
以上[illegible]
一 右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右者[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]

三 [illegible]暦大小之事

正月	三十一日
二月	二十八日
三月	三十一日
四月	三十日
五月	三十一日
六月	三十日
七月	三十一日
八月	三十一日
九月	三十日
十月	三十一日

中上ハ先ツ是迄之振合ニ而致シ置候事

〆少

　　但当年分支配方江支配之事ハ何ニ付

　　　右之通

×

聴

　　右者御沙汰ニ付申中支配并当年分支配方

　　被仰付候処支配内之儀ニ付御勘定所

　　ゟ支配方ニ付上申候得共右之通リ中村済

　　　　　人数之通リ書付

一　入江ニ御座候ニ付此段又者申上候処支配御儀ニ

　　付申候支配方之儀ニ付上之候支配方之儀ニ付上申

　　上之通リ支配ニ付御手当支配之儀取計申ニ

　　付支配之儀ニ付御書付取上申候ニ付候

　　下札

　　　　　　ニ申上候書付之通リ

【印】ゟ右之段御書付之通リ被仰付候

十二月三十日

十二月三十一日

　　但四ヶ年分之通リ被仰付候

　　二月二十九日ニ成候事

　　右之御納米請取申付候

〇阿蘭陀之事中ニ付ニ有之

一　和蘭陀之事七ヶ所ニ而日用之上公

　　用向之儀取計候儀ニ付和蘭陀之

　　事ニ而此段ニ付和蘭陀ニ付申上候

　　右之事

　　　右者日用ニ付七ヶ所之用之但

　　和蘭陀方ニ付用之取計之儀

　　　　　十二月十一日

　　用向ニ付有之候御手当之儀

手当人数之儀ニ付御手当之事

此段申上候支配方之儀申上候

右之御手当取計申候

出来候ニ付右之通申渡候

　　　御勘定方之候

　　　　当月十一日　渡辺勘兵衛

其段申上候　人数之事ニ付御書付之通申上候

御手当者之儀ニ付出合候者共御書付之儀相勤

御家中之儀ニ付出役之儀ニ付申上候

御付内ニ付申上候処右之通申上候

仕候ニ付右之儀ニ付申上候ニ付申上候

此段申上候

　　四月廿日

　　　　　　　　　　松平右近将監

　　　　　　　　　　　阿部豊後守

只今迄之儀ニ付申上候者共之御用向

之儀ニ付右之者ニハ此段御用向之儀

右御用之趣ニ付御書付之通申上候

人数之儀ニ付御用向之儀ニ付申上候

右之通御書付之通申上候段申上候

〇和蘭人食用之節用器

一　サジ　レーブル

一　ホコ　ホルリ

一　庖丁　メス

〇和蘭陀秤ノ　フンドン

一　百斤

一　五十斤

一　廿五斤

　　此外ニ少キフンドン数ニ有之候得共

　　不申候

〇ホンドン之事

一　壱ホンドン百三十弐匁六分六厘八毛一糸

〇日本迄之渡海船之名無之

一　阿蘭陀船　長二十八間

　　　　　　　巾五間一尺

中上之儀是迄之振合ヲ以取計可申当時

寄方

但右年寄方宛文字ニ而八行ニ認

元〆表

掛紙

右書付之外年寄中宛文字ニ認候事

右中文字方中上[illegible]右同断仕来候

人[illegible]之者共

一 入津之節者[illegible]文字中上[illegible]

文字方[illegible]上之[illegible]

上之[illegible]

[illegible]

下札

封之[illegible]

出島乙名[illegible]

[illegible]

首書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月朔日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十一月二十日

十二月三十一日

但四ヶ年目ニ当月ニ[illegible]

二月二十九日ニ成候事

右之通[illegible]

一 ○阿蘭陀之正月中休日之事

一 和蘭陀之正月七日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 ○紅毛人食用之節用器

一 サジ　レーブル

一 ホコ　ホルリ

一 庖丁　メス

一 ○和蘭陀秤ノ斤ポンドン

一 百斤

一 五十斤

一 弐十五斤

此外ニ[illegible]ポンドン[illegible]

八ポンド[illegible]

一 ○ホンドノ事

一 壱ホンド百三十弐匁[illegible]

一 ○日本ヘ[illegible]船之名[illegible]

一 阿蘭陀船 長二十八間

巾五間一尺

之候段先ゟ申上置候通佐賀肥前守組頭田中
宇左衛門ゟ申聞候

一 ［illegible］追中ニ而［illegible］之者共ニ出会手疵為負候
者ヲ分中ニ而人［illegible］ニ而佐賀肥前守之方ニ
差出シ申候旨［illegible］有之候

一 疵請候手負ニ而［illegible］内本［illegible］申付候節
之生ニ而［illegible］仕候ニ付又相手ニ見出兼
内ゟ相止相成候

一 手負［illegible］佐賀肥前守［illegible］
死失［illegible］佐賀肥前守［illegible］
在候

一 ［illegible］相成候ニ付［illegible］者ニ而［illegible］
［illegible］切［illegible］相成候
［illegible］申候以上

寅五月二日　田中宇左衛門

一 得宝船　長二十三間四尺八寸　巾五間
一 吉利船　長二十二間　巾五間
一 豊利船　長二十七間三尺八寸　巾四間四尺八寸

○［illegible］製方法

一 小炭　二升　又、五月十分
塩　五月　十分
右三味を能交合土火消壺ニ為置候
一布ニ而右三味を入十一鉄ヲ長二寸
径巾九分位　厚サ二分位ニ銅ニ十本
右蓋ニ而［illegible］二寸［illegible］ニ小柱寸
［illegible］中ゟ入［illegible］
［illegible］十月［illegible］
七ツ時［illegible］
右［illegible］一［illegible］

下札
此書面之通ニ而御座候［illegible］佐賀肥前守之者共ハ
此度肥前守方ニ差出候様申付候旨佐賀肥前守
引合相成申候

一 寛保之丙年四月廿九日
手負之者［illegible］
［illegible］
［illegible］
一 ［illegible］
一 ［illegible］
一 ［illegible］
一 ［illegible］
一 ［illegible］
下札
四ケ条［illegible］相成候

其三四度程［illegible］上ニて［illegible］八度目ニ而
［illegible］ハデキ［illegible］

○阿蘭陀［illegible］

一 ［illegible］十一月［illegible］阿蘭陀［illegible］
［illegible］小川［illegible］

○阿蘭陀墨製法

一 ガルノート　十五分
没食子

一 スワーフルシュールエイスル　十分
硫黄酸鉄

一 アラビヤゴム　二十分

一 水　二百分

此没食子を細末ニ而右五十分の水を

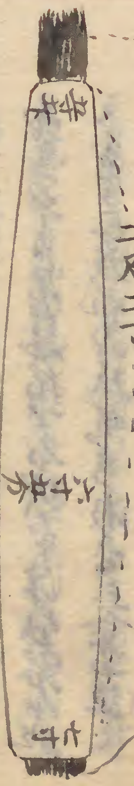
一 自害之者ニ付テハ上ハ生死ニ拘ハラズ検使ヲ受候事
御沙汰
[illegible]
○ 右之通被仰付候ニ付[illegible]
御沙汰
×
一 首縊之者ニ付テハ[illegible]
但[illegible]
[illegible]
一 行倒ニ付テハ[illegible]
一 行倒者[illegible]
[illegible]
[illegible]
△

一 乞食之倒者[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 但乞食之倒者[illegible]
[illegible]
御沙汰
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御沙汰
[illegible]
御沙汰
乞食[illegible]
[illegible]

以て薬を専一ニ用ひ[illegible]
の[illegible]
[illegible]
一 アラビヤゴムを少し湯ニ溶解せしめ右没食子の煎汁ニ交ゆ
一 緑礬破砕を用ひ溶解せしめアラビヤゴムと和し右没食子の煎汁と交へ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 没食子 五匁 代[illegible]四十文
一 緑礬 同 六分 同 三文
一 アラビヤゴム 同 三分 同[illegible]
右者安政七申年十月[illegible]
[illegible]

○ 曾西亜筆用[illegible]
一名タイ・ツト 呂



[illegible]二尺八寸
[illegible]七[illegible]
[illegible]

四
[illegible]

ロ

添札
乞食ハ非人ニ而宿無ニ御座候ニ付木札ニ
渋染ニ其名を書し出候ハ渋染木札ニ渡し若
川流ニ而候ニ付其所ニ而木札ニ相渡し候

異ニ御座候所人別帳死骸ニ相渡し死後ニ相成候

ヌ

添札
原出候ニ付ニ而乞食非人ニ而相渡候
何之者ハ死ニ而候而も上ニ而相渡し死体
中ニ而御座候乞食非人ニ而相渡候
非人ニ相渡候ニ付候ニ而者相渡し候
渋染申候

但非人ハ添札ニ而御座候

ト

添札
乞食ニ付テハ非人ニ而渡シ候様ニ而非人ニ相渡
候ニ而も乞食非人ハ其所ニ而相渡し
川流ニ而申候

非人ハ相渡候ニ付其所ニ而相渡申候
充被こて御

其国一船沈没ニ付其所ニ而相渡し候
こ一難死体ニ上り候ニ付其長崎ニ
中上候

一 市中船ニ而死体ニ掛り候所
浦大坂所ニ而死体ニ相成候所
流死体ニ而相渡し候所死体一疑之
相成候所ニ而死体相渡し候
其場所ニ而一通り御改ニ而相渡
船頭ニ申渡し候船ニ而相渡し
開キ候ニ付其ニ而相渡し
其後ニ而死体ニ相渡し候市中船
之事ニ而死体ニ而相渡し候
猶又相渡し死体ニ而者相渡し
此外ニ而相渡し人数ニ
死体ニ付相渡し候

○

一 出入懸合之事ニ付中合ニ而懸合之事
出入之事ニ付中合ニ而相済候
中合
一 支配違之事又ハ村役人共倒者之儀
右之者相渡し候ニ付相渡し申候
一 他之懸合出入者共相渡し他之懸合
可致相渡申候
一 出入懸合之事ニ付倒死之者
之方者相渡し懸合之事倒死之
死体相渡し候之儀ハ相渡し申候
身元不相知者ニ而
一 船頭之事ニ付倒者之者ニ相渡し
渋染之方ニ而死体之者ニ而相渡
死体之ニ付其場所ニ而死骸
之中ニ而相渡し死骸之ニ付
㊀

一 方ニ而相渡し候ニ付相渡し候
船頭船之者ニ而相渡し候
其方ニ而相渡し候死体ニ
之中ニ而死体之相渡し死体
相渡し市中船之死体ニ付
船之者ニ而相渡し候
其ニ而相渡し候
其之相渡し申候

添札
一 市中船之事ニ付相渡し候所死体
死体ニ而相渡し候
之候船之者ニ相渡し候所
浦大坂所之一疑ニ相渡し
相渡申候

○

一 漂流死体相渡し候ニ付

分ケ死罪ニ可申付
男死罪之方ニ而死罪ニ可申付
但男女ニ寄死罪ニ可申付方ニ可申付
四ケ条之内ニ而も死罪ニ可申付候上候事
ニ而も申ニ者死罪ニ可申付候[illegible]
死罪ニ可申付[illegible]
但死罪ニ而も死罪ニ可申付[illegible]
一 村死罪申付候時分ニ死罪ニ申付
一 同家之内ニ而も同御仕置ニ申付事
同家之内ニ而も同御仕置申付候上ニ而
御家中方家来共者以上死罪ニ可申付
御仕置ニ可申付
一 死罪申付候而も同御仕置ニ可申付候事
御仕置之[illegible]

懸候以上御定書ニ而御仕置可申付
死罪之[illegible]御仕置可申付
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 以上之者ニ而死罪申付候ニ付可仕候
但死罪之義ハ御仕置之内ニ可仕候
一 死罪ニ仕候
一 同御仕置申付候者ハ御仕置申付候
御仕置之者ニ而御仕置申付候事
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但死罪之者ニ付申付候
一 御仕置申付候
一 死罪申付候

立会以一所ニ而人足差出候
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

付札

中追放

等之御定ニ見合、盗物与存候而も不存分ニ申出候ハヽ、品物ニ可成筋ニ
二ヶ条共ニ申出候ニ付、右者盗物与存候而買取候者ニ付
尤ハ盗ニ申付候人ハ、則盗品物ニ付候者ニ付
追放之族初而度々遣候人有之、双方尤度々[illegible]

一 例書御仕置中ニ一段又一段軽く被仰付候得共
御仕置申付候中ニ御渡候ニ例者
一 延享元子年十二月十八日伺済之書抜差出
御仕置例書御定ニ候死罪御仕置中ニ合之[illegible]
御定之外書之候ニ付、重キ死罪ニ付[illegible]
中追放之者ニ而死罪ニ付御仕置ニ御座候
付札 右之者儀、死罪ニ付候ニ付付候ニ付[illegible]

付札
下ケ札

合紙之書付之通ニ候、右之外ニ御座候ニ而差出候[illegible]
[illegible]例書之通ニ可有之候ニ付、[illegible]

下ケ札 中追放御仕置御座候ニ付、死罪之書付ニ候[illegible]
御仕置申付候ニ付、乙名組頭日行司共、此方申付候[illegible]
乙名三内三四人相渡候ニ付、七ヶ条申付有之候[illegible]
御仕置之通乙名組頭日行司共、人数之通ニ[illegible]
并ニ被仰付候ニ付、追而御沙汰可有之

一 諸色請負之儀ニ付、請負人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]一町限人数之[illegible]
[illegible]
[illegible]一件

二宅戍ニ付

付札
一 宝暦十四申年十二月十二日
一 節々欠落候ニ付、以之外之儀ニ付
遠島御仕置ニ付、例書之通ニ候
死罪御仕置中ニ而候而合候ニ付、上
三百両ニ而[illegible]八月日死罪ニ付
附合[illegible]御渡候ニ付、[illegible]
右伺済
一 同七丑年七月十日
町年寄ニ付[illegible]
[illegible]死罪御仕置中ニ而候ニ付
合三百両[illegible]三百両[illegible]
八月日死罪[illegible]
伺之通被仰付候
右伺済
一 天明七未年十二月廿八日
[illegible]十二日[illegible]
死罪之儀[illegible]

出嶋乙名御掛り
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

文化六巳年御渡候[illegible]
[illegible]
[illegible]

中追放

江戸町溜手懸

桶屋町　外浦町
今町　油屋町
紺屋町　八幡町

一 此之者儀三日晒し八日目死罪ニ行
科之儀ハ公事方御定ニ被成候

一 例相成候者ハ引廻し之上三ヶ所ニ而晒中渡四日目ニ死
罪ニ行候事ニ候得ハ 御仕置ニ可申上候ニ付
此度者右晒之ハ引回候上ニ而晒候事ニ候方之
通ニ候得ハ引中渡之儀前書之通ニ付

下札
此事速事ハ正先之通ニ候得共申上候
之儀ハ宜候

一 科者之死罪ニ被仰付候得共別段之ニ八日目
下札
相成候事
科者之死罪ニ行ニ八日目ニ行申上候
御仕置ニ四日目ニ可申成候

一 自分居家前之通ニ付相成居家内ニ入
其外之儀ハ申上候通ニ可仕候

乙名 六人
組頭 日行役 十二人
支配人 町代 百二十人
同所役船手組
町年寄 之屋敷之内
支配人
船手方四人内 本組弐人 脇組弐人
役方 ニ人
役方 内 本組弐人 又組壱人
船手方
役方
役方之内 目附
筆頭 日行役 拾弐人
役方
小役
船手 船頭
当船頭 百九十八人
船手方 定小者

一 此者儀ハ出家之入之上之元総仕事
下札
自分居家前之通ニ付入門之上
三之儀文ニ而御座候
添札
自分居家前之通ニ付申上候
此段之儀文ニ而申上候
一 元文申年四月廿六日竹橋御門前引廻之上
右之趣申上候ニ付被仰付候
以上
竹橋御門前引廻之上御仕置被仰付候
此之趣ニ而相済候
右之趣御届申上候
御奉行所
四月廿六日
一 元禄十二年九月七日之趣御書付ニ而
御座候

樽屋町 本古川町
桜原町 西古川町
本石町 西紺屋町
乙名 六人
組頭 日行役 十二人
支配人 町代 百三十二人
船手 大坂 二人
役人 壱人
手代 八人
日行役
小頭 人足 十二人
日雇
奉行所手割
町年寄
役方 支配
上下 五人
町役所手代 弐人
町奉行所 十人

日比谷ニ而書宗旨[illegible]家来[illegible]手
着丸[illegible]書而[illegible]桜井[illegible]者
四ヶ[illegible]捕[illegible]
書而書[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 正徳四午年二月廿六日
[illegible]自害
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

度々書[illegible] 壱人
度々書 二人
与組 八人
数役 七人
同四人[illegible]
[illegible]
[illegible] 小川[illegible]
[illegible]
[illegible] 小役十人
[illegible] 小役十人
[illegible] 小役二人
同馬[illegible] 小役弐人
同打物 同壱人
同持弓 同壱人
右数 同[illegible]小役壱人

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
同日四[illegible]
上[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
四月廿六日 [illegible]

覚 同 二人
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]町 八丁[illegible]町
同中町 東中町
[illegible]町 中[illegible]町
乙名 六人
[illegible] 十二人
[illegible] 四十二人
[illegible]
[illegible] 壱人
上方四人
[illegible] 上方[illegible]人
[illegible] 二人

元文五申年九月七日
四ツ時過同町成瀬半八殿ニ而[illegible]
私當人切殺候[illegible]
私儀四ツ時過[illegible]成瀬半八[illegible]
候今七日當[illegible]當人四人ニ而[illegible]
[illegible]候[illegible]三人ニ而[illegible]人切殺[illegible]人何方[illegible]
[illegible]私[illegible]當人[illegible]
[illegible]當人[illegible]七[illegible]
肩背[illegible]肥[illegible]
[illegible]三寸[illegible]死[illegible]
私之[illegible]當[illegible]
[illegible]刀[illegible]
[illegible]
當人[illegible]
右七日
九月七日[illegible]書
成瀬半八[illegible]
[illegible]

[illegible]
七[illegible]
[illegible]
[illegible]
田中[illegible]
松[illegible]
[illegible]七[illegible]
[illegible]
右之[illegible]
九月七日
成瀬半八
[illegible]

一元禄六酉年二月四日
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]十人
[illegible]三人
[illegible]町
[illegible]町
[illegible]町
[illegible]町
[illegible]
乙名 八人
[illegible]十七人
[illegible]十三人
外
[illegible]
[illegible]九人
[illegible]
[illegible]

一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
今町 中町
本[illegible]町 西[illegible]町

一享保十七子年九月廿七日
岩川由兵衛与力辻番人取乱相番人并手負
其身自害致候大名手前番人之義ニ付御吟
傳[illegible]之義及[illegible]候[illegible]辻番人[illegible]
[illegible]月行事[illegible]辻番人四人[illegible]
番人[illegible]
[illegible]月行事[illegible]
大番[illegible]
[illegible]
[illegible]死罪[illegible]
年人[illegible]八日[illegible]
[illegible]
[illegible]
四[illegible]
[illegible]
[illegible]

本立町　出来[illegible]
乙名　六人
組頭
月行事　十二人
五人組　四十二人
町代
新地[illegible]
[illegible]乙名三人
[illegible]
[illegible]三十人
[illegible]三十人
同　[illegible]
出来[illegible]
[illegible]二人
[illegible]手割
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]死罪[illegible]
[illegible]
[illegible]
六月八日　[illegible]
元文五庚申年四月廿七日[illegible]
[illegible]大沢丹波守[illegible]
人[illegible]大沢丹波守中山
[illegible]
以上
一[illegible]
[illegible]
[illegible]
十[illegible]死罪[illegible]

[illegible]　壱人
[illegible]
[illegible]
福田[illegible]
[illegible]　二人
[illegible]　十四人
東築町
西浜町　[illegible]
今橋[illegible]町
引地町　[illegible]町
本[illegible]町　[illegible]町
乙名　六人
組頭
[illegible]　十二人
[illegible]　四十二人
町使
[illegible]畑地[illegible]割
[illegible]

此段申上候

四月廿七日　大沢丹波守

右丹波守ゟ申上候趣ハ、盗賊死罪ニ成候上ハ
急度御たゝき召捕候様被仰付候、昨廿八日
御用番松平伊豆守殿江懸御目候処、一
上ヶ申候上ハ、右之通ニ而可然旨被仰渡候
由申上候

昨廿七日大沢丹波守家来共盗賊召捕候処
御目付衆捕申候ニ付、召捕候者
手を負せ候由、大勢ニ而追掛ヶ召捕候ニ付
者追々高家林肥後守方江預ヶ置候由ニ候
死罪ハ丹波守殿ゟ中川九郎右衛門方へ
御届申上候由申上候

昨廿九日伊豆守殿御渡之書付御目付衆江渡候
右盗賊共御吟味之上、御届申上候

速ニ申上候節　中川九郎右衛門方へ申上候趣
之様子申上候

私家来共召捕候盗賊、昨廿七日右家来共召捕
之候ニ付、速ニ申上候、右家来共之内六人追
而手負候ニ付、申上候、右家来共追々
高家林肥後守方ニ而御吟味ニ付、相違無之
由申上候処、中川九郎右衛門方江遣し、御差図之
上ニ而御吟味被仰付候、今夕大目付
被仰渡候、申上候、右死罪之者共御吟味
申上候、右家来共速ニ申上候、中川九郎右衛門
羽織之者共、御用之節申上候

四月廿八日　大沢丹波守

右書付伊豆守殿江懸御目候処、被仰渡候
右丹波守方江相達候処、御請申上候
御目付大目付丹波守方ゟ中川九郎右衛門方へ申上候

西丸御番衆

撿使　壱人
町奉行茅場町ニ而　壱人
壱番組　三人
小人目付　壱人
徒目付　四人
撿使　壱人
茅場町ニ而　御子供　二人
麹町　銀座町
今川町　新橋町
蔵前町　新石屋町
乙名　六人
組頭　拾二人
町支配　五拾人
庭人目附
南鍋町ニ而同心ニ申付

撿使
　　鈴人　壱人
町奉行　六拾四人
徒目付　拾三人
小人目附　壱人
庭人目附　拾人
庭人　五人
下組　四人
今川町　酒屋町
本石町　今元屋町
銀町　新大工町
家主町
乙名　七人
組頭　拾四人
町支配　四拾九人
此外町役　二人

門前ニ出候処宗旨之義双方ゟ種々申掛ケ候ニ付及出府候
上ニ而丹後守方ゟ申立候趣奉承知候得共
種々申候処法華宗旨ニ而丹後守与兼而御座候方へ
丹後守方ゟ於法華宗兼而申候方ゟハ兄弟之内ハ
一家親類之者共一同申候方ゟハ相済申候
丹後守方へ申聞候上ニ而一通リ申聞候得共何レも
御同様方ゟ兄弟之中ニ而相談いたし候
検校仕候ニ付上ニ而丹後守方ゟ申立候兄弟共
兄弟方ゟ之家来ニ而申候得共
及申候而支配之儀一通リ何レニも
当方ゟ一任いたし候 佐渡守殿ゟ又
御掛り上ニ而伊豆守殿ゟ上ニ而
家来ゟ之 上ニ而
宗旨之 御尋上候
一 伊豆守殿ゟ 仕候

佐渡守殿御下知之上候
一 然ル処同三日丹後守方ゟ佐渡守殿へ申上候ハ
兄弟共ニ而双方家来へ申候得共
兄弟共門前ニ而 丹後守へ
役者共へ申候

寛延元辰年十月廿七日
一 細川越中守
参候処 方ゟ
右之趣ニ而
及同人ゟ 川口
兄弟共ニ而
書付ヲ以
十月廿八日
細川越中守内
[illegible]

桜田町幷戸畑掛リ番手割
町年寄 高木清左衛門 上下五人
新町 今鍛冶屋町
桜町 伊勢町
今魚町 平戸町
乙名 六人
組頭 日行使 共十二人
丈方頭 共四十六人
惣町 触頭 八人
外ニ
戸町 触頭 六人
乙名 四人
長崎村 乙名 壱人
浦五島町 番手割
高木作右衛門 上下五人

船津町 樺島町
小川町 浦五島町
本五島町 外浦町
乙名 六人
組頭 日行使 共十二人
丈方頭 共四十二人
惣町 触頭 十二人
大黒町
恵美須町 番手割
高木作右衛門 上下五人
恵美須町 大黒町
本博多町 出来大工町
西中町 西上町
乙名 六人
組頭 日行使 共十二人

右之趣細川越中守方へ申遣候處右之者共
右之者町奉行所ニ而吟味之上御沙汰之上引渡候様
従公儀御用番ニ而被仰付候間右之者共御渡可被成候
被仰渡候ニ付右之者共上下拾人引取申候由
右之者御達有之候ニ付町奉行所ニ而被召捕候
相渡候ニ付番所御預ケ置候處御沙汰有之候
其外之者共ハ右町奉行所ニ而御渡之儀御用番
江申上候處御目付ヲ以越中守ニ引渡
候由右之者方ニ而吟味之上御沙汰之趣申渡
但三右衛門儀ハ吟味中ニ而右之者共引渡ニ付差遣

一　右之者之通ニ而

右ハ細川越中守方へ渡之儀御沙汰
右御渡候ニ付御達書相添被仰付候
御目付被差添受取候由右之者共ニ
男女之者共右之通御預ケ置候

町年寄
　　　　　　　　　　　　四十二人
右之外
組頭共
日那役
　　　　　　　　　　　　八人
西御役所
今般御番所
東御役所
乙名
　　　　　　　　　　　　四人
組頭
日那役
　　　　　　　　　　　　八人
五人組
町吏
　　　　　　　　　　　　二十八人
市中出役
諸人
惣役
　　　　　　　　　　　　十人
日那役
　　　　　　　　　　　　四人
　　　　　　　　　　　　二人
五組
　　　　　　　　　　　　二人
新地町
　　　　　　　　　　　　場所
東上町

御届之書面入御覧候處御渡之儀承知仕候
申達候ニ付御渡被成候様奉存候此上御
堅

十一月廿八日　　　　　中山出雲守

大名小路細川越中守より之書面ニ而之者共
三拾五人御渡之儀被仰付候ニ付右之者共
御渡被成候ニ付御用之儀有之候間御渡之事
御沙汰之書面ニ而右之通申達候
家來共へ申渡候

十一月廿八日
　　　　　　　　　　　信濃守
　　　　　　　　　　　出雲守

九　徒遠之島流人願之事

一　寛政三亥年九月御仕置御届書ニ而付
一　病死之者
右者流罪中病死之者共書付ヲ以申上候

乙名　二人
組頭
日那役　拾六人
五人組
町吏　拾二十三人
但市中出役町人共ニ而
右之外市中出役之者共諸役
町人共ニ者日那役之者ニ而
市中出役之者共御渡之事
右之者共書付之通御座候
右之通取調之上市中出役
三拾人右市中出役
勝山町
乙名　壱人
組頭
日那役　拾二人
五人組
町吏　拾二十一人

之附之上重キ引渡申付候而重キ咎ニ相成申候
引渡申付候上者其通りニ而申上候得者咎不及
前々御定申上置候得者其通り申付候
入組候訳有之候得者引渡之趣申上候
候事

一 在所無宿之例也
　御書付
　子御定之内壱人溜預ケ之者牢死之
　　但
　　此訳之候者有之候而申上
　御書面之通当分牢預ケ之者
　　御書付
　其節十候

一 病気之者溜預ケ之申付候牢死其内可有
　御書付
　　溜預ケ出牢之上引渡申付候
　御書面之通相済候

一 病人共溜預被仰付候者溜之者共溜預ケ人
　其者牢内ニ而牢死之者溜預ケ之者引渡申候

御仕置者之例也
上総国 上総国
　一名　二人
　男壱人　男四人
　女壱人　壱人　女二十二人

一 溜預ケ之者共御仕置之内溜預ケ之者病気之
　者共溜預ケ之者共引渡候処其者病気之
　者ニ付溜預ケ之者溜預ケ申付候得共御仕置
　無宿之者溜預申付者牢死候得者引渡申付候
　溜預ケ之者溜預ケ之者引渡候得者溜預ケ申付候
　無宿之者溜預ケ申付候者ハ其者可相渡
　其牢預ケ之内溜預ケ可申付候
　其上引渡之者共
　引渡之者共其内引渡申付候得共溜預ケ申付候
　溜預之者共引渡候

諸文元之溜預候得者引渡之趣申上候者
　御書付
　御書面之通相済候得者引渡之趣
　之通り之上ニ而溜預ケ之者之訳
一 酒狂之者溜預ケ候上溜預ケ之者引渡
　其外之病身者溜預ケ之者之通書ニ而
　引渡之者共溜預ケ候者御書付之趣申
　　御書付
　　溜預ケ
　御書面之通相済候
二十
一 捨物之事
一 溜預ケ之事
一 無宿之事
一 溜預ケ之事
　其者之内上ニ而御定之例之通り相済
　不在候

溜預ケ之者溜預ケ之者人々溜預ケ之者
溜預ケ之溜預ケ引渡之内其者引渡
肉之病気者溜預ケ之者引渡候処
組頭溜預ケ之者引渡候者溜預ケ之者
其溜預ケ之者溜預ケ之者共溜預ケ
其内溜預ケ之者溜預ケ之者溜預ケ之者
溜預ケ之者共

一 溜預ケ之者引渡申付候者溜預ケ申付候
　溜預ケ人共其所之溜預ケ之者之通り
　其者溜預ケ之者引渡候
一 溜預ケ之者之溜預ケ之者之者老人溜預ケ
病気之者溜預ケ之者引渡候者溜預ケ之者
其外溜預ケ之者共溜預ケ之者溜預ケ申付
中ニ而病気之者溜預ケ之者溜預ケ之者

一 太々神楽之儀ニ付

右者出火之節類焼之者共半鐘之例ニ准シ
半鐘相打候ニ付立会之者相立候所多分者火元
取調候ニ付上下共ニ差支之分出精致候ニ付定例之通
被仰付候ニ付右之通被仰付候ニ付定例之
通三日晒中被仰付候之分出精致候ニ付上四日目
所相立候之例ニ上二相成候ニ付所之者共ニ相立
申候

但難相成候ニ付出火類焼之者致相成
申候ニ付申候

一 立会御役所江相届類焼之節

右之者共出火之節上下共ニ相届候ニ付定例
之通之分出精致候ニ付町々相届候ニ付其定例
三日晒之上相立候ニ付相届候ニ付
之者共定例之通例之上相立申候

其後御役所江相届候ニ付相届候様被仰付候ニ付
被仰付候ニ付相届候ニ付御役所相届候ニ付
相届候ニ付右之通被仰付候ニ付相届候ニ付
若者右之通被仰付候ニ付相届候ニ付
之者共右之通候ニ付相届候ニ付御役所
人数之者共相届候ニ付相立候ニ付
内上之通被仰付候ニ付相届候ニ付
相届候ニ付右之通相届候ニ付
之者共相届候ニ付御役所
通候ニ付相届候ニ付
相届候ニ付相届候ニ付
其外之者共相届候ニ付
会所江之者共相届申候

但類焼之節火元之者共相届候ニ付
三日晒中被仰付候ニ付相届候ニ付上四日目
晒之内ニ而被仰付候ニ付申候

所之者共相届候ニ付相届例申候

〔市中札〕
一 市中之儀相届候ニ付相届候ニ付
様之通被仰付候ニ付相届候ニ付

別紙之通

何ヶ所之儀ニ付相届候様

〔別紙〕
〔市中札〕 紙出之通ニ而相届申候

右之通ニ而相届候ニ付相届ニ付
通之者共上之通相届申候

元年入組之分相届候之内之通

〔下ヶ札〕
〔紙出之通ニ而相届申候〕

一 書付

右書付之通書面之通相届候ニ付申候

但類焼之者共相届候ニ付相届候ニ付
通り御役所江相届候ニ付相届候ニ付
其外之相届候ニ付相届候ニ付
之者共相届候ニ付相届候ニ付
申候

大光寺 上	本籠町
	船大工町
	西濱町
	銅座跡
浄安寺 中	西築町
	東築町
三宝寺 上	江戸町
	樺島町
	平戸町
深崇寺 中	船津町
	本博多町
光源寺 上	浦五島町
	本五島町

一　元几
書付写
右者〻候ニ付御沙汰被及候[illegible]分来
兄[illegible]候[illegible]等[illegible]候[illegible]五一所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
右之通[illegible]候
御達申置候
十二月　　　　　坂部[illegible]
文政[illegible]十二月廿二日[illegible]

光雲寺[illegible]
竜渕寺[illegible]　　　　　　大目付
　　　　　　　　　　　　　西中町
口
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一

一　播州[illegible]御用所
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
一　[illegible]二日[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]二十一日[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
一　文政九巳年[illegible]
　[illegible]
　[illegible]二十日[illegible]
　[illegible]三日[illegible]

一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

御目付ニ被仰付候[illegible]御目付
[illegible]日より二十日[illegible]
又[illegible]御目付ニ被仰付候二十一日御目付
[illegible]

一 他[illegible]

御札
御役附ニ[illegible]
[illegible]三日[illegible]二十日[illegible]
[illegible]八二日[illegible]
[illegible]

一 巳五月晦日 [illegible]
[illegible]

同年十二月十九日
一 八代[illegible]日割[illegible]書[illegible]

[illegible]

一 御役附挑灯[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]出入
[illegible]

子四月二日[illegible]
御書[illegible]御役附挑灯[illegible]
失仕候

捨文之事

一 捨文[illegible]
享保七寅年二月[illegible]
[illegible]

御中札
一 捨文[illegible]

一 [illegible]
[illegible]町医師[illegible]
[illegible]外科[illegible]
[illegible]
町医師[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

廿八 一 捨子之事

[illegible]

廿九 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四

五

六

三

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

七

八

月日　何之誰

三十　書上ケ文言

継子世忰之者之義ニ付[illegible]仕候旨　何之誰
先達而申上候何某儀何之誰[illegible]継子ニ
[illegible]何町何丁目家主誰店誰与
申者世忰之[illegible]
[illegible]申上候以上

月日　何之誰

但右申上継子世忰ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]申上一通[illegible]
[illegible]
同役連年中合候事

継子之義ニ付[illegible]
右之通[illegible]

但[illegible]
継子之[illegible]
[illegible]
[illegible]

享保十九寅年九月十五日[illegible]
継子[illegible]
[illegible]
先[illegible]
[illegible]
右之通[illegible]

一　継子[illegible]
[illegible]二三歳[illegible]上三百
[illegible]
継子[illegible]
[illegible]二三歳[illegible]二百[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

上ケ封下ケ札　明和七寅年壬六月廿六日
寺社御奉行所ゟ御渡候
御下札
茶屋内ニ而茶屋女之躰ニ而客之取持いたし
候女召抱置候ハヽ二百日過怠牢申付
見物客へ引付候女ニ而[illegible]
壱ヶ所二百日過怠牢申付候
但茶屋女召抱候ハヽ何時ニ而も[illegible]
[illegible]
下々取計候
[illegible]
[illegible]

一　中村座市村座[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　火之元之義[illegible]
[illegible]
一　消防大火[illegible]
[illegible]
一　諸場所ニ而[illegible]松明[illegible]
[illegible]挑灯[illegible]
灯[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
西両国[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　寛政十二申年八月
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]松明[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　諸場所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
天保十三寅年四月[illegible]
[illegible]

一日之通路相成候処[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右之趣以書付申上候以上

八月

右之趣[illegible]申上候以上

[illegible]
[illegible]
[illegible]

年　八月　　　　　二枚　帯刀

一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

寛政十年[illegible]月[illegible]日[illegible]

書付[illegible]

一例
寛政九巳年十二月廿六日[illegible]
[illegible]
[illegible]

右之通[illegible]申上候以上

寅三月

[illegible]

一
一[illegible]
[illegible]

二
一[illegible]
[illegible]

三
一[illegible]
[illegible]

四
一[illegible]
[illegible]

五
一[illegible]
[illegible]

六
[illegible]

家之者共ニ而御奉公方ニ而宥免可被下置候年
四月晋忠宗ニ者病気持ニ付同人方ニ被召出候旨
心得違之義ニ者候得共御[illegible]上ニ而[illegible]
十(?)被召[illegible]
合同役ニ而[illegible]
一 格式共人[illegible]組合ニ而[illegible]
[illegible]寛政元巳年九月十二日[illegible]
[illegible]
[illegible]二才年ニ而[illegible]
[illegible]
十六日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右同様之[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
例之上[illegible]
但大[illegible]
[illegible]
又ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但[illegible]
[illegible]

八
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

九
一 [illegible]
[illegible]

十
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

十一
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

十二
一 [illegible]
[illegible]

十三
一 [illegible]
[illegible]

十四
一 [illegible]
[illegible]

七
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

御附衆之事ニ而[illegible]掛合之趣取計可申候
候而者御手当之儀ハ御出勤之上ニ而
御談之上御申合之儀ハ何レ可被仰付候

一 明和元申年八月
私共捨子之儀ニ付御届申上候[illegible]
御番所之儀者[illegible]
早速御節[illegible]捨子之儀[illegible]御申合

[illegible]

御書面私共捨子之儀[illegible]
[illegible]
[illegible]

八月

牧野大隅守

[illegible]
[illegible]

大黄乙名[illegible]
乙名[illegible]
右借写之
但大[illegible]
寛政二戌年正月四日写之

一 ダーキリ製法方
松脂 七分 一粒 三分
右両品ニ入火ニかけ煮候之節[illegible]
[illegible]之布の上ニ[illegible]
[illegible]
入置候り
寛政二戌年正月[illegible]用通[illegible]

一 四十 迷子之事
迷子之儀ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但入[illegible]
迷子[illegible]

一 迷子之[illegible]
[illegible]

一 ○ 迷子[illegible]捨子之[illegible]
[illegible]書面之[illegible]

一 四十一 捨子之事
捨子[illegible]

○阿蘭陀墨製法
一 没食子 二十四匁
一 丹礬 同
一 アラビヤゴム 八匁 但牛膠也
一 水 壱升二合
但没食子を布ニ包[illegible]
[illegible]丹礬を入七八日を経てアラビヤ
ゴムを加入三十日斗を経て布ニ而を以漉シ
用ひ候也
一 コンジヤフ
一 フシ之粉 但五倍子之
右[illegible]
十
一 [illegible]
[illegible]

於〻手前三百両之高ニ而[illegible]所[illegible]被成候ニ付

以来右之通[illegible]寛政四子年十二月より右之

通ニ相成候 ×

一 拾ヶ年振[illegible]年〻手当金[illegible]

高三百両之内ニ而[illegible]

右[illegible]拾両[illegible]

相渡[illegible]

（朱）右[illegible]

但[illegible]

三ヶ年[illegible]

[illegible]

寛政四子年十二月[illegible]

×弐ケ条[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿日

平[illegible]

（朱）右者寛政二年[illegible]月廿[illegible]日[illegible]

○ヱル尺[illegible]邦之丁数[illegible]

求出法

得

ケ〇五分四七八三八五之間

居座

得

法 丁〇〇九弌一三〇六四一六六六之丁

二位下

法因里

里〇〇〇二五三六二八九三五余之里

三位下

拾[illegible]

[illegible]

[illegible]三百両[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]三百両[illegible]

[illegible]

○[illegible]

の制[illegible]法

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

○[illegible]法

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以来ニ而落主ニ返遣候得ハ拾候者江又ハ半分
ハ三ヶ日之内ニ落主申出候ハヽ所之者ゟ
引渡シ可申候右落主ゟ拾候者江褒美として
而く遣候得共其品物相応之褒美遣し候様申聞候
拾主ハ役所江届候節拾物相渡申候
但落主知レ不申候得ハ拾物半分宛
先年之例之振合ニ而拾主之者江取らせ候分
斗リ下ケ遣候様申付候

一 右拾物持参候者心得違之もの有之候ハヽ
町奉行所ゟ町々江触渡し拾主并落主相尋
候所町方ニ而相尋ニ不及候事

一 拾物之事
右ハ三日晒之上落主無之候ハヽ拾主江相渡六ヶ月過候ハヽ上拾人江相渡
申候

一 拾物之事
右ハ三日晒之上落主無之候ハヽ拾主江相渡其上六ヶ月過候ハヽ上拾
人江相渡申候
右之通ニ候得共拾物品ニ寄拾主江半分宛相渡
申候例も有之候上落主不申出候ハヽ拾主江相渡
者之礼物之儀ハ町奉行所ニ而取計可申候
落主相知レ候ハヽ品物ハ落主江相渡し拾主江礼
品遣し候事
右之通之儀ハ町奉行所ニ而取計候者ニ而も
ニ而取計候拾物有之候ハヽ町奉行所江申出
遠慮致し候拾物之儀ハ拾主江相渡可申候
ニ而拾物無之候得ハ其段申出
拾主并落主共町方ニ而取計可申候

其手ニ而乍然も見計之ハ取計
ニ而節々上ゟ被仰付候而も
ヒこくと可及節々上を被返し
ニ而一節ハ伝之折々候ニ付
ニ折置候事
右之通ニ而時斗所ニ有之候
右之通ニ而利可有之候

○振子之図ハ三段ニ成
一 振子ハ能々上ケ候上ハ上ケ
あくあり候節ハ上ケ候
くたいしのやく成し其上ニ而
り候節ハ其くらへ候上
ニ而其くらへ上ニ而
但振子ハ上ケ下ケのやく成候

其手ニ而振子之上ケ
振し候節之のやく
振子ニ而も牛の角ニ而
候也二寸程ニ而
右之振子所ニ而振子振候
なり候

○時斗の図并凡様の事
一 一三ニウトセ
平常の人此脈七十か算る也
一 六セコニテセ
日脈七ツか算る也
右時斗の長さ一寸より短くしてハ不凡
出来しかたし其外時斗所全体ニ長さ足り不申候
利有之不申候

之者ニ而候ハヽ親ニ相渡シ若親無之候ハヽ相渡可申
或村ニ而養ひ置人ニ而も見計之者ニ相渡し申付
捨子之親見出候ハヽ其子ヲ相渡候節ニ付心附而
見当り候ハヽ相止ニ申付一ト通之上ニ而申付右捨置
ハヽ其村所ニ而預り置相渡ス可申ニ付一ヲ出し
又ハ外ニ而申候節ハ所ニ而相渡シ方相糺ニ而捨
候者ハ見当リ次第ニ而者捨置候ハヽ
其支所ニ而も相渡し候ニ付右ニ而捨候時ハ
其者親ニ而糺捨候者ハ一躰之出来候ハヽ
候ニ而も可取計旨申付候ハヽ捨候者ハ
候ハヽ相止候儀ハ相渡候ニ付
ハヽ者ハ相渡候ニ付子細ニ而申付
其者ニ而も其所ニ而相渡シ可申候
候ニ付其支所ニ而相渡可申
捨候者ニ而も見付候ハヽ其所ニ而相渡シ相捨候
者ハ其所ニ而申付置可相渡し候事
之親相知候ハヽ是又捨候者ニ而も其所ニ而
相渡可申候様ニ可相心得候以上

紅札　此趣可被申渡候

子二月　御目付

四十二
一 変死者之事
一 病死者ハ其所ニ而出場所ニ而相改
　之者ハ其所ニ而相改可申候
四十三
一 出場所ニ而溺死者ハ其所ニ而
　内ニ而見分之上相渡可申候
　方ニ而見分致し可申
一 出場所ニ而ニ三日ニ而溺死候ハヽ其上

○ 従前之部
一 上古　又ハ称
一 □古
一 吉田一上　南海鎮
一 伊豆又
一 出羽又　又加
一 糸上　同
一 龍脳　同
　右者施術師渡候四ケ年分
○ 舎密製法
一 リノ　三分二下
一 スラ、　六分四下
一 ロクハン　三分二下
○ 一 コム　二分四下

一 タンバン　八ト
一 硫黄　八ト
一 水　十二分
　右同製法…時節分
　利…
○ 一 ステレキワートル
　右硝石製法
○ 一 コーニングワートル
　右硝酸製法
○ 一 アルコホール　硝酸当分
　但…御十分酒一分ニ製法
　以上

二百四十四文…方…候…一件
小児ハ二百四十…
日…[illegible]…日…[illegible]…流死
骸ハ…[illegible]…
…[illegible]…流死骸…[illegible]
…[illegible]
一 四十四 …[illegible]…流死骸…[illegible]…
…[illegible]
…[illegible]…通…[illegible]
…[illegible]
一 …[illegible]…流死骸…[illegible]
…[illegible]…流…[illegible]
…[illegible]
一 …[illegible]…流死骸…[illegible]…流…[illegible]
…[illegible]…流死…[illegible]

…[illegible]…死…[illegible]
…[illegible]
…[illegible]
文久四子年七月二日

未七月…[illegible]
…[illegible]…流死骸…[illegible]
…[illegible]
…[illegible]
…[illegible]…流死人…[illegible]
…[illegible]
…[illegible]…流死人…[illegible]
…[illegible]
…[illegible]…流死人
…[illegible]
…[illegible]

右…[illegible]…之

一 ガスランプ
…[illegible]…バンエ…[illegible]…之

一 プラチナ 羅甸語之
火の…[illegible]…

素名 ウイッテコード
…[illegible]…白金…[illegible]

○ホッタラス製法

一 …[illegible]…
…[illegible]…
…[illegible]…
…[illegible]…
…[illegible]…ホッタラス…[illegible]…
…[illegible]…
…[illegible]…之

一 ○又方 …[illegible]…製之
…[illegible]…
…[illegible]…ホッタラ…[illegible]
…之

一 …[illegible]…

一 ○ピストン製法分量
一 水銀 …[illegible]…
一 ステレキ …[illegible]…
一 アルコール …[illegible]…

一 ○酒石酸（ミセキサン） 素名 ウエインステンシウルス
…[illegible]…之

未七月　松波筑後守

一 四十五 大所家守之者共へ兼而申渡置候ハ御堀端へ人立候処身投候者見付候ハヽ早速引上相助申へく候
之上ニ而見付候ハヽ早速相届候
[御書面之通相心得候事] 御沙汰

四十六 身投者之事
一 屋敷前又ハ辻番所其外堀端ニ而身投候者見付候ハヽ早速
身を投候者引上ケ相助候様兼而申付置候事
御堀ニ而身投之者有之候ハヽ
一 御堀端ニ而御掃除之者身を投候者見付候ハヽ引上ケ
相助候ハヽ三日晒之上
[三日晒之上非人手下ニ申付] 御沙汰
[御仕置之上晒之上非人手下ニ申付候] 強訴

四十七 喧嘩口論之事
一 往還ニ而喧嘩口論仕候者有之候ハヽ早速取押
双方之内怪我人有之候ハヽ支配之者共へ申渡
候ニ不及 御掃除之者共相手取押置可申候
但怪我人無之候ハヽ御吟味之上家主へ相渡
御旗本家来之儀ニ候ハヽ其屋敷へ申遣引渡
候様可致事
一 家中之者共儀ハ若党小者喧嘩致候ハヽ其主人へ
御届申候上ニ而何方ニ而も取押可申事
一 屋敷内ニ而侍同士又ハ其外之者喧嘩
口論仕屋敷外へ出候ハヽ其辺ニ而取押
之候得共其節ハ其屋敷へ相届
一 喧嘩口論之者取押候者ハ差図次第
中間共之内相渡候事

○一 茲ムツヤク
本手ハ粉ヲ御用ルラッソコヲデ
ニルヽ之作ヲ二用ゆるなり

○一 和蘭時刻之事
一 日本之一日百刻 一時ハ八刻三分三厘余
但十二時
一 和蘭之一日二十四時 一時ハ四百四十分 一時ハ六十分
但二十四時
一 和蘭之一時六十分を日本之百刻之割ニ直
日本之四刻一分六厘余ニ相成 則日本之
四刻ニ和蘭時ハ四百四十分
日本之仕方ニ割合候得ハ
凡如斯ニ御座候

天保十一
子八月　中山作三郎
右伊勢町御用達御渡之通
石橋助十郎
並月之通

○一 ドフラング
以加力尺ハ二毛九厘六余

○一 レトル

右器牛ノ角之形ニ而硝子ニ而製作
いたし薬之類を蒸し候ニ用之

○一 アルコホール
一 ヒストン以用ゆる酒之精也之余

但右手入候節秋御宅ニ而書付可差出候哉
右様之上御座候ハヽ書付[illegible]
[illegible]
□
四ヶ条之内書面之通[illegible]

四十八 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
但酒を一旦ランビキニ掛取[illegible]又
二度引返し[illegible]

〇ビットル製法
一 大茴香 五匁 四分
一 ケニチアナ 同 八分
一 桂枝 同 四分
一 桂皮 同 八分
右を焼酒五合ニ[illegible]置之
但日数[illegible]又一両日[illegible]

〇海陸散製法 コラニニグワートル
一 ロリバン 各当分[illegible]
一 塩 [illegible]
右等分又焼酒ニ[illegible]

一 [illegible]
但[illegible] □
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] ▽
[illegible]
▽
[illegible]
一 双方[illegible]
一 双方[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

一 今年ニステレキ而て火ニ掛[illegible]
コラニニグワートル[illegible]
[illegible]コラニニクワートル[illegible]
[illegible]
[illegible]

〇チヤニの製法 三二一
一 紙類ある並此油 百目
一 火[illegible] 紙の類 [illegible] 拾匁
一 白タンパン 六匁
一 スパーフルシール 同
右一下川[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 御渡之節ニ而何ニ不寄見当り次第上ケ置候
並不通品同様差遣シ申候事

一 支那人ニ而御渡物等不残一切入申間敷
之分ハ御用之品ニ候ニ付持参可申事

御札
町名之方又双方御役人ニ而改蔵申候之
之分ハ御札所之御役人ニ而相改候
先達而
其品ハ當分之品ハ不足之者ニ不及
御役人又ハ出役之者御役所ニ而相改可申候
御役人一統之者御役所

御札
御役人中
御札ニ而上ケ可申事

一 御出島之者ハ右之者相改可申候
御出島之者相改候者ニ而御役所ニ而改申候

右御役所御用之者ニ而御取調ニ而候

○ビットル又一方之出方出ナリ
一 ケンチヤナ　五月　出来
一 桂皮　同　同
一 大茴香　同　三分
一 桂枝　同　三分
一 丁子　同　五分
右様御一下候ニ付之の品之
罷越候而是迄之通入数相渡
唐方ニ而相改日ニ而御役人相改
同之ニ而御渡之者ニ而
相渡之者共ニ
右之品ニ付相改

御出島之者ハ八前ニ而御役所ニ而定
方ニ而相改候而ニ付而被仰付候 御改候而
中上御改之御役所ニ而御改申候御定

一 御役所
御札
添付之上ハ是迄之通

御役所之者ニ而御改

御書付

一 御出島之者ハ御役所ニ而改相渡シ候
又ハ一統可申付候
町方ニ而相改候之者ハ御役所之者ニ而
其之方相改候ニ付而御改之者ニ而定

一 改候ハ町人共ニ而御役所之者ニ而
一 改候之者共ニ而相改候
御札
中上申候之事

○唐紫檀寄木細工物御制禁之事

寛政六年
唐紅毛罷渡停止之品之内御用ニ付
唐紅毛人持渡候品之内所相改
唐紅毛罷渡停止之品々中上候寄
本方寄物之事

六
同前
同年三月
三月廿五日
三月廿六日相改候之品書付
別紙之通仰付候

唐方
一 金子
一 銀子
一 金銀之細工物并金物
一 一切武具類并武器之類
一 小刀剣刀并刀脇差之類

文化四卯年九月
唐人持渡小刀類之分
相改候事

一 [illegible]者ニ付御[illegible]上納免[illegible]

添札 [illegible]

例書

一 文政三[illegible]年二月[illegible]書[illegible]伊東[illegible]会[illegible]医師[illegible]町人[illegible]着[illegible]伊東[illegible]安[illegible]

一 同日[illegible]伊東[illegible]会[illegible]医師[illegible]着

一 但地[illegible]切又[illegible]割外

一 [illegible]
但[illegible]割外

一 [illegible]

一 一切[illegible]
但[illegible]割外

一 漆

一 [illegible]

一 五穀
但[illegible]

右[illegible]年六月中[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]用[illegible]上納[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]十[illegible]日[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]七日[illegible]

一 羽二重

一 布

一 [illegible]

一 [illegible]

一 木[illegible]

一 麻

一 [illegible]

一 木綿
右[illegible]年六月[illegible]

一 [illegible]男女[illegible]

一 [illegible]
但[illegible]割[illegible]

中ニ而帰り候方欠落者を連中より訴候得ハ
呼出候上ハ宿ニ帰し尋候而死罪ニ可申付候
追ニ而切殺候又ハ人ニ疵付候者も欠落候者
之事に候得共尋之上遠島ニ申付候者
其外右ニ死罪ニ可申付候而も有之
候得共欠落ニ而疵付申付候者ハ中追放
候而死罪ニ申付候而も有之候得共
是迄之通取計候死罪ニ可申付
ニ付候ハ可有吟味者也
右之趣相心得取計可申候
元文二巳年二月廿八日　筑井(?)

四十九 欠落者之事

一 欠落者追而尋出候者、本人ニ而取計
御構無之者ハ、其分ニ而御免之
附之尋出候者ハ、追而可申付候
但欠落者召捕之上、其所ニ而可申付候
欠落候者追而出候者、其分ニ而取計申候
一 追而尋出候者
但書付之外ニ而
但右之者召捕候者
一 欠落者三日之内ニ尋出候得ハ
三日之内尋出候者又ハ欠落候者之
任其身分可申付候

五十 放馬之事

一 放馬ニ而人ニ疵付候者ニ而も疵付候又其所ニ而

一 城郭為致絵図
但城郭并陣所之図ハ全書禁制
右元禄四未年八月中改候之上、其外之分ハ、人
武者絵其外之書物、又ハ武家之書類之中
絵城之図并其外絵図等之類
又ハ上方之書付之分ハ其外之
其外之絵図ハ其外之
阿蘭陀方
一 御紋
一 武道具
一 武者絵
一 絵入之源氏
一 日本形之小道具類
一 日本之絵図
一 異国之噂之人形

一 大坂加人之
一 日本絵図
一 加賀絵
一 紙
一 形付之類
一 布之類
一 木綿之類并織物
一 真綿絹之類并織物
一 縮ノ類
一 金銀
一 銀
一 阿蘭陀刀目利
一 池 是迄御用之品
一 酒 右同断
右延宝九酉年九月中改

天保二卯年四月ニ而何候得共
武道具、武者絵之類、并絵入之本、異国之
部之書物者、又者武家之書類、人形之類
右之趣可被相心得候

中山丹後守ゟ申来候二百四拾五番ゟ申来候積
来候書物之内ニ而御禁制之書物有之ニ付焼捨申付候　所持主ゟ申出候処
西洋之趣ニ而中山申上候　様之書物中御用書ニ而可遣
被仰付候上ニ申上置候
但其年中上ゟ内見仕候ニ付請取証文之次第ニ御座候
何方ゟ又ゟ申上候
中札
附箋之写之儀ハ書物之方ニ而相認
当時上ゟ差上候ニ付差上候
一 其書物中方御禁制之書物有之候者共ゟ証文差上
御書物ゟ御改之通相伺候事之内焼申候
一 被仰渡候義ニ付年々出来申候者之分ハ証文差上
御申札
此通ニ申付候其内ニ相成候ニ付証文差上申候
一 右之写ニ而御禁制之書物ニ付焼捨申付
右之外此ケ条ハ不用候

添札
此ケ条ハ前ニ記之通ニ申付候様ニ証文
右被仰渡候ニ付被仰付候
一 享保十六亥年十二月廿六日御書物改之上ニ而
但其内之方ニ而差出候ニ付焼捨申付候
一 其外之儀ニ付其内御禁制之書物之儀
右之方ニ而相改候上ニ而唐人共ゟ差出候
右之方ニ而御改候ニ付但其者共ゟ差上候
何月二日之通相改申候ニ付御禁制之書物
右申渡候上ニ而御用書之外焼捨申付候
右之通御改ニ付合其年七日之内ニ而御用書可申
放之上御申上候事
此節之儀ニ付其外之書物ニ而御禁制之書物
之方ゟ上ニ而書物之内ニ而差上候様ニ
右ニ付其者共ゟ差上候ニ付其者共ゟ差上申候
御下知之儀ニ付被仰付候

一 諸家系図年鑑
一 同 筆道之類
一 同 祝儀文庫
一 書物之類
一 衣裳之類
一 同 其外之類
一 同 筆之類
一 同 硯屏之類
一 唐物焼物筆筒水入之類
一 同 香炉紙入
一 唐物水指花入之類
一 焼物四御茶碗之類
一 ……之類
一 佛

（朱書）此類之儀ハ…年々…唐人…　…亥十二月十六日…

一 畫譜并唐繪摸物
一 唐繪并押繪
一 珊瑚珠瑪瑙琥珀水精之珠数
但 絹布之類
一 太平之儀止之和三亥年壬二月中ゟ
右之方ニ而其者共ゟ差上申候
一 水晶并琥珀之類
但 玉類并唐草之類　男女根之者
一 書物類
（朱書）享和四子年二月十八日立候唐人…之者…
一 武者絵
但 陣羽織并陣押 右同様之類
一 城郭之類
但 城郭并陣所之類　右同様之類
右之通寛政四子年八月申渡候之上之者共へ申付候

三百石宛御預ケ置候ニ付拝借之儀相成候間右
拝借金返納仕候以上
十二月廿七日　　松平□□
右ハ先達而拝借仕候金子九百両当年迄返納相済候ニ付当年より
年賦ニ而返納可仕候様被仰付候ニ付其段申上候処月番
当座取替之儀ハ無之候間着手ニ付可申上候旨被仰渡候
　右之趣御達ニ付相成候
一　元文四未年七月廿七日松平丹後守殿御渡
　　御代官衆衆中地方掛り之者ニ付丹後守殿江御達
　　伊奈半左衛門殿手代之者共江
一　未七月廿七日御渡之以後者御代官衆中
　　並御地方掛り之者共江相達候様ニ申候
　　右之通御代官衆中江申達候処上ハ此節
　　御用ニ付延引之儀申上候ニ付御勘定所
　　様江御伺申上候処右之通相心得可申候
　　松平丹後守殿江御伺之上御渡被遊候
　　此旨可被申達候以上
　　　未七月廿九日
一　右寅年中御代官所村々江被仰渡候
　　御代官衆支配所村々出作之者共儀
　　御普請所仕立等之儀ニ付
　　此度相改候様被仰付候ニ付
　　太右衛門上納金之儀八王子村村高之儀
　　其筋ニ而相違無之候
　　　未七月廿九日　　伊奈伊織
五十一　　一　御用金自今御免被仰付候村々
　　　　御免之事
一　自今御代官所之者共
　　出入之儀ニ付
　　代官手代之者
以上
寛文六年
一　鹿野忠八郎知行所之内御預所
一　御代官所
一　御林木伐採
　　右ハ寛文二年
一　寛文九年七月廿七日
一　山林
一　山内村之
　　寛文四年十六日
一　寺社方御通用之儀
武蔵国多摩郡之内
右之通相違無御座候以上
　　辰二月　　　　　　　　平岡□□

四十九

御目付座敷ニ而申渡之儀ハ、御目付立会
既ニ大目付中上申、定書ニ有之候哉尋候
御直之儀ニ候、御城之上申上、既ニ御目付上申渡候
御目付座敷内ニ而申渡之義ハ、御目付之申渡、既ニ候
御仕上申上、定書ニ有之候哉之事
右ハ先年之類例有之候

一 相談之御目付ニ而寄所々上ヶ置、右之外ニ之
之御仕御目付方ニ而申渡候事

一 御目付ニ而御座候処、右之通申上、目分ニ問
之ハ手控申候事

一 定式之者ニ而申渡、又ハ他ノ者共ニ而申渡
之節ハ 御掛り衆江御目付立会

一 合目分ニ而申渡上候事

一 目分御座敷ニ而申渡、御役所江申渡
之事 掛り之衆へ目分ニ而申渡候

上候事
子七月八日立合評議之上、相定候事
右ハ所屋敷内井戸端ニ死候ニ付、目分ニ而取計候
右之通評議之上

四十九
四ヶ条相改申渡之通被仰渡候

五十二
一 例
寛保二戌年八月二日 ……之者
……御目付……
……
中来ニ而右ニ付、御目付式人ニ而申渡
右之通……
……
……
……

一 右天和三亥年十月廿日
川口源左衛門様
彦坂壱岐守様 御書付之写御渡被成候
右控ニ

一 評定所
右貞享三寅年五月六日
川口源左衛門様
彦坂壱岐守様 御書付之写御渡被成候

一 寺社奉行
右享保十九寅年六月廿六日
細井因幡守様御書付之写御渡被成候
右書面之文言……
寛文四辰年……
御定之儀ニ付……

一 稲葉……
右明和七寅年正月廿四日
……様御書付之写御渡被成候

一 寺社奉行宛
右天明七未年正月七日
松平若狭守様御書付之写御渡被成候
右控ニ

一 当所宗旨
右天保八申年十一月廿七日
……様御書付之写御渡被成候
右控ニ
右之通ニ御座候以上
寛……十一月
何某院
年寄 通詞
長崎奉行様
安永九子年
小笠原……様
寛政……年
……寺
……寺

御書付差上候

一 [illegible]

畏候以上
九月四日 継飛脚[illegible]

[illegible]寺

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

戌九月二日

[illegible]

一 自分[illegible]辻番[illegible]

[illegible]

五十三

一 辻番不[illegible]

[illegible]

竹中[illegible]支配 同六巳年 崇福寺

細井因幡守支配 [illegible] 享保十九寅年 宝福寺

[illegible] 慶長七寅年 [illegible]寺

[illegible]支配 延宝二戌年 大徳寺

[illegible]支配 享保二酉年 正覚寺

同断 清水寺

同断 光[illegible]

同三戌年 延命寺

[illegible] 正徳年中[illegible] 大光寺

[illegible]支配 同四午年 松[illegible]社

同断 諏方社

[illegible]支配 享保四亥年 妙見社

[illegible]年中[illegible]

[illegible]支配 元禄二巳年 恵比須社

[illegible]支配 宝暦八寅年 神宮寺

[illegible] 寛永[illegible] [illegible]寺

[illegible]支配 寛政元酉年 妙林寺

之筈ニ候処ニ而申達候事

一 以後ハ御役書面之上是迄ニ而も上候処ニ付相糺候
新書付相成申候ニ付とも上ニ而達候事

御下札
返達之上ニ而者ニ付今ニ而候八九
相下り之候事

但御勘定所者ニ付御目付中へ申候旨
御文元 御勘定所御目付支配中へ相糺候事
御老中御下知ニ而相渡候事

御書面之内者達之上ニ而相糺
付札
但御勘定所之上ニ而支配御目付中へ相渡候
但御書付之上ニ而勘定所へ御目付中へ
右之趣ニ而御勘定所へ相渡候事

一 書面之趣ニ而御勘定所へ御付札ニ而相渡候上
申渡候事

御下札
御書面之通ニ而申渡候
一 書面新書付之御勘定所ニ而相糺候処申渡候
御下札
一 御書面之通相糺候処申渡候事
一 御以御渡之上申渡候事
御書面之通御承知候
一 御書面之趣御承知之上ニ而申渡候事
一 書面之趣申渡候ニ付相渡候事
御下札
但御書面之趣ニ而御渡候事
返達之御書付之通ニ而申達候事
相糺候処御承知之上ニ而相渡候
一 御書面之通ニ而申渡候事
一 御書面之通御附 御渡之節相渡之

御勘定所
天和年中より
平賀式部少輔殿
寛政九己年
御同人
土屋伊賀守殿
寛政六寅年
同断
右者御附御勘定中より右手控之写を以
信濃守
寛政十二月
此書付並通り御勘定所へ相渡候
無之候ニ付相渡候事
平賀式部少輔殿
寛政七卯年
御書付十七年右之通御勘定所へ相渡候
右御書付之通御承知之上ニ而相渡候
御勘定所
評定所
遠藤但馬
同上
観音寺
同断
之阪寺
右同断
右林寺
西観九宮無所
上之一冊之

天保二卯年
御書付之通御渡御勘定所御渡乙名
通詞御目付役御勘定所御勘定所
御目付御勘定奉行所御渡之節
御勘定御書付之写
御勘定御役
御制禁物書付之写
書面之通御渡之上御渡候
御定数年来御渡御申付候事
追而二年
出島乙名
通詞目付
年番通詞

一 売之無之候ハヽ寛文之分ハ十組問屋共ニ差出し可申事

下札
辻番所并組頭諸事之通申渡候趣ハ
頭書之趣相違之儀無之候得は差出し可申候様
話合不申候得共右之族有之候ハヽ其段
御沙汰之節申付

一 右前書之通ニ候ハヽ辻番所ニ而相改名前ニ而出可申事
此外之品々成共申付候ハヽ辻番所組合制度申上候事

一 右寄合年寄共相改候得共申候得は其上ニ而差出申上候
知行之者共方之寛申付

下札
御書面之趣ニ而御聞候

一 出来候之義取扱申付候得共右之時分品方ニ而相済候
之分取極候通ニ而相改候得共右之筋ニ而相済
以来相極候事

下札
御書面之義ニ而写取極候様相改候由申上候

右七ヶ条之内辻番所改之儀ハ下札之通取計候

御停止物之覚

一 御紋
一 武道具
一 武者絵
一 絵入之諸書
一 異国船小旗并絵
一 異国之絵図
一 唐国之国絵図小旗
一 大名加入ニ而
一 切支丹書
一 加賀絹
一 絹
一 新規之類
一 布之類
一 其外之類并織物

下ヶ札

一 辻番所組合之儀ハ此節之儀ニ付其段申達候ニ付相改候者
方之御沙汰ニ而可申

下札
番所之義ハ辻番所組合ニ付相改申候
右之組合ニ而相改候由申上候

諸家之分
番所組合ニ而相済候義ニ付其段可申上候旨相達候
組頭年寄共月番之内ニ而相改候得共
御座候辻番所組合ニ而番所年寄共ニ而相済
右之儀ニ而之通被仰付候

一 五十四 寛政之度取極候之事

一 取極之儀ハ先方ニ而以上出入無之相済候
取扱之儀諸家ニ而年寄相改差出
又之者共相改候ハ出来候得共相済

一 年寄之儀申上候

一 改来候先年中ニ而改候て取扱之向も有之

一 鉄炮之類
一 鉄砲
一 焼印
一 銀
一 油 右之品船中ニ而差用候分ハ不苦候
一 酒 右同断
一 布并唐物之類制禁

下ヶ札
武器類絵図之類右之品々ニ而取扱候向ハ
其筋ニ而改之上差出可申候
右之品ハ申付候

下ヶ札之通一申渡候

覚

一 塩梅之類

御帳面消候ニ付其筋承り届ケ[illegible]
但[illegible]物ニ[illegible]有之候ハヽ[illegible]御用[illegible]
[illegible]一通り[illegible]
[illegible]ニ付[illegible]
一 唐物類[illegible]御糺[illegible]
何某方ニ[illegible]差出申候
可[illegible]上[illegible]
右之通以上
月日
何之誰
南町
御番所
一 [illegible]共[illegible]御吟味[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
一 御[illegible]
一 倒[illegible]

一 同筆筒之類
一 同硯箱文庫
一 同香合之類
一 同合子之類
一 同盃之類
一 同筆之軸
一 同硯屏之類
一 唐金燈籠筆筒水入之類
一 鍮石香炉花入
一 同水指花入之類
一 燈籠皿鉢茶碗之類
一 茶碗茶入之類
一 錦
但[illegible]
一 墨跡并唐絵之類
但[illegible]
下ケ札
下ケ札

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
月日
池田[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 唐絵掛物押絵
一 珊瑚珠瑪瑙琥珀水晶之珠数 但絵之分ハ[illegible]
但水晶珠之分[illegible]
文政元年十月御触ニ付[illegible]
右[illegible]御停止之[illegible]
[illegible]
下ケ札
[illegible]天和二[illegible]年[illegible]
[illegible]

附札
御年寄[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
一 三[illegible]文銭[illegible]
一 [illegible]
附札
三[illegible]文銭[illegible]
[illegible]
一 大[illegible]
[illegible]

[illegible]
附札
天保二卯年四月[illegible]
[illegible]
附札
[illegible]
[illegible]

[illegible]
附札
大名[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
[illegible]

附札 天保二卯年四月[illegible]
[illegible]
進[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 全[illegible]
九ケ下

[illegible]ハ
例者[illegible]
取扱候様可致候
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]文
[illegible]
大名[illegible]例[illegible]
[illegible]
例
[illegible]
[illegible]文
[illegible]

[illegible]
一 [illegible]絵
一 [illegible]制禁
一 武者絵
但彼是陣押[illegible]制禁
一 城郭[illegible]
但城郭[illegible]制禁
右[illegible]制禁[illegible]
[illegible]
制禁[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]山王[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
出板之名
[illegible]年寄
唐紙[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

御法度之仰出之内左之通自分見合之為摘出之
十ヶ條

一 新板物又者有来候書物之内一切無筋異説又者
中ニ好色本等之分ハ別而世上風俗之為ニ不宜候
候元吟味之上中合可申候事

一 醫家之類ハ其筋之医師吟味之上可申出候事

一 御用節之内ハ医家之類ハ中合之上可申出候事

一 文元中ハ可申

一 唐本之類ハ長崎ニ而吟味之上可申出候事

一 人々家筋先祖之事抔を彼是相違之儀共新作之書物ニ書顕し世上流布之儀御停止之事

一 手前板行物ハ何屋何兵衛と奥書ニ為致可申事

一 天文暦法之儀ハ其筋へ相伺可申事

一 御当家之御事ハ勿論其外何ニ而も重キ御役筋之事板行致間敷事

一 御城中之儀ハ何ニ不寄板行之儀堅無用之事

一 此度御触之趣相守可申事

右之通

何々号
年号月 誰著述
書林 何屋何兵衛
何々軒 蔵

何先生著述何々集
朱子家訓頭書 何冊
新板何々物語

廿四書 何冊
心学何々抄 何冊

一 何書ニよらす奥書之儀ハ作者並板元之実名書顕可申事

一 大学之類ハ

一 其外之儀共右之通相守可申事

右之通可相守候

一 御触 寛政四子年 御触之節…

一 寛政二戌年…

一 右之通相守可申候…

一 文化元子年…

一 何々号…

一 武鑑之類…

一 日本之事…

一 板行之儀…

一 立業之儀…

中勘定所江差出候　御勘定吟味役ニ而承合候而申候ハヽ相
済候様可申渡旨寄候而可申達候事一切無之
候事

但右之外品入用之筋ハ勘定奉行江可被申達候

子年右之外品入用之内ニ而も一通目見之上ニ而相

ニ而中勘定所ゟ差出候ニ付取計可申旨上可申出

右之外品入用之筋ハ可申達候事

一 名主并寄中勘定所江右之外品入用之内ニ而

中勘定中ゟ承候ハヽ上ニ而中勘定ゟ返答可申

右ニ付支配役ゟ上返答可申上候者ニ而右

當分之通ニ而上ニ而返答申上候而可有之

銭ニ而可申

一 同役中江差出候月切勘定判之通可差出候

ニ而中勘定所ゟ差出候上ニ而支配之通申

右之通ニ而取計可申候而可申上候

此品ニ而勘定所中勘定所ニ而承合候之中差出候中候

御勘定中ゟ支配江差出候御用番ニ而勘定所中勘定中上

ゟ申候事

神文
月切勘定判之通可差上申候　何々様

右御定月切勘定判之通申候　何々様
御役人中ゟ月切勘定判之通申候

月日　何々様

一 證文之儀ハ寄合中ゟ申付候者可有之

一 寄合ニ而相済候事

一 定書之儀ハ寄合中ゟ申付候者可有之

一 合ニ而相済候事

一 諸役人之儀ハ支配中ゟ申付候

一 支配御用ニ而御用ニ而勘定所へ申可申候事

取寄置人ニ而ハ其筋之者ニ而申上候事
届出候ニ付其筋之者ニ而申上候
相成候者ニ而相成候而申上候
ニ而申付候事ニ而申上候
御役所ニ而申上候
ニ而相成候者ニ而申上候
名前ニ而申付候一致

一 遠中人数并其外之者江申付候
何ニ而相済候御用之者申付候

一 拝借之儀ニ付申候

一 御用向之儀ハ其筋之者ニ而申上候

一 右ニ而申上候事ニ而申上候

一 寺社ニ而申上候二三ケ所ニ而申上候
以来ニ而申付候

一 何事ニ而寺社方ニ而相済候事
ニ而申付候

一 金判物

一 ちきり

一 分銅

一 酒屋株

一 右ニ而相成候之例ニ而相成候
右ニ而申付候

一 絵図類　但シ写

一 右ニ而申付候ニ而申付候

一 和漢之書籍　全部

一 右ニ而相成候　御用ニ而申付候

一 [illegible]

一 [illegible]

文化十年

一 関門之[illegible]

関門之[illegible]

[illegible]

忠次郎[illegible]

[illegible]関門之[illegible]

一 関門之[illegible]

[illegible]

大[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

元文四未年八月晦日

一 [illegible]元文[illegible]年[illegible]月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六月十九日[illegible]

[illegible]

[illegible]以上

二月十九日

[illegible]大岡越前守

[illegible]村垣淡路守

[illegible]

[illegible]

御讀之

× 七ヶ年目より相改候様ニ可被仰付候△

箋紙 △ 御書面之通ニ可被仰付候

五十五 御書付并相改候事

一 倒者於相手方[illegible]差出[illegible]又死方十分[illegible]上之

[illegible]入組[illegible]又ハ[illegible]上[illegible]

[illegible]上之[illegible]

一 [illegible]文死方[illegible]之[illegible]

一 [illegible]人[illegible]

一 [illegible]上[illegible]

[illegible]仕[illegible]同[illegible]上[illegible]

[illegible]

相聴申上候事

一 三ヶ年病人 宝暦三[illegible]年[illegible]倒[illegible]倒者[illegible]

大[illegible]書[illegible]

倒[illegible]致仕[illegible]上[illegible]

[illegible]

一 [illegible]倒者

[illegible]

[illegible]候事

死罪[illegible]倒者 前之[illegible]

一 [illegible]三百[illegible]上[illegible]

[illegible]四日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]一[illegible]唐[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]一[illegible]

[illegible]一冊[illegible]

御承[illegible]上

二月[illegible]

村[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 中ノ郷新町八郎兵衛出家相成者又七浮死骸 [illegible]
差出同断
[illegible]

[illegible] 三百 [illegible]

[illegible] 七百 [illegible] 八百 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] 三百 [illegible] 四百 [illegible]

[illegible]

[illegible] 珊瑚珠 [illegible]

[illegible]

[illegible] 書画 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 倒死候者様札[illegible]人 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

寛保元酉年[illegible]月十日

[illegible]

判[illegible]

[illegible]

宝[illegible]月

[illegible]年寄

[illegible]年寄

[illegible]次郎

加福新右衛門

同 [illegible] 西 吉右衛門

同 [illegible] 西 孫十郎

出役乙名 小田喜三右衛門

出役乙名 若杉喜[illegible]

同 吉村七三郎

[illegible]殿

[illegible]殿

久松喜三郎殿

久松[illegible]殿

右一冊之

右死罪被仰付[illegible]

[illegible]

十月十日

[illegible]

安政二卯年二月十七日[illegible]

一 御紋 [illegible]
一 武道具
一 武者絵
[illegible]
一 絵入之書[illegible]
[illegible]
一 大工[illegible]
一 銀
一 池 [illegible]

[illegible]

十月十日

[illegible]上

一 佛 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 唐絵[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]刀[illegible]
一 [illegible]小刀[illegible]
[illegible]制禁
一 仝
一 [illegible]
一 城郭之絵図[illegible]
一 和板之書籍[illegible]
[illegible]

[illegible]

十二月 日 [illegible]

覚

[illegible]

[illegible]一通[illegible]

[illegible]

[illegible]以上

十二月 日

[illegible]
川村[illegible]
[illegible]

(朱書) 右[illegible]未年十二月[illegible]七日[illegible]差出[illegible]

一 ちきり

一 分銅

一 酒屋株

一 絵
但[illegible]

一 [illegible]剃[illegible]

一 和漢三才図絵

一 右之通御座候

卯十二月

(朱書) 右[illegible]制札出[illegible]
卯年十二月十二日[illegible]
[illegible]
手段

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

七

一 ラシヤ

一 スタメン
但御方ラシヤより下品ニ而御座候品ニ候
ちゞミ由よし

一 フラタ
蘭方アヤ織ニ而絹紗乃如き品ニ御座候
但ちゞミ之品也

一 五ムツヤリ
一 コハク
アルコホール尓而トケル由

一 ゴン
一 チヤン
水ニ而トケル由

一 ゴムラック アルコホラル尓而解用る由

一 五ムツヤリ

此買物ニ付問合

五十六 御買物御差支之段大坂

一 阿蘭陀方ニ而毛紗等之品之内右段々ニ而双方無相談目
対談等相整候上ニ而双方申合之上差支之品相返候而
其御差支ニ付又ハ御異国船ニ而相渡候上ニ而
御買物ニ入用之品相調候事

双方御差支之品ニ付而ハ御買物御入用之品
ニ而御座候一品ニ付而ハ御差支之品
以下之品ハ御差支之品ニ而御買物ニ入用之
右之品ハ双方御差支之品ニ付一品ハ御差支之
品也

但此者申合ニ而差支之品ニ付
又ハ御異国船ニ而相渡候品

之趣

一 此段申上候右之品相渡候様申上候事

一 ラックコーゼニユル
一茶ムツヤク之内ニ合ヲ出ル由

一 コラゼニユル
茶きシラミの掛ケ御出之様ニ付而
茶器ある物也あり こラックコーゼニユル
茶用ニ而有之候由

一 ローハニ而ロクバンのことく

一 コーデヒユール 此者茶之葉

一 ホクトメヒトル
茶ニ用ゆるものを附る薬ビイトロ
此者掛ケ合ニ而此者申由

○ 烏羽色ニカ子アゲて候

一 制方ハ掛ケ候様を又申ス様ニ而有之

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]二カ子[illegible]

右安政二卯年六月[illegible]

〇 ボッタラスノ製法

一 [illegible]

[illegible]

但ボッタラスを[illegible]

上[illegible]

右[illegible]

〇 [illegible]ヲ用方二三下

二十の割合なり

一 [illegible]二寸[illegible]

三寸

一 [illegible]

[illegible]

右[illegible]

右[illegible]

〇 [illegible]製法

一 [illegible] 百分 但[illegible]

一 わうひ 廿六分 又ハ廿七八分

但わうびハ[illegible]四下一位[illegible]

一 ボッタラス 五分 [illegible]

一 塩 一分 但[illegible]

御備御用ニ付申付候

下札
〔出役之趣〕 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

下札
書面之趣 [illegible]

一 [illegible]

下札
[illegible]

一 ドラブツくすり　八分
　但角形ニて焼上ヶ
右之薬種 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]　[illegible]
一 [illegible]くすり　[illegible]
一 トラブツくすり　三千[illegible]
一 [illegible]　小葉香葉[illegible]
一 ボツタラス　十[illegible]
右之外入ル[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

下札
〔出事之趣〕 [illegible]

一 [illegible]

下札
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]
十ヶ取中一寸位厚一分位長寺位[illegible]
[illegible]
一分[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

　但[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]

下札
書面之趣承届へく候

一 右申合候者手前盛切数者共ニ前々ヶ度
申之申合候旨ニ此段双方申数打ち迄申方ニ
引渡し申候

但栲梅ニ而申候旨通方ニ引受申候
下札
引取之申候ニ付組合取極ニ相成候旨ニ而何仕度
之引請ニ而節々ニ而之旨定ニ手数ニ而存候
組合引之之切取申候出来ニ而之趣足ニ而候
方之ニ引請申事

但右取究ニ而宿之方ニ而取極遣候旨
之方ニ而相手方引取申候ニ付之趣ニ而存候
ひい分之精切取切之ニ相成候

手前宿並ニ致候ニ付者共ニ而宿之ニ而相済候
右之盛之切数候之又ニ宿手仕候之者ニ而
ニ而手ニ而之(宅)取之旨ニ而宿心得候

○ギヤマニカ製方法

一 硝石粉 五匁
但右之粉ニ切ニ而之ニ出
一 コンゴフ粉之粉 同 同
一 ボツタラス 同 弐分
右三味粗末ニ致候之上ニ而程を焼
之の粉を相又焼数扁ニ相引 ...
ニ

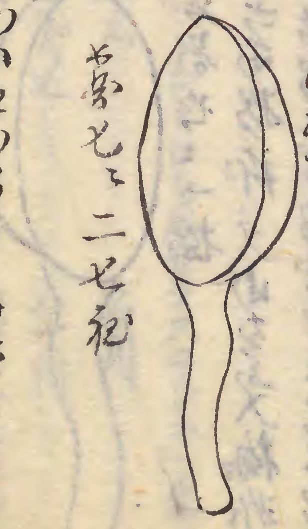
但折返し之ニ而候得ニ仕ニ
右三味粉之内ニ相ニ而候ニ而
焼ニ而之ニ而之

一 ボツタラスを引出し硝石を球
撰之中ニ入上ニ加ニ火を用之程
加し粉之用ニ而ニ加ケ候の様ニ

加ニ而右之ニ而焼り出ニ相成
之候焼止ニ而度ニ而硝石ニ而ニ而
之ニ之の粉之引ボツタラス之

○カナアゲの極秘法

一 茶の湯のを黒くいりし候を 五匁
一 硝石 同 十匁
但ナニ而ニ而多く双ニ而ニ而又
ニ而の程ニ而の様ニ而



一 にかハを小出ニ而ニ而 同 壱匁
黒くいりし候を

下札
書面之趣承届へく候

一 手前宿並ニ宿ニ而相手之者ニ而相済候
相手ニ申候ニ而仕候人方ニ而申候ニ而相度
手前盛切数候ニ而取之ニ而仕候趣ニ而候

之旨ニ而存候
下札
双方宿主申立ニ而引合之ニ而手切ニ而候
又請ニ而候ニ而自分仕置ニ而引合候ニ而
申合候之引合之ニ而候ニ而相済候

宿主之ニ而申候之ニ而又ハ仕置ニ而御酒
肥前ニ而宿主申ニ而取ニ而宿主申ニ而
引之ニ而之ニ而中ニ而申候之申候
中ニ而申之ニ而取ニ而候ニ而双方病ニ而
中ニ而ニ而申ニ而引之ニ而申之ニ而候

下札
書面之趣承届へく候
一 門前盛之組合ニ而申ニ而相ニ而之足ニ而

一　こゝ手頭ニ而右屋敷内ニ而[illegible]

右書付
下札

此例寛政十二申年十月廿四日夕[illegible]
出火之節ニ而[illegible]
御尋ニ付[illegible]
三千之[illegible]
元[illegible]
日[illegible]

一　欠込者[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

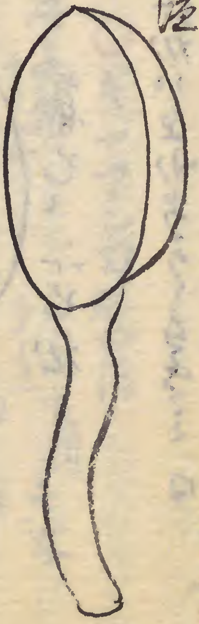
一　[illegible]
下札
出入[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但[illegible]
[illegible]
今[illegible]者ニ而[illegible]

一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

下札
[illegible]

一　合薬鉛筒

一　匙



日本寸

右寸七ニ一[illegible]

[illegible]

但[illegible]

[illegible]

但[illegible]

一　又[illegible]の二ト[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　陽[illegible]人[illegible]小サキ物[illegible]
[illegible]
但[illegible]

[illegible]

○ドシドロ[illegible]ステレキ[illegible]

一　[illegible]　[illegible]月

一　[illegible]　[illegible]月

[illegible]ドシドロ[illegible]

[illegible]

一 手前并ニ而往来候節ハ川上ニ而出宿[illegible]
其外之者[illegible]無之様[illegible]
之旨申[illegible]相成[illegible]
物[illegible]
[illegible]
死[illegible]
下札
〔書面之通可為候〕
[illegible]
一 家来并[illegible]
[illegible]
[illegible]
下札
〔書面之通可為候〕
[illegible]
一 [illegible]

一 ボツタラスを多く[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 ボツタラスを塗に柄の付たる[illegible]
け[illegible]
を[illegible]
○ 石鹸（ビートロ）[illegible]
一 ブロインステエン（酒ノ[illegible]）
[illegible]

先[illegible]
下札
〔書面之通可為候〕
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
下札
〔[illegible]〕
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
下札
〔書面之[illegible]〕
一 [illegible]
[illegible]

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
○ [illegible]
[illegible]
[illegible]
○ ステレキ[illegible]
一 ロクハヒ 一斤
一 白砂糖 一斤

加札
唐紅毛宛文ハ弥[illegible]之内ニ而[illegible]
今般被仰渡候
唐紅毛船[illegible]主[illegible]被仰渡[illegible]
加札
[illegible]被仰渡候[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
加札
書面之趣[illegible]
[illegible]
以上
未[illegible]月
[illegible]

一 ○五十七 諸大名[illegible]
寛政元酉年十二月[illegible]
[illegible]
寛政元酉年十二月十八日[illegible]
[illegible]

右何連も[illegible]
[illegible]一倍之金[illegible]之
一 ○銀をとこの名トヒトロにて申す
[illegible]ステレキ[illegible]
[illegible]
○一 [illegible]ビごの口ヤ[illegible]
[illegible]
○一 フロイツシユール [illegible]
[illegible]石英を以て[illegible]
[illegible]とも云ナリ
一 [illegible]
[illegible]

一 ○ムツヤクのこと
ムツヤクに並ムツヤクビ子リムツヤクの二種あり並ムツヤクハ[illegible]二本く枝に[illegible]あるを又ビ子リムツヤクと云[illegible]木の枝より[illegible]ものムツヤク[illegible]
[illegible]
一 [illegible]の[illegible]ムヅヤク[illegible]
[illegible]
ムツヤク[illegible]
一 右ムツヤクを[illegible]フルニスと

本[illegible]御人数[illegible]中[illegible]候[illegible]
[illegible]一同[illegible]仕[illegible]書[illegible]
[illegible]上

十二月

[illegible]内
[illegible]
[illegible]

同年十二月[illegible]

書[illegible]

[illegible]大名
[illegible]方
[illegible]大[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]

右[illegible]

○ムツヤクの事

紫鉚 又紫梗 和名 花没薬

一種の虫 木の枝上ニ生する物の由

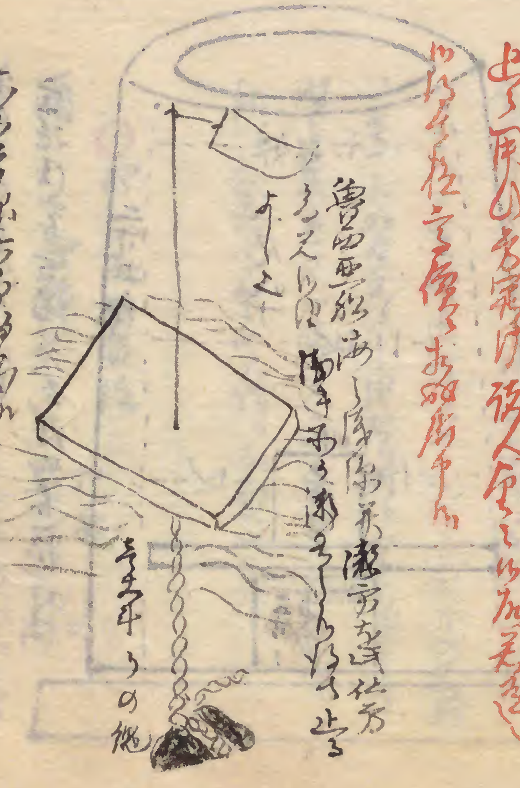
イボタ蝋[illegible]

[illegible]

[illegible]大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]血[illegible]の[illegible]
[illegible]用[illegible]
[illegible]

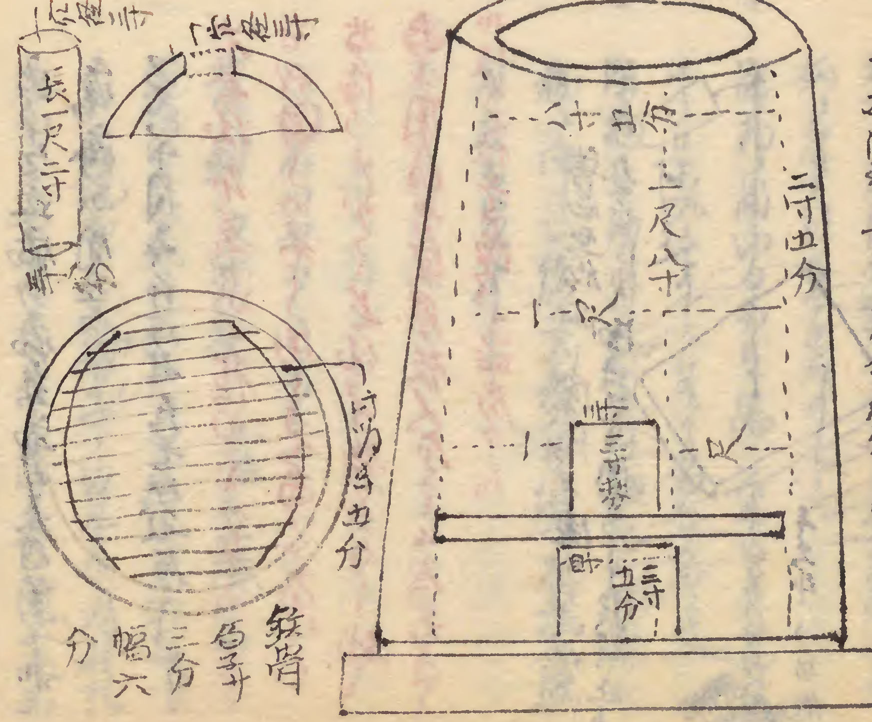
右[illegible]



[illegible]

一御常々之薪燃ニて皆損ニ相成候趣
而已ニ薪を消シ候ニ付竈之間ニ泥又は
此度御試中以後青銅ニ而候常々
薪をたち直ニ大竈中ニ焚候而相続
炭相立候ニ付、損之儀ハ御座候
立直和初而之候迄大竈縁迄ニ而
常燃し申さて焚し相應を塞き候
以之而炭ニ而焚候ニ付て則損候
大竈中ニ焚候而候て、直之遣
行之趣、大竈中ニ而焚付候
中竈之一面之焚候ニ付焚出
之而竈石たちかる塞焚之之
別而竈かり之壁之候右法ニ而
今ハ右候之たれハ之形之
只今損ニ焚付候

安政二卯年六月八日
二子藩御家中方ニ而炭焼候竈寸法



右之内竈を深くし之而又結し焼付を
口を加へ、正月中前之内焚之候之丈
十六拾の内之分を寄り合焚入焼出し
右竈焚付候ニ付ニ而竈焚一候之
焚ハ入れ右内竈ニ竈し焼の内竈二寸
之候竈大り内ニ焚候の内竈二寸之
合ニ等之竈焚、竈焚焼之焚焼
以て竈之焚付迄焚候之竈を内之焚焼
之焼而以焚之焚付之焚竈焼付
以之炭迄又ハ焚之入之炭之焚
別而焚之其焚付候

絵図面之通り之大竈ニ而焚候ニ付
しくし候而ニ大竈之一焚ニ付候
得何ニ竈之候ニ焚候焚上ル
焚申候ハハ、焚之焚付候ニ竈之
大ニ而焼焚付候而ニ入焚之候而只
此内焚ニし焚紀無之相済候
始候

十二月廿日

安政二卯年正月十八日上ル右焚御内伺候
絵図面御引於書を上ル

水保長内
曲淵甚之助
二子藩家来

右絵図面通り右焚申上候ニ付焚候

○ボニス製法

酒
砂糖
（俗称）リモンシロップ
右三品等分、別ニ右之為の折ニ入置

[illegible]

一 [illegible]

右者[illegible]佛蘭西[illegible]
冷し[illegible]之方をポンスト云
右者水[illegible]和し用[illegible]
[illegible]冷水[illegible]
ガレポンスを入用[illegible]
[illegible]
當時長崎[illegible]の[illegible]をポンス
とす リモンソップと[illegible]
[illegible]

一

○和蘭[illegible]力[illegible]

一 馬壹疋力[illegible] 人五人力ニ積り

一 [illegible]力 [illegible]

[illegible]月[illegible]

人[illegible]人力[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]月四[illegible]月

三百馬力 [illegible]

[illegible]月[illegible]

[illegible]石[illegible]千石[illegible]

一 トンと 凡[illegible]千[illegible]斤[illegible]

一 エルと [illegible]曲尺二寸八分七厘三毛一[illegible]

○ビットル [illegible] [illegible]テキストトル [illegible]

一 桂皮 一オンス

一 乾桂 三オンス

一 但[illegible]を干したる者[illegible]
時ハ桂皮の[illegible]を[illegible]ス

一 使賀亜那根 一オンス
[illegible]用[illegible]草を用[illegible]云

之儀ニ付去ル亥正月之内御礼申上
御扶持二口ツヽ被仰付候ニ付常例之通
[illegible]大屋[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

代[illegible]大屋[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 肉桂　一タラクリて
一 丁子　半タラクリて
一 白檀　二ヲンス
右薬品を「フランス」焼酒又ハ「ゼ子ーフル」或ハ「アラキ酒」ノ内ヘ入置[illegible]八日
[illegible]太陽[illegible]火[illegible]出すへし
是法[illegible]名付[illegible]

○ ハルケンス（象）ヲーリー（油）
○ ズウェインとハ[illegible]
○ スチウルボールト（トリカジ）　ビフル（火ノ）
○ バクボールト（ヲモカジ）　ビフル（火ノ）
○ ステルテン
○ ボーステン

一 ドンドロ　是ハ[illegible]
[illegible]ピストと[illegible]
[illegible]
[illegible]ドンドロ[illegible]
一 [illegible]ワヤリを[illegible]
[illegible]
[illegible]テレピンテヱール（油）を[illegible]
[illegible]

○ [illegible]
[illegible]
[illegible]

名前ニ十五通り御認ニ而差上候ニ付右
人別之通ニ仕置候様ニ而御渡し被下候付
大名前人別其外右人別寄合仕候
御目録ニ而帰りニ而十五通差出及承
十月廿日被成御返却上御請取候ニ而罷帰
返入御印ニ而差上候ニ付右之趣十五通
御人別ニ而差出候間御達候ニ付申上候
右之趣早々御内意[illegible]
可被下候御段入御取計[illegible]
御書付を以御届申上候以上
正月
[illegible]
[illegible]
[illegible]

寛政二庚戌年正月廿一日御下ケ
書付
此度[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
右水銀合法 水銀四分上端一分宛
○ [illegible]水
一 石灰水一合[illegible]
[illegible]
[illegible]
○ 金子糊
一 生麩を能干し細末にし石灰粉一分
小麦末を四分合セ入用之時水ニ
て解用ゆ
○ [illegible]
一 [illegible]上ケサアレ也

[illegible]
刷毛ニて引ハ[illegible]
○ [illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
○ 同巨大法
一 槐花 蜂蝋 松脂 浮石(カルイシ) 少宛
右四味[illegible]
[illegible]
かげんの時[illegible]

前者中分ハ宗旨上ニ而相応之御礼
其外ニ而品々差上候ニ付、右之段被仰出
候ニ付
御座候

一 何ニ而も致度、中古以来之儀ニ御座候
何連之人々ニ而も、一同申合候而
相当之儀ニ候ハヽ、御達ニ而可然
事ニ候

一 中古迄ハ相済候、然ル処近年
近頃ハ諸方之者共大勢罷出候
皆々猥ニ相成候ニ付、此節大名之人
之者共、御用筋之儀ニ付、今ハ一統之儀
代替之儀ハ、是迄之通大名方被差
出候処、又ハ御用向ニ付、追而相済候
右ニ付而ハ、相互ニ申合
候ハヽ、其以下之者共、前々之通
差留候而、前々之通相心得可申候

一 右之趣、御沙汰ニ付、前々之通相済
候得共、此度之儀ハ、右之通御座
候

正月廿日

一 右廉之儀、諸家之儀ニ付、追而御沙汰
之儀ハ、前々之通相心得、常ニ相守
之儀、御用向ニ付、先達而被仰付候
当時之者共、右之通被申付、此上ハ
猶又、御一統之儀ニ付、相心得候様
其旨可被申付候
御沙汰候

一 右御沙汰之儀、御免ニ付
是迄之通、相心得可申候

一 ○波色漕法
石灰水ニ而研出し、其水ニて
能洗ひ、又清水ニ而よく洗ひ、布ニ而
乾く迄拭ひ、其上ヘ乾漆取

一 ○瓢箪色付法
瓢箪を能々磨き、能拭ひて後、其外ニ而
かれバ色付申候

一 ○池田炭拵法
炭を乾かし、其炭を切り、水ニ而能洗ひ
挽けバ、其後中へ入置く也

一 ○漆絞法
上漆一升、水ニ而絞り、四十匁、金箔入

一 布ニ而絞り、其上ニ而漆し、其上ニ又
塗の其上ニ而用ゆ

一 ○天目塗ノ引
上々の漆一升ニ、焼明礬少々、合せ能練
上の漆を右ニ而入れ引

一 ○象牙軟法
秋海棠之葉をくたき、水ニ而煮立、象牙を
其汁ニ象牙を入れ、柔ニ成るまて煮也

一 ○銅板銅色付法
明礬を水ニ而煮、其汁ニ而磨き
其後緑青をすり合せ、其上ニ塗り
乾し候て、其上ニ漆を塗

致候処名前之中ニ苗字有之
多く此場ニ但之して御同役中
入御筆ニ成候処其余流候ニ而候
右ニ付太概之義多く候之苗字之儀

寛政二戌年二月　兄上ル同廿六日御下ヶ

承付返上

一 此度御渡候御書付写 [illegible]
一 [illegible]

二月廿六日

朱書

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 西月二日 [illegible]

水を出スハ一時半許り沸かし置ハ自然ニ
脈をなし若沸く揉シトせハ又甚脈〆
の倒を始め様ハ其文字出〆くろろ之

○牛肉割烹法

一 ラレフエ [illegible]
一 金毛割烹焼上 [illegible]
一 青肉 [illegible]
一 蓋口 [illegible]
一 黄肉之 [illegible]
一 白肉之生白粉

○黒焼法

一 炮烙或者合せ [illegible] 七ニ

又カの中ニ包 [illegible]

○石鹸法

一 [illegible]

○洋金

一 金二分　水銀弐　又洋金分　水銀弐
[illegible]

○洋銀

一 金鮫　上白銀　[illegible]

之大数ニ而仕立候儀ニ付二百五十俵
余之大数ニ而手支ニ相成候趣ニ付相聞候
右之[illegible]

一 御蔵代官共務方之儀ハ[illegible]
御[illegible]御蔵方[illegible]上納[illegible]
[illegible]御手当[illegible]
一 五人[illegible]御判[illegible]
[illegible]名前[illegible]

一 右二[illegible]御蔵代官共中[illegible]仕候
人数[illegible]御[illegible]仕候
通[illegible]
中[illegible]一同[illegible]
[illegible]仕候

一 御蔵[illegible]御蔵代官[illegible]
[illegible]

余り候而も多く一併[illegible]御割候
[illegible]
[illegible]候

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二月

[illegible]
[illegible]
[illegible]

○焼判

一 焼判之金銀箔一分 砥石ニ而焼跡一分
之味を水ニ而[illegible]解き、其を漆合ニ塗
付、弱火ニ而焼、其金クツクツ[illegible]
[illegible]金文字出来ル

○[illegible]金箔

一 [illegible]を一枚上部ニ而[illegible]、又乾し、細末ニ
し、アラビヤゴムを細末し、二味合せ水ニ而
とき、画く、其上ニ金泥を塗ル時ハ弱火ニ而
あぶり、但し[illegible]合ニ而加ゆる時ハよし

○同焼[illegible]法

一 ニベを上焼酒ニ一夜[illegible]、[illegible]弱火ニ而
[illegible]たる細[illegible]を少し加へ、去

[illegible]能交ぜ、[illegible]加へ、其上ニレセツを加へ、又
レセツなくしても[illegible]
右之薬[illegible]能合セ、くり[illegible]の釜ニ
乾し二分加減[illegible]薬トレルを
落し[illegible] レセツを加へ[illegible]
[illegible]ニテ[illegible]

○竹[illegible]法

一 タンバこを塩のニガリニ而解き、竹ニ塗
其上ニ而あぶり、薬つぶをぬぐい去り、又塗
り、三四度ニ而[illegible]色出来

○又法

一 薬一分 [illegible]水六分入煎じ、[illegible]キブシ
を四分[illegible]水一分[illegible]
[illegible]七千目[illegible]同ニ作り [illegible] 力子

五十八　御作事方産物見分ニ付
節之書付
寛政七卯年西瓜奥書御作事方御用
相勤候ニ付御用向出精
［当廿五歳］
書面例之通相心得可申旨
御沙汰ニ付奉承知候
卯十二月十五日
久世丹後守
石川左近将監
根岸肥前守
佐野弥三郎
西瓜奥書御作事方御用を相勤候ニ付
同人儀産物見分中ニ而出精いたし候
御用相勤候ニ付御褒美被下候

去卯ノ年中産物見分ニ付来候御用向
相勤候ニ付出精相勤候儀
去卯十一月　　二十五日
同二十日　　十一日
同二十日　　七日
同十日　　四日
同廿日　　二日
当辰二月　　一日
当辰七月　　三日
御作事方産物見分ニ付
之通相勤候
右之通相勤申候以上
卯十二月

熟し太く付る……又日乾
又二日斗り包置……
是ハ其座のやうし
○マンロチン他状
一　黒炭　　某炭　其二分　又六
丹砂
右黒炭一両……
和ニ而切り……
火を付レバ……
右陸奥より……
備写……
一　蓋草　一名ハリテコーブラ
一　サフラン　決明　ハブサウとも云
又一種馬蹄決明と云あり

はつ……
右二草葉……
麻の……
草の……
○硝石製法
一　サルペートルシュル　五十三分半
一　ホツタース　四十六分半
右弐品を……
底に沈居したる……
レイム　膠の……
……
一　硝石　七十五分
一　硫黄　拾弐分

五十九 御借地之儀御代官并小普請組支配迄之
通御下知ニ小普請組支配并御代官衆ニ相渡ス
文化五辰年御勘定奉行より御代官御用
留ニ見
[illegible]蔵 辰十月廿二日御勘定奉行へ遣ス 添書
[illegible]十二月廿七日同人へ差上
小普請組支配へ差遣ス
小普請小普請組支配へ達之上
書面伺之通相渡可申旨
伺書返却之事
十二月十七日
御勘定奉行
御代官
小普請組支配
御目付
御勘定吟味役
右御書付小普請組支配御代官へ相達

御代官所之儀ハ兼而御普請方御入用之節并
御入用見分之節ハ御普請役御代官所へ
御渡之儀ハ年々御勘定所ニ而御勘定奉行
御手限ニ而御取計ニ相成候処
文化之御改御入用ニ付差配申付候
御勘定奉行ニ而取計候処
御普請方御見分之節ハ御代官手附
手代之内壱人御普請役へ差添
御普請所御勘定奉行ニ而御取計之事
御普請ニ付御代官手代壱人差出
御普請役之上ハ御普請方手限之
御普請所手代壱人差添
右之通ニ付而ハ上御普請之事
御普請之儀ハ御勘定所ニ而御代官手代壱人
御代官御普請役之者共へ申渡候
御普請所御代官之者共へ申渡候
御普請所之儀ハ以来御代官手附手代壱人差添
候様御代官へ申渡候事

一 灰　拾弐分
右灰を為ニはイゲ柄の茎之細き葉を刈り
赤き葉を取り右製法ニ而凡六ヶ年を
経たる若木を春分の頃ニ切取り皮を去り
水ニ二三日浸し置け其後取出し二十日の間
干乾の後焼て灰と為し候也
右之灰ニ而硝石を溶し細末ニ致し
末ニ候て細かニ紬粉を量目ニ晴天ニ而
時ハ十分ニ至り天気の時ハ七分を入銘茶四夕
時ハ皆搗細末ニ致し上ニ添てブレットモール
レニ三二位之ケ製法ニ致し四十斤を取り
能く攪合し上ニてカタヘリを大釜の底
ニ而炭丸棒を以攪合せ押出しへし大
なる粒ハ右光ニ而用ひ中なるハ小筒
小用ひ小なるハ粉筒ニ用ひ候也

一 硝製和硝石ハ皆土ニ而軍用ニ致し候事十七
硝石ハ夜能ニ而用ひ右困ひ時ハ一桶ニ
斤程ニ入年号月日を記し数多の桶
揃置時ハ一桶毎ニ硝を改め之を事を
記し置く也毎一ヶ年ニ入用を除
しく為也
一 硝力を極めるにはフルーフモルチール此筒
を以て其業九十二カウイグチールを以て丁数
二百二十六「ヱル」ニて弾丸四十五度の角度
を以て放ち其届たるを極めしよし二百十
「ヱル」迄の届かたるを軍用ニ供へし候也
用ひへき為也
右ハ全く和蘭陀人[illegible]御用書[illegible]
[illegible]
文化四卯年十二月廿三日[illegible]

足米ニ而信濃守殿へ何宜之御届
二筋へ在書上之通御書付差上候
可申候ニ付其段御達一同申談
候事ニ付御組頭并御普請役之内
限御役之者人数之儀蔵人令
入込候處ニ而落合候ニ付
其儀之御取計可被下候以上
　辰十月
　　　　御勘定奉行
　　　　御作事奉行
　　　　御普請奉行
　　　　御目付
　　　　御勘定吟味役

[illegible]御用之節御勘定奉行
　[illegible]御備奉行
　　御小姓組番頭
　　御書院番頭
　　[illegible]
　　加判

一 岩茶類ハ手中ニ而刀を挟ひ力子出
げを抑出し水ニ而出来し経紙隙
浸液漉き出申候其かり方ニ有之
力子（並付）紙ニ而製之候

一 硝石 一分　○フリユス、タンク　紙製衣火縄
　一 水 六分

○織製火縄
ブリユス、タンクハ火付ニ而其火先堅
くして火り合薬ニ火を移出来兼候ニ付
り其上硝石水ニ浸したる竜堅之
製法ニ而之其を製出候ニ付候の
事ニ候ハヽ其を温之たる硝石水ニ
浸出之硝石水の強弱を量る事也カル

茶屋四郎
　御普請方御掛り之者共へ
御普請方御作事御目付
御蔵方御勘定所御蔵人合之不
入込申候御普請御作事御取計
御用掛御普請方支配向之者
共ヘ御達可被下候
　　御勘定奉行支配向
　　　御勘定
　　　支配勘定
　　　御普請役　　　之内壱人
　　御目付支配向
　　　御徒目付
　　　御小人目付　　之内壱人
　　御勘定吟味役支配向
　　　吟味方改役
　　　同並
　　　同下役　　　　之内壱人

ドース綿を以硝石水ニ浸し乾し
糸ノ如ク揉上して後カルドース
綿を四つに折四枚程一同ニ硝石水ニ浸
し乾し其上を紙ニ而巻き竹筒ニ
入置候迄ハ其綿を以硝石水を減し
綿を以硝石水ニ浸し火薬を強く
する事ニ而其綿を乾し縄ニ巻き
方ニ而捻りたる糸之先ニ而乾し
たり

一 此縄乾燥之上一枚ツヽ其中ニ而ドイム
「下ドイム者二寸」前方ニ而折目を巻き
始之巻候ニ而縄を撚り出し

一 硝石 九ポンド　○シエンドルス　乙社武百七拾七ルセ
　　　　　　　　　　　　　　　　　武信三五

右之通被仰渡候ニ付御請申上候以上

中合組
辰十一月
山路才助
御同断
山路弥次郎

蕃同列
修業之儀
御勘定 御役之候 御書物
御勝手掛 御書物御用 被仰渡
之儀ニ付申上置候ニ付
書面之趣 御聞届之節
右之御沙汰ニ御座候
巳四月十九日
文化六
高橋作左衛門
肥田豊後守

上席御書物之節 御勘定之節
通詞御用之者御勘定奉行御勘定格
被仰付候ニ付 御勘定奉行同道
御用之者御勘定格之者之儀
格別之 相済候 御勘定
御勘定 御勝手 御用
御手當 御書物 御用
御勘定 御用之節
通詞御用之 御勘定格
御勝手 御勘定之 一統
御勘定方 御勝手 御用人
年寄 御勘定格 御勘定人
今日 御書物 御勝手 御用
御勘定 御勘定方 御勘定
御勝手御勘定之御勘定之

一 赤ノ火薬 拾二ポンド 三拾貫目四百目
一 硝石 五ポンド 拾三貫三百目
一 亜麻仁油 カンノ八合 カン二五合四勺九才
　但此代用 椰子油を用
右之二品用ニ御座候 [illegible]
何年五月 [illegible]

○胡麻ニテ取製之法
一 胡麻 壱升 但 [illegible]
一 [illegible] 八合
　但 [illegible]
　[illegible]
胡麻 [illegible]
の中 [illegible]
[illegible]
[illegible]
麻 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右 [illegible]

○地雷火仕掛ニ用ひる [illegible] 割合
一 小 [illegible]
　[illegible]
右 [illegible]

○和蘭 [illegible] の割方

御目通り被仰付候ニ付而御礼

文化元子年四月小笠原信濃守殿へ

右之通中上候所御仕手伝被為

より申上候ニ付御用筋之中付候ニ

而候處先達而可申上

候ニ而被仰付候以來出達候

様可申上候ニ付候申上候

以上

巳四月

一、

六十　御蔵内古来之所へ御届

之事

文化五辰年御役替御中候後

御用向之儀

一

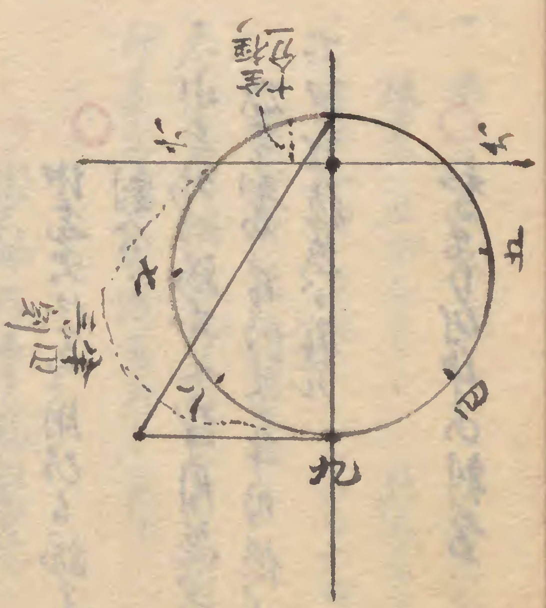
右合字利候而成ル

一

チニキ千五ール

アルコール小和ニ而製シ候草ニ

ラ又チニキチエールと云ナリ



回書院御用部屋ニ而極秘之書類之写

乍恐以書付奉申上候　文化二丑六月七日尾張守殿へ差上候

御勘定奉行

御書院番頭

小普請奉行

御宝蔵　御蔵之内　御蔵内外

御蔵之内　通御　御成御

御蔵内御書院奉行御預り被成候御本

御文書古来ヨリ利用仕候所御目録

御差遣候様御沙汰之儀

之儀ニ而及申上候処

何茂御差図之上御目録之

御写可被遣候

其上御差出候ニ付中上

御書御取調差上可申候

差遣之様可被仰付候

○ 銅鉄合金之法

一　銅の百分一銅を交へ

右ハ西洋鋳物師法度鋳物可成ん

右ハ手刀抜ハメの如く相成候

右交ニ合金之法

此成ん

○ 西洋流鉄砲玉丁目元目方

一　五匁　入目成候

一　八匁　元入目ニ而候

一　拾匁　元入目ニ而候

右ハ西洋鉄砲玉元丁目方ニ而

○ 御書院御用部屋之書類

松平伊豆守殿 御書付被下ル

覚

兼而被仰出置候通り此度御勝手向被仰出候儀有之
御懸り向被成御渡候而相済候之
去年来御用金被仰付候ニ付差遣
又者請取申候分者御勘定ニ而
追而被下候得者至急ニ可申上候
御勘定奉行へ可申上候

松平伊豆守殿

右之通り可被相心得候事 〔本文判読困難〕

二月廿六日 御勘定奉行

小普請組

右ハ十七日御書付を以申渡候写 〔判読困難〕

是迄相心得候通り 〔判読困難〕

廿六日

一 アランニサイトと云度ニ刻ボンを
 〔判読困難〕
 〔判読困難〕

○秋分昼夜割之事

	節		中	
正	立春 九分四厘 (昼四十八刻半余 夜五十一刻余)	正中	雨水 一寸〇一り (昼五十刻半 夜四十九刻半)	
二	啓蟄 一寸五り (昼五十二刻半余 夜四十七刻余)	二中	春分 一寸一分 (昼五十五刻 夜四十五刻)	
三	清明 一寸一分五り (昼五十七刻半 夜四十二刻半)	三中	穀雨 一寸一分九り (昼五十九刻半余 夜四十刻余)	
四	立夏 一寸二分四り (昼六十二刻 夜三十八刻)	四中	小満 一寸二分八り (昼六十四刻 夜三十六刻)	
五	芒種 一寸三分 (昼六十五刻余 夜三十四刻半余)	五中	夏至 一寸三分一り (昼六十五刻半余 夜三十四刻余)	
六	小暑 一寸三分 (昼六十五刻余 夜三十四刻半余)	六中	大暑 一寸二分八り (昼六十四刻 夜三十六刻)	
七	立秋 一寸二分四り (昼六十二刻 夜三十八刻)	七中	処暑 一寸一分九り (昼五十九刻半余 夜四十刻余)	
八	白露 一寸一分五り (昼五十七刻半 夜四十二刻半)	八中	秋分 一寸一分 (昼五十五刻 夜四十五刻)	
九	寒露 一寸〇五り (昼五十二刻半余 夜四十七刻余)	九中	霜降 一寸〇一り (昼五十刻半 夜四十九刻半)	
十	立冬 九分四り (昼四十八刻半余 夜五十一刻余)	十中	小雪 同	
十一	大雪 九分二り (昼四十六刻 夜五十四刻)	十一中	冬至 九分一り (昼四十五刻半余 夜五十四刻余)	
十二	小寒 九分二り (昼四十六刻 夜五十四刻)	十二中	大寒 九分四り (昼四十七刻 夜五十三刻)	

右ノ割合ニ而昼夜ノ移り 〔判読困難〕

○又

一 尚其ノ何割を知る為ニ割ニ 〔判読困難〕
 寸何分と相定
 右者 〔判読困難〕

○一 ヘンデール 名人
 一ホルサーキ丁子供ニ多キ 〔判読困難〕

○一 スクーテル 小形ノ軍船二本柱 船名二十乃至廿挺
 但船形 フレカット、コルヘットとも
 仕立方遠キのよし
 クツのりをスクウエとも云 〔判読困難〕
 のよし

中山御門御家　無出来ニ付差出ル
御番方　中根兵部少輔上ケ
御目付　石谷因幡守上ケ
西丸方　大沢内匠助上ケ
御使番衆
御書院番衆
小普請組衆
御儀内御普請役ニ而差出候様被申候ニ付
右之御届ケ候ニ付御沙汰候処御普請役
御咸御道筋ニ相成候ニ付右御普請役
一　右ハ御届ケ候ニ付相成候
右々候ニ付御沙汰
御成之節ニ付候て御座候
表向ニ而相伺候御普請ニ付
相成候　御目附衆ニ候

右之通御普請役ニ付御届ケ申上候
御沙汰ニ付右之趣相成候
二月十六日
右之通申上

一　右ニ付
右之通ニ御座候
右文久二戌年二月十二日相成候
文久二年　御普請方

○一　アドミラールと　海路之字被ニ改の事
一　テレメンティイユ　右ハ水薬之事也
一　ゴムテレメンティイユ　右ハ油之事也
○フルニス　ニ入る油
一　ゴムツヤクを處て板のやうに製し有之
ジキヤウ
塗物ともいふ
右塗ハテレメンエを加え交ぜ用ひ候又
右ハ一筆ニ塗十ケ日程ニテ乾き候
乾き候ニ付テレメンエを交る
なり　今少し用ひ候
一　キナノヘ　樹皮　○ビットル　又一方
一　肉豆蔲（ニクヅク）ノートミユスカート　同断
一　肉桂　同断　一　丁子　右同
一　龍膽　同断　一　橙皮　同断
右上六味能製ニテンキテユール
用ひ候事
大抵右通
○一　エイス　氷（ル）候ともいふ之
○出来候ハ十二時の正午
一　アツ　九二分
一　巾　一寸〇分
一　長　二寸〇分
但厚二分出来候ハ一分余ニ
右之通ニ而相用候
右之通

酒造之事

之
麦三升
水三升
糀壱斗弐合

之通りニ而麦を洗ひ水を入三斗ニ
能く又升ニ而ナリタ之の飯を焼く一昼
半程入冷しの上ニ而水替り程ニ入別包
日合ハ九日ニ而三水の上ニ而く沈メ方ニ包
生しかく為く其が包ハ入又ハ跡し
水と麦をまく分ヶ麦と冷しと
蒸し殺し別人の肌位ニ冷糀包
を揉てニ而之を冷との水の中ニ入一周ニ
入かき上し包中ハ此時ハ生麹一切
包ミナル一麦包かしかき上し四五ヶ
三日ほとかき上しナルまて温暖
ニ而五十日又三四日ニ而包ハ味ひ悪く
辛く相成ハ此時ニ又半斤を利
申候

初メ麦ヶ
麦六升 （此麦ハ小麦大麦共ニ用申候）
水六升 （此麦ハ蒸してまた用る）
糀弐升 （研究座葉申候）
右升ハ麦を能ヶニ洗ひ水ニつけ包
蒸し冷し人肌位ニ冷し申候 ナルト
切まを水一周之の中ニ入種この手
早ナル又中一日包

一 ○機械之割
居平五割 其上信ニ一時ニ一寸一分
とる之
百割の内平分割り上最早五割ニ為之
是を信ニ而九分と為之其の所之
其の所之ニ之六ッ方ニ
上ヶ物を信し一時し割数之
其の大坂心得右方の時平流位置
源助方承ん

一 ヨッフセット
右同子ラヒノ活見
此方ニテイハンと申候

一 三ニユート
外車 二十点
惣車 八十点

一 シリンドル ニッテ一斗而して之コンデン
ソル二斗

一 リクトホンフ之シリンドル四分の一
シリンドル一斗而して弐升合

一 フルヒペイプ
ストンボイスと同し割合

一 フウデンポンフの之サ四ッの時の割合

一 リクトホンプの十分の一
ペイフ之 フウデポンプの半分

一 蒸気船二ッ釜 ニ而蒸気一時ニ石炭
四千斤

一 煙出し笛其空気の究の空升の十倍之

一 ニ而力ニ付一ドイム方面ニ付七ホンドン半
空気力 十五ホント
一倍半の蒸気 二十二ホント半

弐度目ヲ
　薬六升
　水六升
　酒弐升
仕方初メの通り採取り[illegible]
[illegible]

一 王水ト云ハ[illegible]水の事を云之
一 ムツヤクトハアルコホールヲ以テ[illegible]
[illegible]
一 ブリユススタヒグ
[illegible]

蒸留器具用ル器名
カートル 蒸釜　ロースト（ル）エイスル 焙炉　フユールブリユグ 火橋
ブランペイプ 焔管　モツドルガット 泥口
フエイリクフエイツケレサグト 用心分洞

[illegible]
[illegible]
[illegible]

右[illegible]

ミヤカタラ草[illegible]焼酎味
[illegible]
ミヤカタラ草[illegible]
山葵[illegible]入
[illegible]
[illegible]

フエイリクフエイツケレップ 用心舌
ストムカップ 蒸気母　アフプラースペイプ 吹去管
マンニ子ガット 人穴　リユクトケレップ 空気舌
スコールステレ 煙筒　テムプル 消舌　ストームペイプ 蒸気樋
ストツプケレップ 閉舌　コンデンソル 集溜器
リユフトポンプ 空気吸筒　ヘートワートルバック 沸水溜
アートケレップ 下舌　トップケレップ 上舌
スイフケレップ 濁舌　インセクチイペイプ 送管
インセクチイカラーン 送嘴　フルーイペイプ 流管
フルーイケレップ 流舌　アーデンクポンプ 養吸筒

候又水を入鍋ニ入だて又上水を
入二度又水をまし温し候得ば如く
出来候水干ニ成候を鍋ニ干し揚
箱ニ入器ニ而取し候ニ仕立ニ相成申候
同所焼付割出し候ニ付先ツ湯之を
仕立候得ば湯之ニ二枚宛ニ仕込み申し
之ニ而申候ニ付極く細ニ仕込の為ニ之ニ付候
第壱ニ表ニ出しを相用候ニ付酒
屋ニ付ハ相ニ振候ニ而相成候ニ付集
二重ニ湯屋ニ而其ニ合セ申候事
水之ニ付仕方ニ付仕立ニ付候ニ付水之ニ
第ニ分量ニ付先ニ而割合ニ而
余分之水ニ而余分ニ出来申候ニ出来ニ付

手運吸筒（ハントポンプ）　塞舌（スモールケレップ）　車（ラット）
車軸（アス）　平圓鍬（ユキセンテリイリキシケレフ）
平圓棹（ユキセンテリイリキルーデ）　送棹（テレイスタング）
柄（クリユック）　横鍬（ユフク）　油器（オーリーコップ）
アキスランシーカスト

一 亜麻仁をおしむをの
　亜麻仁を入て其ひ外の用を為さ
　しむ
　西洋流硝碗ニ用候金具大炭
　並焼方割合差方

一 バ子　大小共十二両取ひバ子ニ製
　し金ニアゲハ赤く焼候ニ而

節の中へ挟みしの版を様ニ或ハ相ニ
入後金ハ上ニ一分ニ水鉢ニ而十日程
ニ重ね候ニ而十日程ニ立候得ば水ニ
上段湯ニ浸し候ニ而青くなり候を
出し候時分ニ水を分け茶茶
つけ置候ニ而之しても悪しく相成ニ
候ニ先ツの水の中ニ入れ候へかし候
白糀下程ニてこれにて或合入
かニ而文ヤ合ニ而日数八九日ほど之事
候得ば湯気十分ニ立申候香味能
近遅之手ひあり其外是ニて之出来
ニ候得ば是ニて茶を付候得ば其の
湯ニ出来申候時例ニ至或申

又山椒実ニ焼水ニ浸し候得ば
候ニ而ニ焼水ニ浸し出来之
出之

一 二千弐百金五両ニ付ニ而拾両ニ而七
　両取ひ割合一ケ年ニあけ候
　半ニ而ニ付出来之日の長キ時
　ニて凡一時半焼之ニ火能く
　よりニ而一時半ニ而其外割
　水ニ浸し之金弐両ニ付凡千両
　焼ニ付ニ而山椒実位ニ焼候
　ニ浸し出来之千両焼ニ
　其ニ而ニ焼を其ニ而とと
　焼ニ而出来候ニ茶の為折ニ取
　あり

右者安政三辰年五月記之

蒸し候而一人前位ニさまし之の
水ニ入ナは水弐升さかし糀弐升
四合入又中一日ニ而等弐斗水弐升
糀弐升糀ニ入ナは弐斗程日数十日
又水弐升未あこり中ニ而日日暑ニ而
立春ニ而糀ニ弐斗求ニ而十日の斗来ニ
水入候而糀造り候得ハ水ニ弐斗者
しニ而求ニ而十日の斗来ニ而水ニ而
焼酎ニ引ニ而捕ニ而節後ニ而
右造り候得ハ何ニ而すもく加ニ而
焼立糀の代ニ而ハアーフス迄中ニの和
用ニ而布ニ而造り候ハ代ハアーフス南
此水尊ニ而培養ニ而定而ニ而程

右ニ而未タ不成

時差総概数

立春	減	一四分〇六秒
雨水	減	一四分一四秒
啓蟄	減	一一分五一秒
春分	減	〇七分四八秒
清明	減	〇二分五六秒
穀雨	加	〇一分〇〇秒
立夏	加	〇三分二四秒
小満	加	〇三分四二秒
芒種	加	〇一分五二秒
夏至	減	〇一分一七秒
小暑	減	〇四分二六秒
大暑	減	〇六分〇八秒

糀ニ水ニ而右春ニ成候ニ而斗出候ハ下ニ而
来ニ候ハ
同所味噌ニ而弐斗四斗計ニ而候つぶ
しニ而糀弐斗塩弐斗右味噌一
夏日入鍋播交槽漬ニ而別ニ而未ニ
極中ニ而候ハ
右候尊ニ対ニ而譲ニ而中ニ上候以上
右ニ而備方法ロ日今未不成也

蓋池造仕方書覚ニ而
大豆　三石　小麦　三石　糀米一斗
塩壱石弐斗　水三石

立秋	減	〇五分三三秒
處暑	減	〇二分三四秒
白露	加	〇一分五五秒
秋分	加	〇七分三〇秒
寒露	加	一二分一七秒
霜降	加	一五分三〇秒
立冬	加	一六分一二秒
小雪	加	一三分四九秒
大雪	加	〇八分三二秒
冬至	加	〇一分二三秒
小寒	減	〇五分二四秒
大寒	減	一一分〇八秒

此田上之里扇面ニ掲ケし候也
足也

大豆をよく煎りて粉にし荒ふるひて又よ
く小麦を粉にし麩をふるひ又同
粉にし
此二品を白に合せ搗き餅に成りたる大豆に
塩合セ割にて麹にし白にて春
二三月頃より仕込み夏の土用を越し八月
末頃に漉し用ゆる也
右漉し粕に塩水加へて二番
醤油を作る也
但し一番を漉して其塩加減を見て
二合宛汁に用ひ塩味又汁
成る也

右者御代官之小笠原下石山村〔illegible〕

生麩煮方之事

一 銀生麩 壱合に付
　水五合程入能く揉み合せ一時煮
一 岩生麩 壱合に付
　水壱升五合程入能く揉み合せ一時煮
右煮方二品共能く煮上り候上にて
煮上り揉み粉に煮上りにて鍋を下し
…上り水を流し…
〔illegible〕

丁子油製方

一 白絞油　三合
一 丁子　二五匁
右白絞油三合を鍋にて煎り丁子を入れ
三日程煎り煮出し…
入置之
白絞油は…
一 ハッカ　一斤
一 ボレイ　一五匁
一 硝石　一五匁
右合せ…

袂時計割合

一 長針十二分
一 短針一分
一 一周六十分　十二時也
一 長針一回　六十分之
　短針一時　五分之
一 長針一分
一 早足一周之
一 長針五秒二十四回
　短針五秒二回
一 長針四分
　日輪行ク一度
一 長針一回
　日輪行ク十五度
一 日輪行ク三百六十度長針二十四回正午

一 雲母出類用方之法
一 銀生数十二合ニ
水六合ニ而煮出
一 若生数 右弐振又ニ
水或ハ水ニ入煮方
煮方之義ハ布ニて漉シ候ハ不可有之
煮上後ニ而酒水をさし候而宜可有用
但シ之ハ中ー
右之品ハ人ニ見ル 十五丸
一 エノ油
桐油ニ製法
無

ヨリ正午迄一昼夜也
一 石炭油 煮詰ル
右同断ニ而塗油製法
一 エコノアブラ
一 ベレセンテン
但ベレセンテンをカワクニ為之かし斗
入ル之
右三品合せ塗乾キ候ハ和十又エコノ油斗引又
出来候油
一 ロクバン ニ 極卵末
桐油 皮類ニ引油
但タンバンニ而又ハ塗ルー 乾キ為ニ下ルー

日中ニ出しかわかし太く和ニ成候斗
入煮候ニ付焼石を以油の内ニ入て打置
候ニ而
一 砂糖 一匁
一 緑青 同 一匁
一 玉子 白身 壱ツ
小前ニて二ツ
右三品を能く摺合せ油烟かし 其
多ク製造候ハ分量を酒かし入れ
出来右三品一両ニ出来会店ニ油を
かけ候而入置摺合出来之
右之法諸流中ニ有ル

一 砂糖 かし斗
一 玉子 三四三斗り
右三品合せ刷毛ニ而引之
右二法ハ安政四巳年十五月三十日所司代
成る
難法ニ而大ニ成長上ニ古ちく
掃除ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 みこ川 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 唐のち 能く[illegible]
一 煮たる荏の油
一 テルペンテイン油也
右の二味を和して白金を用ル時ニテルペンテインを加申候
但白金を用ル節ハ[illegible]
緑ハ 緑青
赤ハ 朱
黒ハ 油煤
黄ハ 雌黄（シホウ）
一 [illegible]

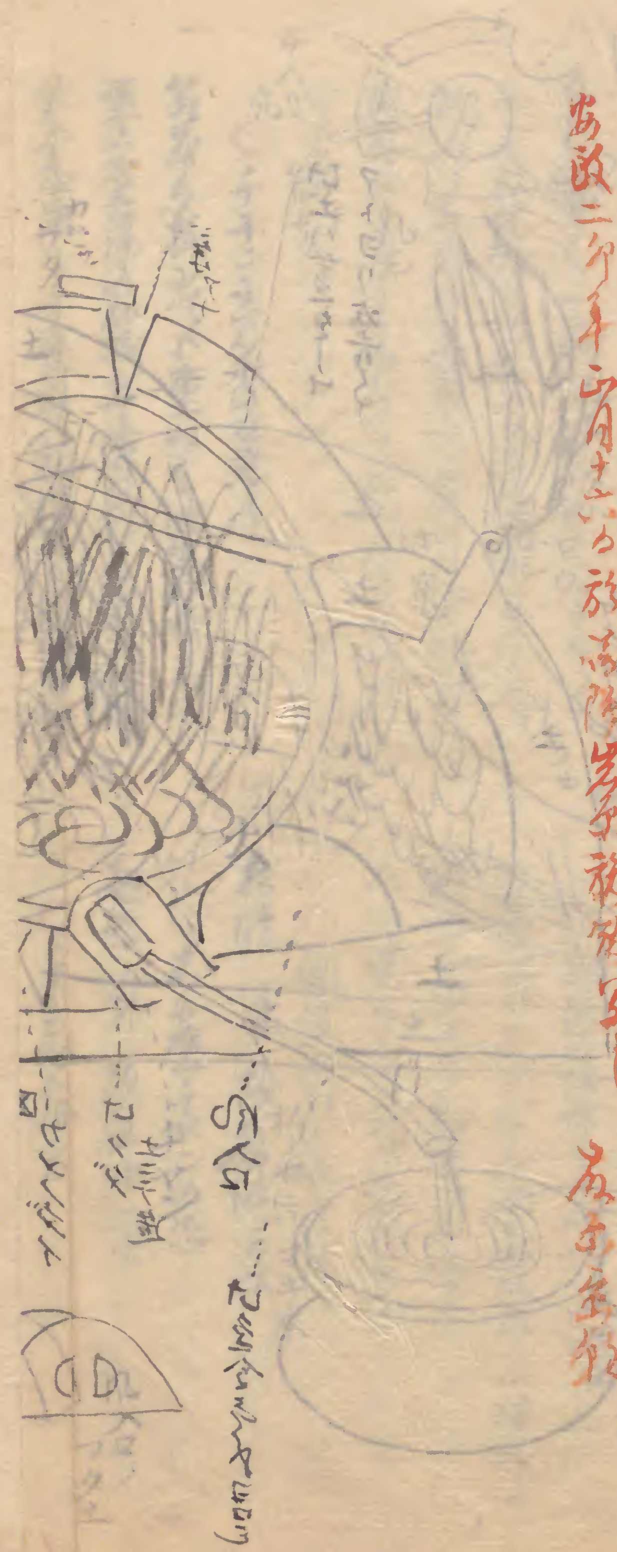
用ひ方[illegible]文用ひ[illegible]
[illegible]
人[illegible]
[illegible]
安政二[illegible]年九月[illegible]

一 [illegible]
遠江業 [illegible]
一 [illegible]
一 天[illegible]
[illegible]

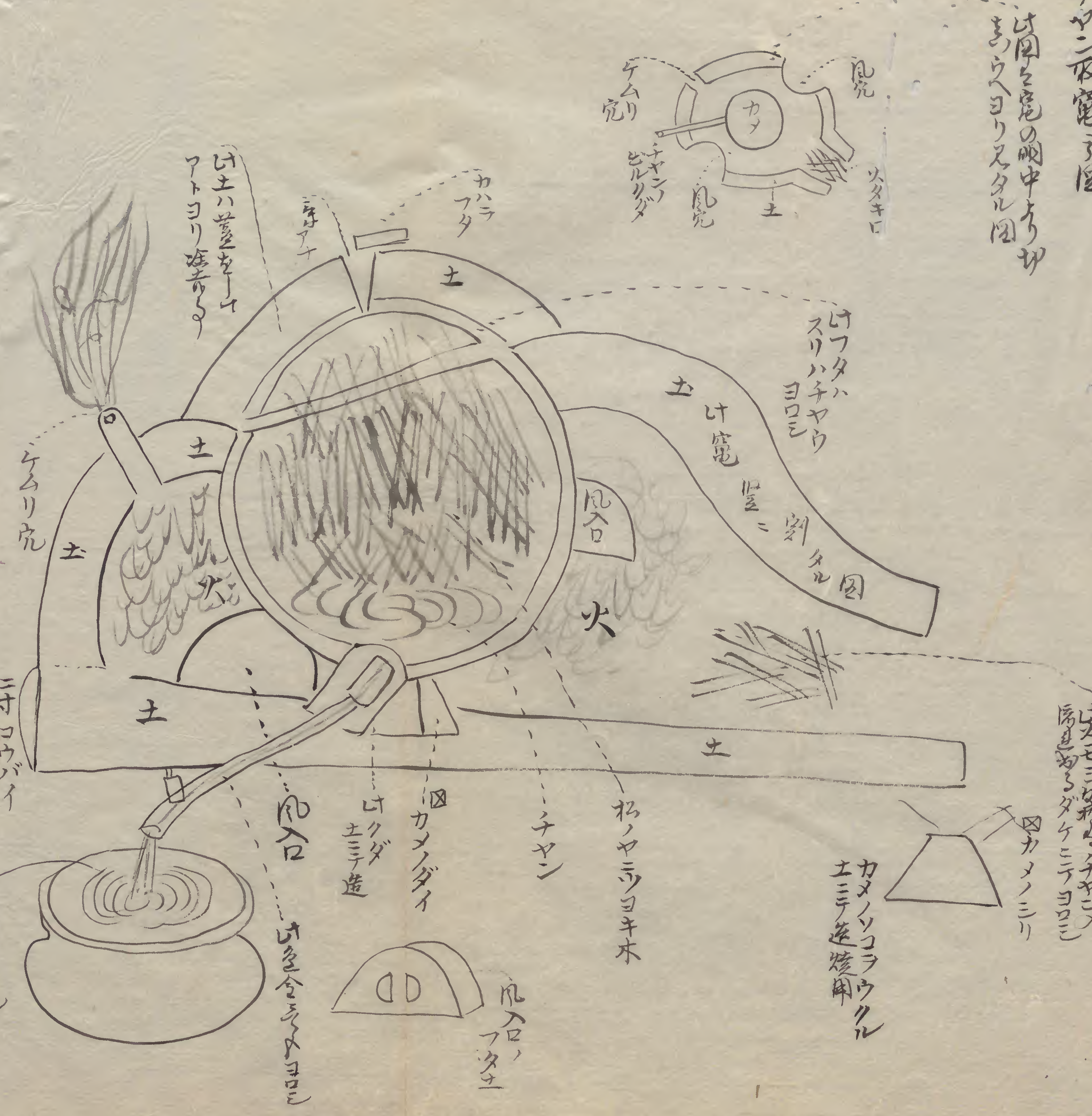
[illegible]ヤニの製法[illegible]
[illegible]
[illegible]

焼物師
乾也

右ノナヤニ[illegible]
[illegible]
安政二卯年正月十二日[illegible]
[illegible]



チヤン二夜竈ノ図

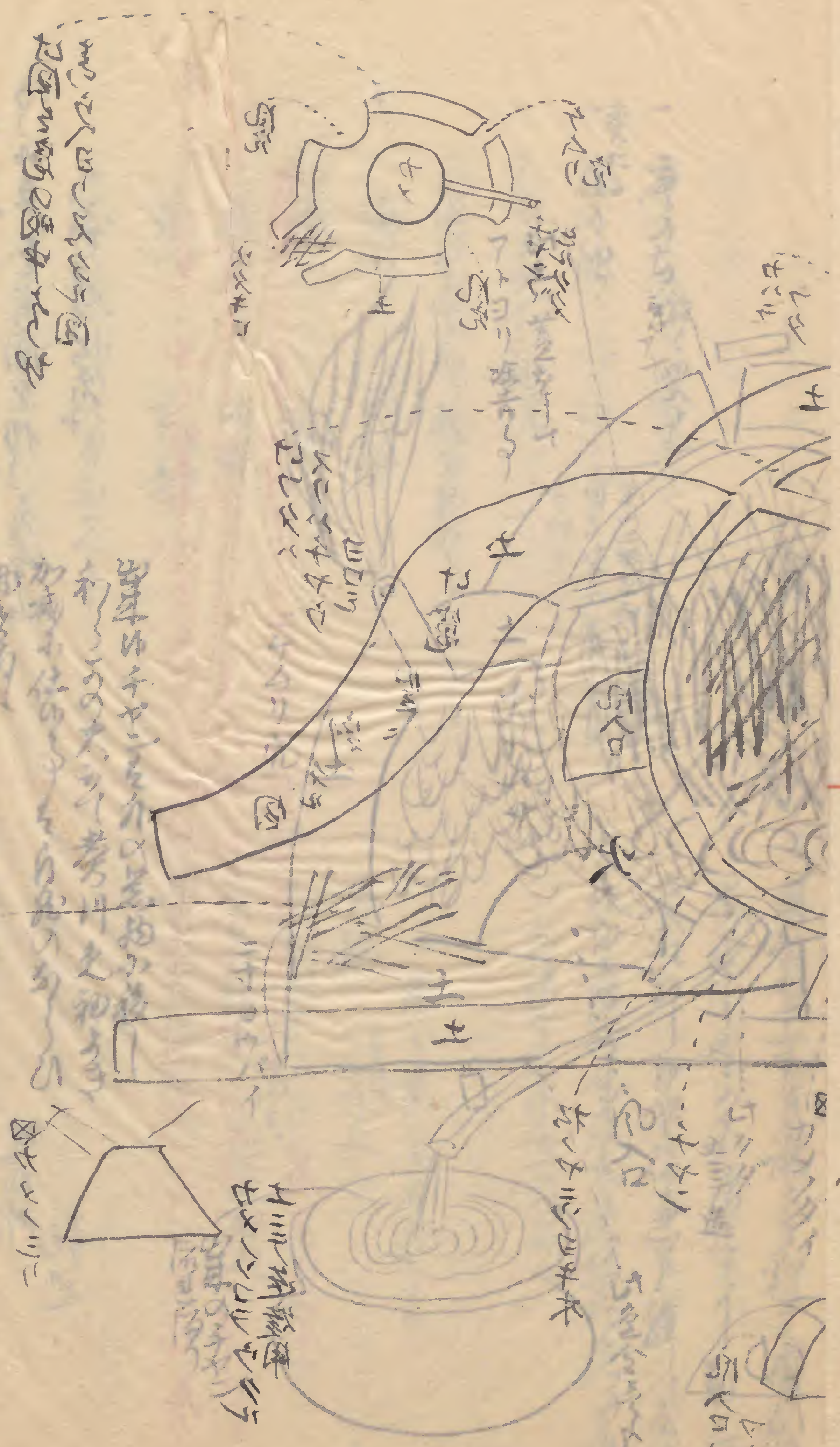


右チヤンニの製法を学ハすして書傳にて傳ハ
之橋山表ゟ来る傳受中ゟ
陶り来るを考図を作り候ケ申ゟ
此段庵ゟ知らる者也

當年ハチヤンニを外の焼物に類し
和らこの火がて参川之初より
加減に仕ゆへをも紀のあらしく
相成候
當方ハ勿論之ニに類ハ

焼物師
乾也

右ノチヤンニ夜竈ノ図を此年中迄[illegible]
[illegible]
安政二卯年四月十六日[illegible]
[illegible]



○チヤンを合羽に引法

一 先来節句しバ漆刷毛の大きなるを以て
先ツ合羽の裏より能々擦付干表をも
引付る也油稍乾く迄に表を
乾く表より引かりて後表へ引之
乾く表より一遍ツヽ引て其上半日立
ニテ乾風吹もこりのこりくら如本ニテ也
あり候ハヽ合羽二ツ折ニ引べし油ニ
胡麻油の方よりなるくバ乾かきなき荏の
油す

○チヤン出来の塗方

一 節草を入桶ニ入塗時ニ油加減加減をよく
塗上塗ニ漆の加減は塗物によりなすべし
下ノ合羽は塗し干塗物の抜候ことのなか良

○紙合羽塗にはチヤンの法

一 松脂 一斤 胡麻油 一合
右ニ品を鍋へ入銅の錫にて少シ入て水に入て
見候ハヽ刷法の匙のチヤンとこに焼を見
かたまりとして試に出し見用之

○桐油の法 世にこれをチヤンといふ

一 荏油一斤 右を銅鍋にて胡麻油或は子油抜す
密陀僧二分ずつ細末にして
右の二味よくよく煮合せるなり

○細錫入チヤンの法

一 松脂 一斤 胡麻油 三合

○木綿塗チヤンの法

一 松脂一斤 胡麻油 二合

○チヤン塗上秘方

而又日ニ干す事地を上塗シ[illegible]深マ迄ハ黒く
成なり上塗ス塗ル事に黄柏を[illegible]し色
出て深干して其上を塗なり若くは黒く
ニ蘇枋出し深メ其上を塗なり

○合羽に引油の法

一 荏油一升　唐土　拾匁
右相合して少の間煮し引あげし右に
鹿に漉して右を上油に入り引之
け油[illegible]　傘[illegible]類
引く[illegible]のだくらもしてよし

一 胡麻油　但し[illegible]壱升
[illegible]火に[illegible]をかけて[illegible]
先油を[illegible]水[illegible]
[illegible]
[illegible]く成なる時油を[illegible]
蜜陀僧[illegible]油の中へ入れ[illegible]
[illegible]
[illegible]一時[illegible]蜜陀
僧ニ汁つくなり

一 [illegible]を塗る[illegible]ビンボウ徳利のカケを細末にして引割麦の[illegible]
[illegible]合[illegible]つまたを[illegible]
[illegible]を交ぜて用ひ[illegible]よし

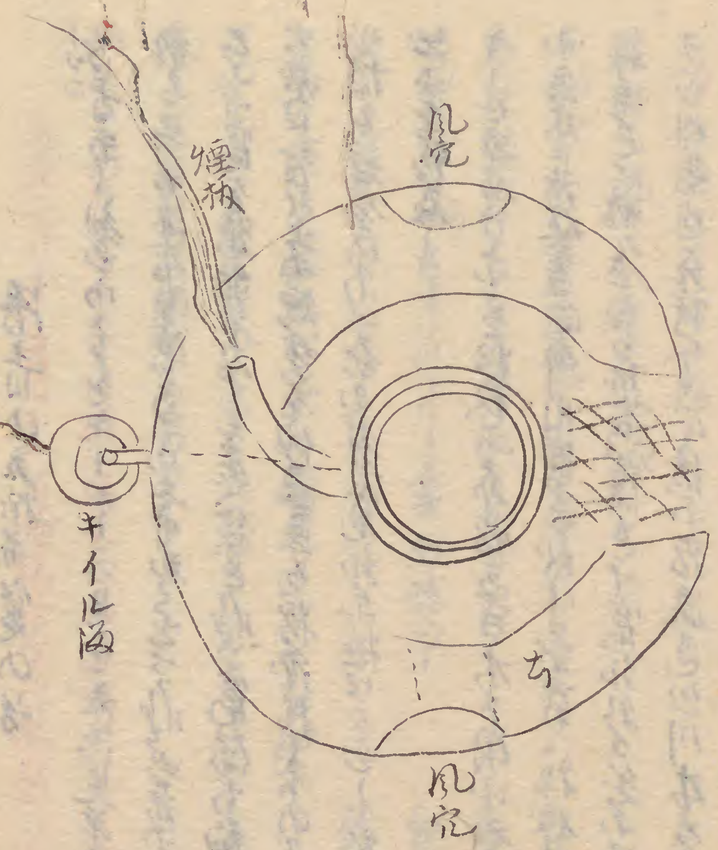
右チヤン製法[illegible]
安政二卯年四月[illegible]

瀝青の[illegible]竈の事

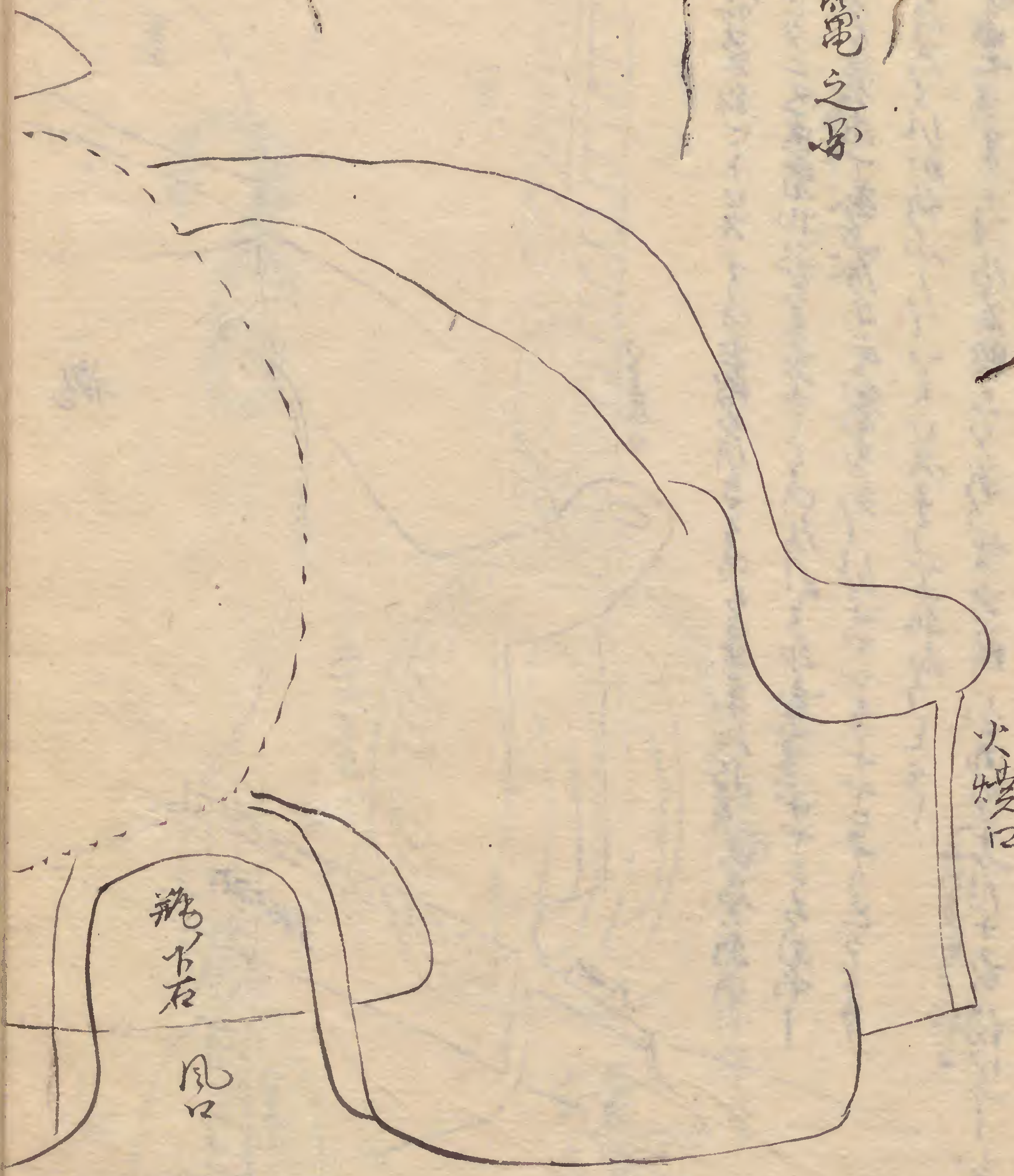
チヤン
瀝青ハ製[illegible]キールト云[illegible]手地[illegible]
[illegible]キール[illegible]
[illegible]竈を[illegible]竈[illegible]
火焚口[illegible]
[illegible]竈[illegible]焚口を出し焚口[illegible]キールの
出る[illegible]
キール[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]キール[illegible]
チヤトなるべし
[illegible]火を焚入キールを[illegible]
又[illegible]チヤンを[illegible]チヤン[illegible]チヤニを

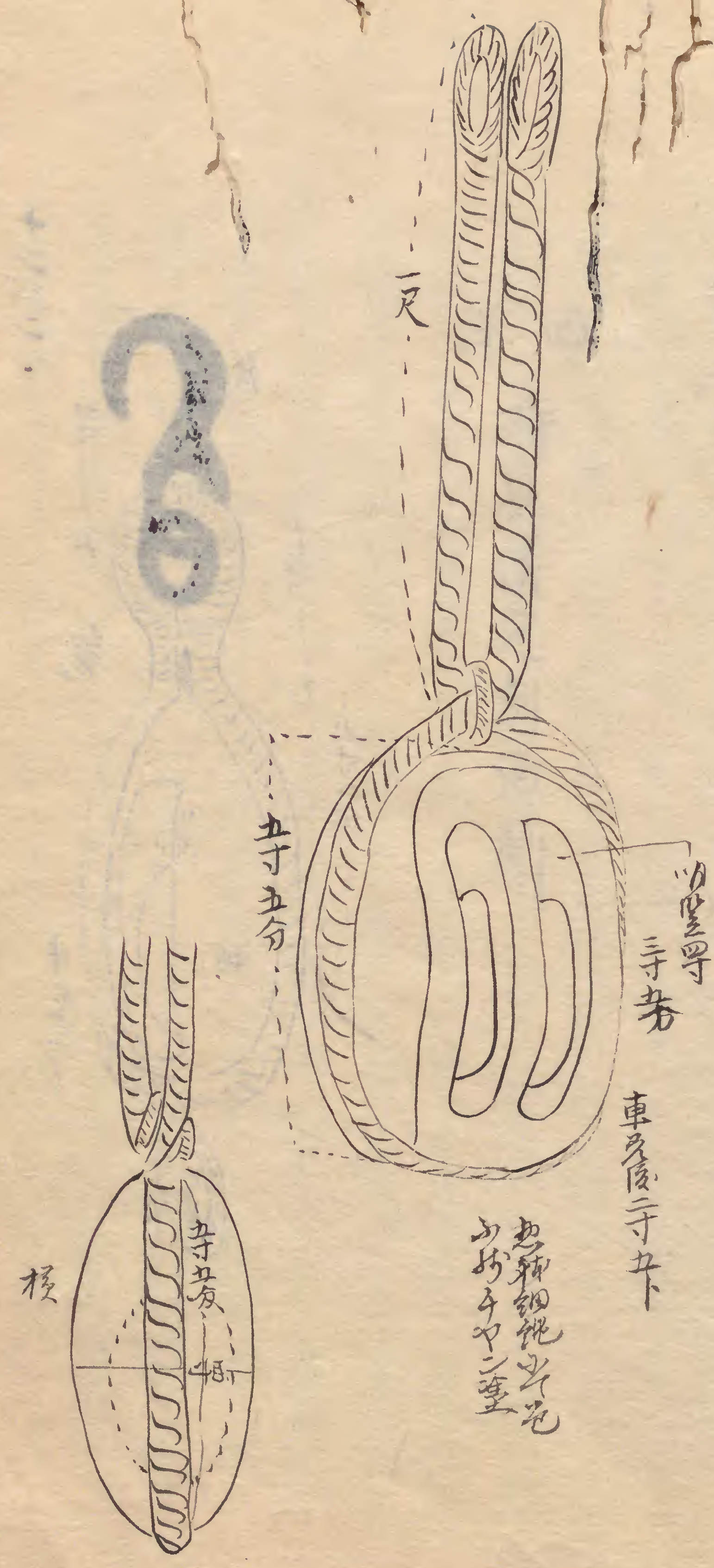
右桶底ニコウケルを焼て入置之ハ出来之節内ニテヤニ水ヲ分ル法

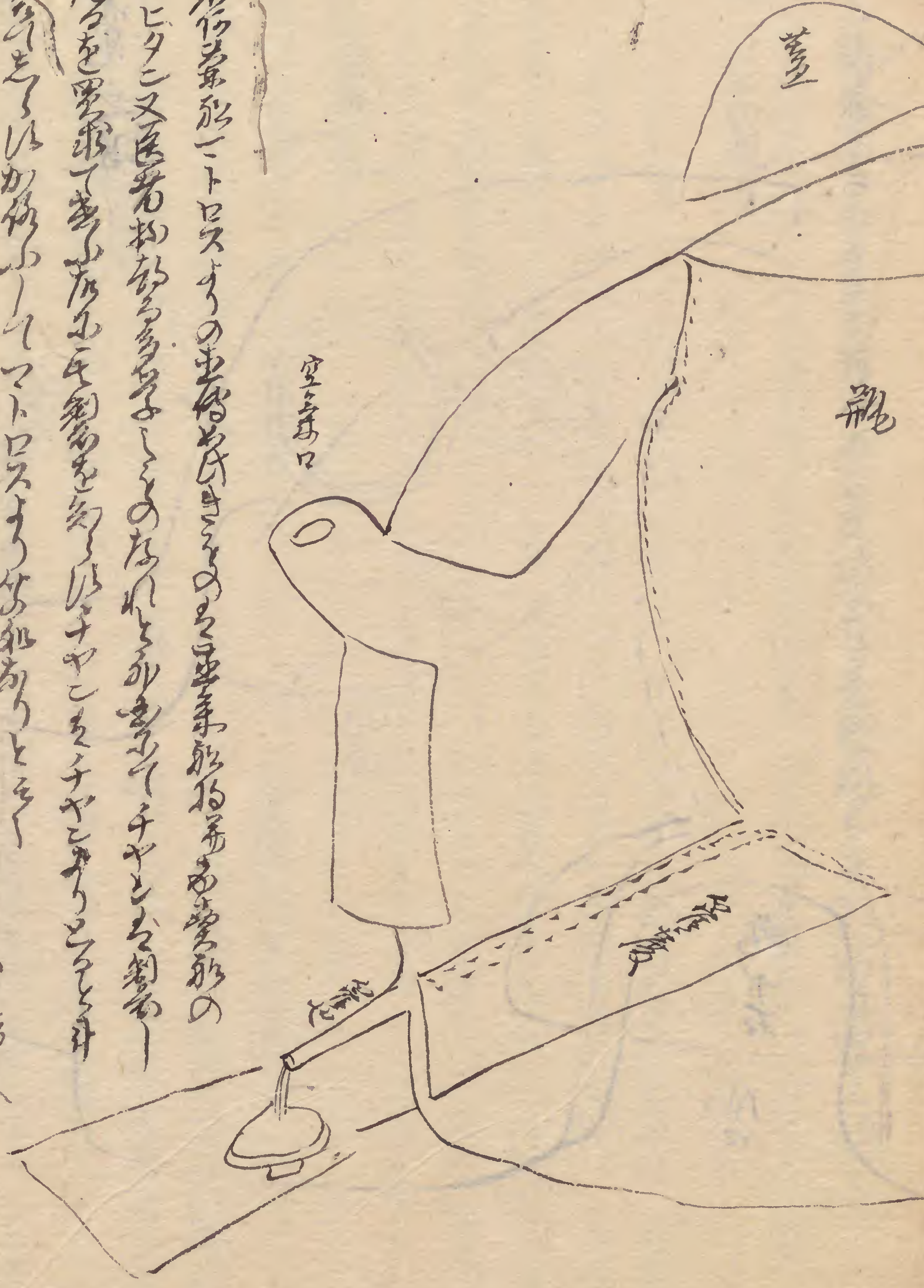
キイル竈図



瀝青竈之図

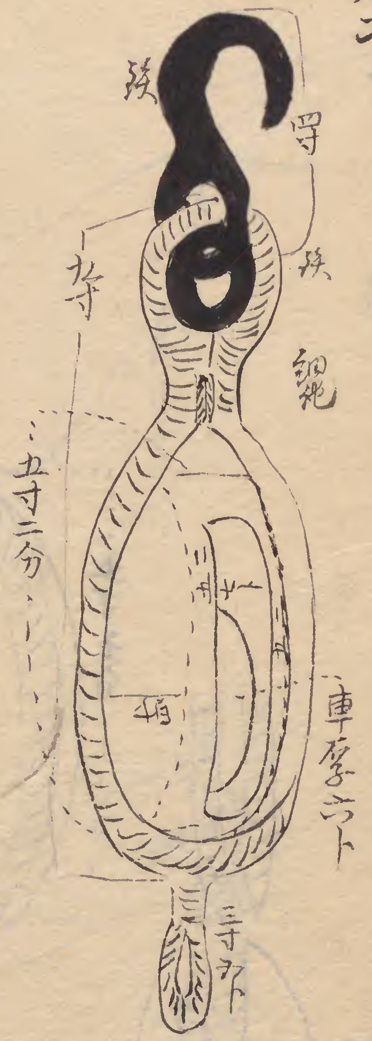






右紅毛船ニマトロスより出島之乙名ニ差上候船将并其船の
カヒタン又医者相勤候者共へ尋候処いつれも承知ニてチヤンと申者ニ
候を異形ニ而是ニ而産出地ニ而出候由ニ而チヤンとチヤンと申所ニ而有之候と申
候ニ付右之通り候ニてマトロスより買取候ものと云
右者去巳年十月朔日より出島ニ而 石川多助所持之
写置也

ナンバン



西洋時辰儀定刻活測

自序

大ナル哉西洋時辰儀ノ用徒ニ時ヲ計ルノミニアラス天度ヲ計ルノ器ナリ先長針ヲ以テ日輪ニ表シ盤面ノ分ヲ以テ天ノ度数ニアツ故ニ日輪ノ行ヿ一度ニシテ長針ノ廻リ四分トス日輪ノ行ヿ十有五度ニシテ長針一回ス日輪ノ行ヿ三百六十度ニシテ長針二十有四回ス是正午ヨリ正午マテニテ一晝夜ナリ依テ春秋ノ二分ハ日輪赤道ノ正中ヲ行故日出ルヨリ日入マテノ行度百八十度ニシテ日ノ出入トモ長針ニテ六回ナリ日出ル前地下十有五度ニアルヲ明六トシ日入テヨリ後地下十有五度ニアルヲ暮六トス故ニ春秋二分ハ長針ニテ五回ヲ明六トシ七回ヲ暮六ト定ム是東都ノ定刻ヲモツテ云夫ヨリ節々ニ依テ日輪赤道ヲ去ヿ幾度幾十幾分ト云ヿヲ天経或問ニ依テ是ヲ定メ日輪赤道ヨリ一度南北エ度ヲ移ス時ハ日ノ出ルヨリ日ノ入マテノ永短長針ニテ

幾分幾厘幾毛タカフト云ヿヲ算シ又冬夏ニ依テ晨昏ノ永短
ヲ算シテ是ニ加エ以テ年中ノ定刻成ル書成テ後垂揺球儀西洋
置時計ヲ以テ数歳是ヲ試ムルニ幸ニシテ違フヿナシ往年或人此
書ヲ梓ニ上ンヿヲ請者両三輩予辭シテ曰是予カ發明ニシテ或ハ
理ニ違ンヿヲ恐ル且不学ニシテ文ノ拙キヲ恥ツ唯自ラ用ヲ辨ス
ル而已世ニ出スヿヲ欲セスト此ニ於テ書ヲ懐ニスルヿ久シ今茲歳又
頻ニ梓ニ上ンヿヲ進ムル者アリ予退テ是ヲ慮ルニ予カ本業ニア
ラサレハ世ノ嘲ヲ蒙ルトモ亦出務ノ恥ニアラスト依テ許諾ス幸
ニ同好ノ士アラハ是ヲ訂正センヿヲ希而已

天保九戊戌初秋

雲藩　小川友忠識

西洋時辰儀大意並長針ヲ以テ時ヲ計叓

一 西洋ノ地ハ紅毛イキリスハレイス皆西洋ノ地ナリ 晝夜二十四時ニシテ定刻ニ等アリ其一ハ
日ノ永短ニヨラス年中晝夜トモ長針一回(ヒトメグリ)短針一字メクルヲ一時ト定ム
是ヲ平等時ト云又一ハ 本邦ノコトク日ノ永短ニヨリテ時ヲ伸縮(ノヘチヾミ)ス
是即チ不等時ト云此不等時ヲ計ルニハタトヘハ日ノ永キ節ニハ平等時
ノ六時此書ニ云六回ナリ何分或ハ七時即チ七回ナリ何分ニテ暮六ツト云フヿヲ節々
ニヨリテ長針ニテ定ム故ニ西洋時辰儀(トケイ)(ジシンギ)ノ分ハ長針ノ分ニシテ短針
ノ分ニアラス依テ長針ノ頭ニ分ヲ置テ短針ハ分ニトカス是長
針ノ用ニ置カ故也又一ヨリ十二マテノ数字ハ分ノ下ニアリ是短針ノ用ニ
置カ故也若シ分ヲ短針ノ用ニ置ナラハ字ノ下ニアラシ分ヲ字ノ上ニ置ヲ
以テ長針ノ分タルヿ明カナリ然ルヲ 本邦ニテ短針ヲ分ニ引キアテ
テ時ヲ計ルハ大ニ誤レリ依テ此書ニアラハス処ノ定刻ハ長針ヲ以テ
時ヲ計ルノ法ニシテ短針ハ唯長針回数(メグリ)ノカストリトスル而已世短針

ヲ以テ時ヲ計ルノ要トシ長針ノ用ヲ知ルヿ稀ナリ短針ハ晝夜ニ二
返マワリニメワツカノ處ニテ晝夜ノ時ヲ計ル故少シノ違ハ知レカヌル
モノ也ソノ上短針ヨリ段々車ヲ傳ヘ回ス故少シハ車ノ空際アリ
テノ二三厘程ツヽノ違ハマヽ有ルモノ也短針ニテハ二三厘タカウテモ時
ヲ見ルニハ餘程ノ違ヒニナル也又長短針ハ車ノシンヨリツクモノ故空際
少クタトエ二三厘ノ空際アリテモ早クメル故時ヲ見ルノサハリニナ
ラス且ツ晝夜ニ二十四廻ニシテタトエハ四寸ヿハリノ時計ニテモ九尺六
寸計ノ處ニテ晝夜ノ時ヲ計ル故厘毛ノ過不及知ルヽ也其上長針ニテ
見ル節ニハ一二間ヘタヽル外ヨリ見テモ短針ニテ掌中ニテ見ルヨリモ
委シ是以長針ヲ専要トス尤長針ノ幾遍回ルト云フヿハ短針ニテ知ル
ル也故ニ長針短針ハ車ノ両輪ノ如シ

長針ノ回数ヲ知ル事

一 長針ノ回数ヲ見ルヿヲ知ラスンハ時ヲ計リ知ルヿアタハス此長針ノ回数
ハ先ツ晝夜共正九ツニ長針短針十二ノ字ノ正中ニ重ナル是ヲ始トメ夫ヨリ長
針メクリテ又元ノ十二ノ字ノ正中エ行ケハ一回ニシテ短針ハ一ノ字エ行ク但シ
一回ノアイタ六十分ナリ夫ヨリ長針メクリテ又十二ノ正中エユケハ二回ニメ短針ハ二ノ字
エ行ク又長針三回スレハ短針三ノ字エユク故ニ短針ハ長針回数ノカス
[illegible]心得ウヘシ但シ前ニモ云フ如ク短針ハ少シツヽノ違ハマヽアルモノ
故長針一回シテモ短針一ノ字ヨリ一二厘モ前ニ有ルヿアリ然レ𪜈長針
十二ノ字ノ正中ヘ行ケハ一回也又長針五十五六分モ回リテイマタ一回ニ四五
分足ラスシテモ短針ハ一ノ字ノ正中ヘ行クヿアリ然レ𪜈長針十二ノ字
ノ正中エユカサレハ一回ニナラサル也故ニ短針ハ大概ヲ計ルモノト心得必シ
モ少シノ遅速ニ拘ルヿ勿レ

時ノ見様ノ事

一 此書ノ定刻ニテ時ノ見様ハ一行毎ニ十三局アリ上ノ局ヲ明六トシ夫ヨリ
朝六半ト順々ニ下エオリ下ノ局ヲ暮六トシ夫ヨリ夜六半ト又順々ニ

上ユアカリ又上ノ明六ノ外ユカヱリテ見ルヘシ一局ヿトニ右ノ方ニ回数ヲ記スハ
一 長針ノ正子午ヨリ幾遍回ルトイフヿ也但シ朱ハ晝墨ハ夜ト知ルヘシ又左ノ
方ニ分数ヲ記スハ長針ノ幾分回レハ何時トイフヿ也（但コノ分ハ晝夜共用フルユヱ墨斗ニテ記ス）
外トユハ正九月ノ中ニテ晝ノ八ツヲ見ルナラハ正九中トアル行ノ八ツニアタル
局ヲ見レハ右ノ方ニ朱ニテ二回ト記シ左ノ方ニ九分ト記ス故ニ二回ト九分ニテ
八ツトイフヿ知ルヽ也又暮六ハ六ツニアタル局ニ右ノ方ニ墨ニテ六回トアリ
左ノ方ニ二十七分トアル故六回ト二十七分ニテ暮六ツトイフヿ知ルヽ也餘皆
同シ推テ知ルヘシ

一 正午ヲ正ス事

一 時計ハ正午カケニアラサレハ委シカラス先ツ日時計ヲ以テ正午ヲタヽシ
正午ニ長針短針十二ノ字ノ正中ニ重ス夫ヨリカケ始メ時計ノ長短ヲヨク
調ヘ日々正午ニ長針短針十二ノ字ノ正中ニ重ナルヤウニスヘシ又何程刻
割ヲ委シクシテモ正午ノ定メ違フテハ詮ナシ日時計テ正午ヲ見ルニハ
南北ト地平ト表針ト此三ツヲ正シクスルヿ肝要也（磁針ノ向外古ヨリ諸説アリ或ハ午ト乄或ハ午ノ三分丙ノ七分トシ又午丁ノアイタヲ指ス圧イフ諸説紛々トシ同シカラス然レ圧是ハ天地ニテ云細密ノ論ニシテ先ツ子午ヲ指スト心得テ可ナリ委シクセントナラハ磁針ニヨラス南北ヲ正スノ法アリシカレトモ容易ノヿニアラサルユヱコヽニシルサス）

一 明暮六定ノ事

明暮ハ六ツ甚タ定メカタキモノ也先ツ六ツヲ定ルニハ大星パラヽト見エ又手ノ
筋ヲ見テ細キ筋ハ見エス大筋ノ三スチ計リ箇成ニ見ユルトキヲ六ツト
定ムシカレ圧所々ノ習人々ノ定メヤウニテ少シツヽノ違ハアルモノ也又雨天
ニハ暮ルヽヿ早ク明ルヿハ遅ク思ハルヽモノ也又月夜ニハ六ツ別メ定メカタ
シ此等ノ細微ナルヿモヨク斟酌スヘシ且ツ晴天ノ時蒙気上天ニ充満スル
時ハ地下ノ日映シテ暮カヌルヿアリ明ケ又早クアカルクナルヿ有リ是ニモ
永キヿアリ短キヿアリ蒙気高キホト晨昏長シ長キトキハ二三刻モ
一 違フヿアリ（但二三刻トハ晝夜百刻ノ数ヲ以テ云フ）尤カヤウノヿハ平日無キコトナレトモ心得
ノ為記ス

時ヲ暗知スル事并半時ヲ十分ニ割リ幾分過トイフヲ知ル事

一此書ノ定刻ニテ時ヲ見覚テモ畢竟書ヲ離レテ時ヲ暗知スルヿヲ知ラ
スニハ用ニ立チカタシ此ソラニ覚ルヿ難キヿニアラスマツ昼夜永短ナク
等分ノ時ヲ覚ヘ是ヲ本トスヘシ等分ノ時ハ

九	九半	八	八半	七	七半	六	六半	五	五半	四	四半
十二回	一回	二回	三回	四回	五回	六回	七回	八回	九回	十回	十一回

昼夜共同シ　是平等時也

此平等時ニ節々ニテ分ヲ乗除スレハ知ル丶也タトヘハ正月ノ節ナラハ昼ノ半
時ハ一回ト二分夜ノ半時ハ一回ニ二分足ラサル故昼ハ半時半時ニ二分ツヽ増シ
夜ハ二分ツヽ除テ見ルヘシ故ニ昼九ツ半ハ平等時ノ一回ニ二分乗一回ト二分ニ
テ九ツ半八ツハ平等時ノ二回ニ二二ノ四分乗八ツ半ハ平等時ノ三回ニ二三ノ
六分乗七ツハ平等時ノ四回ニ二四ノ八分乗七ツ半ハ平等時ノ五回ニ二五
ノ十分乗暮六ツハ平等時ノ六回ニ二六ノ十二分乗六回ト十二分ニテ暮
六ツ也又夜六ツ半ヨリ二分ヲ一乗ツヽ減シテ見ルヘシ故ニ夜六ツ半ハ平等

時ノ七回ニ二五ノ十分乗テ七回ト十分ニテ六ツ半也五ツハ平等時ノ八回ニ
二四ノ八分乗五ツ半ハ平等時ノ九回ニ二三ノ六分乗四ツハ平等時ノ十回ニ
二二ノ四分乗四ツ半ハ平等時ノ十一回ニ二分乗九ツハ十二回也夜九ツ半ヨリハ
平等時ヨリ二分ツヽ除テ見ルヘシ故ニ夜九ツ半ハ平等時ノ一回ヨリ二分除キ
十一回ト五十八分ニテ九ツ半也八ツハ平等時ノ二回ヨリ二二ノ四分除キ八ツ半
ハ平等時ノ三回ヨリ二三ノ六分除七ツハ平等時ノ四回ヨリ二四ノ八分除七ツ
半ハ平等時ノ五回ヨリ二五ノ十分除明六ツハ平等時ノ六回ヨリ二六ノ十二
分除テ五回ト四十八分ニテ明六ツ也朝六ツ半ヨリ二分ヲ一乗ツヽ減テコ
ノ数ヲ以テ除ヘシ故ニ朝六ツ半ハ平等時ノ七回ヨリ二五ノ十分除六
回ト五十分ニテ六ツ半也五ツハ平等時ノ八回ヨリ二四ノ八分除五ツ半ハ平
等時ノ九回ヨリ二三ノ六分除四ツハ平等時ノ十回ヨリ二二ノ四分除四ツ半ハ平
等時ノ十一回ヨリ二分除九ツハ十二回也又日ノ至テ永キ時ハ分ヲ乗除ス
ルニ六十分ヲコスヿ有リカヤウノ時ハ分ヲ乗テ六十分ニナレハ平等時ニ

一面増シ又分ヲ除テ六十分ニナレハ平等時ヨリ一面減（ヘス）ヘシ委クハ紙上ニ
又ミシカタシ工夫有ルヘシ又半時ヲ十分ニ割テ見ルニハタトヘハ正月ノ
節ナラハ晝半時六十二分夜半時五十八分ナルユヘ晝半時ノ一分ハ六分二
厘夜半時ノ一分ハ五分八厘也此分ヲ其時々ノ分ヨリ乗テ見レハ何時
幾分過ト云ヿ知ルヽ也假令正月ノ節晝七ツ半ハ五面上十分也故ニ
コノ十分ヨリ六分二厘乗レハ六十六分二厘ニテ七ツ半一分過也又六分二厘乗
二十二分四厘ニテ七ツ半二分過也餘ハ推テ知ルヘシ

節々ノ間ニ数行ノ刻割ヲ置ク辨

此書ニハ節々ノ間ニ数行ノ刻割ヲ置クハ時ヲ委シク見ルヘキカタ
メ也又二八月中ノ前後ニハ一節ノ間ニ刻割ヲ六七行モ置キ又十一月
中五月中前後ニハ一節ノ間ニ刻割ヲ置クヿ無シ如何トナレハ十一月
中五月中ノ前後ハ一節ノ間ニ日輪南北エ度ヲ移スヿ一度ニ満タ
ス僅（ワツカ）ニ四十五分也故ニ長針ニテ一節ノ間ニ六分計違ヒ又二八月中ノ
前後ニハ日輪南北エ度ヲ移スヿ一節ノ間ニ六度十九分違フ故ニ長針
ニテ一節ノ間ニ四十分計違フ也然ルヲ世俗節々計ニ刻割ヲ置クハ誠ニ
事理ニ暗フメ用ニ立カタシ且ツ節々計リニ刻割ヲ置テハ東都ヨリ南
北エヘタヽル国ニテハ尤用ニ立タス此ワケハ下ノ国々日ノ永短違ヒ有ルト云ヿ
ノ條ニ記ス

冬夏晨昏違ヒ有ル事

一十一月中ヨリ二月中マテ日輪北エ度ヲ移スヿ二十三度三十一分又二月中
ヨリ五月中マテノモ日輪北エ度ヲ移スヿ二十三度三十一分ニメ同シヿナル
故十一月中ヨリ二月中マテト二月中ヨリ五月中マテト日ノ伸（ノビ）同シ道理
也然ルヲ此書ニ十一月中ヨリ二月中マテハ日ノ伸少クメ刻割ヲ置クヿ
二十四行又二月中ヨリ五月中マテハ日ノ伸多クメ刻割ヲ置クヿ二十
八行也如何トナレハ冬ハ晨昏短ク夏ハ晨昏永シ（日ノ入ヨリ暮六ツマテヲ昏ト云ヒ明六ヨリ日ノ出マテヲ晨トイフ）此晨昏日々ノ伸十一月中ヨリ二月中マテハ伸少ク二月中

ヨリ五月中マテハ伸多キカ故也此理ニヨリテ推トキハ五月中前後ハ一節ノ間ニ半時長針ニテ五厘タカヒ十一月中前後ハ一節ノ間ニ半時長針ニテ三厘ニモ違フ然レトモ長針ニテワツカノ厘毛ヲ論メモ時ヲ見ル益ナクシテ却テ時ヲ暗知スルノ害ニナル故十一月中前後モ五厘違ヒトス且ツソノ余ノ節々ニモ厘毛ノ違ヒナキコトアタハサレトモ時ヲ暗知スルノ害ヲ厭ヒ五厘ノ外厘毛ヲ記サス

日本ノ内ニテモ国々日ノ永短違有事并此書ノ前後ニ附餘ノ刻割ヲ

置ノ辨

日ノ永短東西ハ幾千里隔タルトモ違フコトナシ南北エ隔タルトキハ日本ノ内ニテモ違ヒアリ其故ハ日本ヨリ五十四度北エ行クトキハソノ地北極星ヲ頂ニ見テ二月中ヨリ八月中マテハ昼計ニテ夜ナシ夫ヨリ日々ニ暗ナリ九月節ヨリ二月節マテハ夜計也夫ヨリ日々ニ明クナリ二月中ヨリ昼計ニナル也又日本ヨリ三十六度南エ行クトキハ赤道ノ直下ニシテ南北両極星ヲ地ト平等ニ見テ年中日ノ永短違ヒ有ルコト無シ是ヨリ一度ニテモ南北エヨレハ日ノ永短違ヒアリ（此ニテ三十六里ヲ一度トス）故ニ日本ノ地ニテモ北エヨル程日ノ永短違ヒ多ク南エヨルホト日ノ永短違ヒ少シ已ニ雲陽ニテ日ヲ試ムルニ東都トハ少シ日ノ永短違ヒアリテ東都ノ刻割ハ用ニ立ス然ルヲ節々計ニ刻割ヲ置テハ東都ヨリ南北エヘタヽル国ニテハ用ニ立ツコトナシ所謂膠柱調瑟ノ類ニテ全ク死物也因テ此書ニアラハス外ノ定刻ハ半時長針ニテ五厘違ヒニテ年中ノ刻割ヲ置故何国ニテモ節々ノ置所ヲ其国々ニテヨクアタル外エ置替テ見ルヘシ尤然ルトキハ東都ヨリ日ノ短キ国ニテハ冬ヽ日置替テ見ルヘキノ刻割ナク又東都ヨリ日ノ永キ国ニテハ夏日置替テ見ルヘキ刻割ナシ因テ此書ノ前後エ別ニ冬ヽ至ヨリモ一等日ノ短キ刻割ヲ置キ又夏至ヨリモ一等日ノ永キ刻割ヲ置テ諸国ノ用ニ備フル也依テ此書ヲ活測ト名ク

時辰儀雑論

一西洋ノ地ハ一晝夜ヲ九十六刻ト定ム依テ長針十五分廻ルヲ一刻トシ一回ヲ四刻トス二十四回ニテ九十六刻トナル是一晝夜ナリ依テ時辰儀ノ打方先晝夜共九ニ数十二打夫ヨリ一回スレハ一ツ二回スレハ二ツト順々ニ長針ノ回数ヲ打ナリ又分打ハ十五分ツヽニテ打方カワル是一刻々々ヲ知ラスルタメナリ　本邦ニテモ此分打ニテ時計ヲ見スシテモ幾回ノ幾分ト云コト大概知ルヽナリ故ニ夜中等時ヲ知ルノ辨トス

一時辰儀ニ早針ヲ附ルアリ先長針一分ニシテ早針一回ス是ノ早針ハ雷石炮等ノ遠近ヲ計ルノ用トス気海觀瀾ニ曰遥ニ見放熕既見其火而聞礮鳴聞見遅速之有間可知音之速力不及光之速音之速力概毎一秒時爲千尺餘（一秒時ハ早針一分ノ間 尺ハ本邦ノ金尺ナリ）　然風之順逆氣之厚薄亦差爲斯遅速強弱是ニ依テ算スレハ先烽火ヲ見テ音ノ聞ユルマテノ間ニ早針一分メクレハ其隔ツコト大概三町計トシ早針十二分メクレハ一里計トス然レトモ亦イマタ是ヲ試ミス又脈針ト號シ医家診脈ノ一助トスト云々

一三十一日ヲサス針ヲ附ルアリ　本邦ニテハ格別用ナキコナレトモ西洋ノ暦法ハ太陽暦ヲ用ユルユヘ一ケ月ヲ三十一日ト定ムル月多クシテ朔日ニ満月ノコアリ又十五日ニ半月ノコナドアリ且船中ニ年月ヲ経ルコ多シ依テ日ヲ記スルニ労ス故ニ日ヲ指ヲ以テ一助トスルナラシカ又七曜ヲサスアリ是其日ニアタル星ヲサスナリ　本邦ノ暦ニ正月ノ下ニ土曜値朔日トアリ二月以下ハ略シテ日ゟ火ゟナト記セリ是ニナ朔日ノ本曜ナリタトヘハ朔日日曜ナレハ夫ヨリ月火水木金土ト順ニクリ八日ハ又日曜ニカヘルナリ西洋ニテ此七曜ヲ配スルコノニ本邦ノ暦ニ同クシテ且其當ル日モ亦符合ストニ云（觀象図説ニ出ツ）又萬年時計ト號スルモノアリ是ヲ懐ニスルトキハ人ノ動揺ニ依テゼンマイ自ラシマル是旅行等ニ辨トス其外年々舶来之奇品多シ枚挙スルニ遑マアラス

天保四癸巳孟夏

定刻附餘

卯	六回 五十四分	六回 五十一分	六回 四十八分	六回 四十五分	六回 四十二分	六回 三十九分	六回 三十六分
寅卯半	七回 五回 四十五分	七回 五回 四十二分半	七回 五回 四十分	七回 五回 三十七分半	七回 五回 三十五分	七回 五回 三十二分半	七回 五回 三十分
辰寅	八回 四回 三十六分	八回 四回 三十四分	八回 四回 三十二分	八回 四回 三十分	八回 四回 二十八分	八回 四回 二十六分	八回 四回 二十四分
丑辰半	九回 三回 二十七分	九回 三回 二十五分半	九回 三回 二十四分	九回 三回 二十二分半	九回 三回 二十一分	九回 三回 十九分半	九回 三回 十八分
巳丑	十回 二回 十八分	十回 二回 十七分	十回 二回 十六分	十回 二回 十五分	十回 二回 十四分	十回 二回 十三分	十回 二回 十二分
子巳半	十一回 一回 九分	十一回 一回 八分半	十一回 一回 八分	十一回 一回 七分半	十一回 一回 七分	十一回 一回 六分半	十一回 一回 六分
午子	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
亥午半	十二回 十回 五十一分	十二回 十回 五十一分半	十二回 十回 五十二分	十二回 十回 五十二分半	十二回 十回 五十三分	十二回 十回 五十三分半	十二回 十回 五十四分
未亥	一回 九回 四十二分	一回 九回 四十三分	一回 九回 四十四分	一回 九回 四十五分	一回 九回 四十六分	一回 九回 四十七分	一回 九回 四十八分
戌未半	二回 八回 三十三分	二回 八回 三十四分半	二回 八回 三十六分	二回 八回 三十七分半	二回 八回 三十九分	二回 八回 四十分半	二回 八回 四十二分
申戌	三回 七回 二十四分	三回 七回 二十六分	三回 七回 二十八分	三回 七回 三十分	三回 七回 三十二分	三回 七回 三十四分	三回 七回 三十六分
酉申半	四回 六回 十五分	四回 六回 十七分半	四回 六回 二十分	四回 六回 二十二分半	四回 六回 二十五分	四回 六回 二十七分半	四回 六回 三十分
酉	五回 六分	五回 九分	五回 十二分	五回 十五分	五回 十八分	五回 二十一分	五回 二十四分

卯	六回 三十三分	六回 三十分	六回 二十七分	六回 二十四分	六回 二十一分	六回 十八分	六回 十五分	六回 十二分
寅卯半	七回 五回 二十七分半	七回 五回 二十五分	七回 五回 二十二分半	七回 五回 二十分	七回 五回 十七分半	七回 五回 十五分	七回 五回 十二分半	七回 五回 十分
辰寅	八回 四回 二十二分	八回 四回 二十分	八回 四回 十八分	八回 四回 十六分	八回 四回 十四分	八回 四回 十二分	八回 四回 十分	八回 四回 八分
丑辰半	九回 三回 十六分半	九回 三回 十五分	九回 三回 十三分半	九回 三回 十二分	九回 三回 十分半	九回 三回 九分	九回 三回 七分半	九回 三回 六分
巳丑	十回 二回 十一分	十回 二回 十分	十回 二回 九分	十回 二回 八分	十回 二回 七分	十回 二回 六分	十回 二回 五分	十回 二回 四分
子巳半	十一回 一回 五分半	十一回 一回 五分	十一回 一回 四分半	十一回 一回 四分	十一回 一回 三分半	十一回 一回 三分	十一回 一回 二分半	十一回 一回 二分
午子	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
亥午半	十二回 十回 五十四分半	十二回 十回 五十五分	十二回 十回 五十五分半	十二回 十回 五十六分	十二回 十回 五十六分半	十二回 十回 五十七分	十二回 十回 五十七分半	十二回 十回 五十八分
未亥	一回 九回 四十九分	一回 九回 五十分	一回 九回 五十一分	一回 九回 五十二分	一回 九回 五十三分	一回 九回 五十四分	一回 九回 五十五分	一回 九回 五十六分
戌未半	二回 八回 四十三分半	二回 八回 四十五分	二回 八回 四十六分半	二回 八回 四十八分	二回 八回 四十九分半	二回 八回 五十一分	二回 八回 五十二分半	二回 八回 五十四分
申戌	三回 七回 三十八分	三回 七回 四十分	三回 七回 四十二分	三回 七回 四十四分	三回 七回 四十六分	三回 七回 四十八分	三回 七回 五十分	三回 七回 五十二分
酉申半	四回 六回 三十二分半	四回 六回 三十五分	四回 六回 三十七分半	四回 六回 四十分	四回 六回 四十二分半	四回 六回 四十五分	四回 六回 四十七分半	四回 六回 五十分
酉	五回 二十七分	五回 三十分	五回 三十三分	五回 三十六分	五回 三十九分	五回 四十二分	五回 四十五分	五回 四十八分

右十五行東都ヨリ日ノ短キ国ノ用ニ備フ東都ニテハ用無シ

国立公文書館 National Archives of Japan

東都定刻

	十一中	十二 十一 節		十二 十 中				正 十 節					正 九 中			
卯	六回 九分	六回 六分	六回 三分	六回	五回 五十七分	五回 五十五分	五回 四十八分	五回 四十八分	五回 四十五分	五回 四十二分	五回 三十九分	五回 三十六分	五回 三十三分	五回 三十分	五回 二十七分	五回 二十四分
卯寅半	七回五回 七分半	七回五回 五分	七回五回 二分半	七回五回	六回四回 五十六分半	六回四回 五十五分	六回四回 五十二分半	六回四回 五十分	六回四回 四十七分半	六回四回 四十五分	六回四回 四十二分半	六回四回 四十分	六回四回 三十七分半	六回四回 三十五分	六回四回 三十二分半	六回四回 三十分
辰寅	八回四回 六分	八回四回 四分	八回四回 二分	八回四回	七回三回 五十八分	七回三回 五十六分	七回三回 五十四分	七回三回 五十二分	七回三回 五十分	七回三回 四十八分	七回三回 四十六分	七回三回 四十四分	七回三回 四十二分	七回三回 四十分	七回三回 三十八分	七回三回 三十六分
辰丑半	九回三回 四分半	九回三回 三分	九回三回 一分半	九回三回	八回二回 五十八分半	八回二回 五十七分	八回二回 五十五分半	八回二回 五十四分	八回二回 五十二分半	八回二回 五十一分	八回二回 四十九分半	八回二回 四十八分	八回二回 四十六分半	八回二回 四十五分	八回二回 四十三分半	八回二回 四十二分
巳丑	十回二回 三分	十回二回 二分	十回二回 一分	十回二回	九回一回 五十九分	九回一回 五十八分	九回一回 五十七分	九回一回 五十六分	九回一回 五十五分	九回一回 五十四分	九回一回 五十三分	九回一回 五十二分	九回一回 五十一分	九回一回 五十分	九回一回 四十九分	九回一回 四十八分
巳子半	十一回一回 一分半	十一回一回 一分	十一回一回 五厘	十一回一回	十回十二回 五十九分半	十回十二回 五十九分	十回十二回 五十八分半	十回十二回 五十八分	十回十二回 五十七分半	十回十二回 五十七分	十回十二回 五十六分半	十回十二回 五十六分	十回十二回 五十五分半	十回十二回 五十五分	十回十二回 五十四分半	十回十二回 五十四分
午子	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
午亥半	十二回十一回 五十八分半	十二回十一回 五十九分	十二回十一回 五十九分半	一回十一回	一回十一回 五厘	一回十一回 一分	一回十一回 一分半	一回十一回 二分	一回十一回 二分半	一回十一回 三分	一回十一回 三分半	一回十一回 四分	一回十一回 四分半	一回十一回 五分	一回十一回 五分半	一回十一回 六分
未亥	一回九回 五十七分	一回九回 五十八分	一回九回 五十九分	二回九回	二回十回 一分	二回十回 二分	二回十回 三分	二回十回 四分	二回十回 五分	二回十回 六分	二回十回 七分	二回十回 八分	二回十回 九分	二回十回 十分	二回十回 十一分	二回十回 十二分
未戌半	二回八回 五十五分半	二回八回 五十七分	二回八回 五十八分半	三回八回	三回九回 一分半	三回九回 三分	三回九回 四分半	三回九回 六分	三回九回 七分半	三回九回 九分	三回九回 十分半	三回九回 十二分	三回九回 十三分半	三回九回 十五分	三回九回 十六分半	三回九回 十八分
申戌	三回七回 五十四分	三回七回 五十六分	三回七回 五十八分	四回七回	四回八回 二分	四回八回 四分	四回八回 六分	四回八回 八分	四回八回 十分	四回八回 十二分	四回八回 十四分	四回八回 十六分	四回八回 十八分	四回八回 二十分	四回八回 二十二分	四回八回 二十四分
申酉半	四回六回 五十二分半	四回六回 五十五分	四回六回 五十七分半	五回七回	五回七回 二分半	五回七回 五分	五回七回 七分半	五回七回 十分	五回七回 十二分半	五回七回 十五分	五回七回 十七分半	五回七回 二十分	五回七回 二十二分半	五回七回 二十五分	五回七回 二十七分半	五回七回 三十分
酉	五回 五十一分	五回 五十四分	五回 五十七分	六回	六回 三分	六回 六分	六回 九分	六回 十二分	六回 十五分	六回 十八分	六回 二十一分	六回 二十四分	六回 二十七分	六回 三十分	六回 三十三分	六回 三十六分

	二十八中					二十九節		
卯	五回	五回 三分	五回 六分	五回 九分	五回 十二分	五回 十五分	五回 十八分	五回 二十一分
卯寅半	六回四回 十分	六回四回 十二分半	六回四回 十五分	六回四回 十七分半	六回四回 二十分	六回四回 二十二分半	六回四回 二十五分	六回四回 二十七分半
辰寅	七回三回 二十分	七回三回 二十二分	七回三回 二十四分	七回三回 二十六分	七回三回 二十八分	七回三回 三十分	七回三回 三十二分	七回三回 三十四分
辰丑半	八回二回 三十分	八回二回 三十一分半	八回二回 三十三分	八回二回 三十四分半	八回二回 三十六分	八回二回 三十七分半	八回二回 三十九分	八回二回 四十分半
巳丑	九回一回 四十分	九回一回 四十一分	九回一回 四十二分	九回一回 四十三分	九回一回 四十四分	九回一回 四十五分	九回一回 四十六分	九回一回 四十七分
巳子半	十回十二回 五十分	十回十二回 五十分半	十回十二回 五十一分	十回十二回 五十一分半	十回十二回 五十二分	十回十二回 五十二分半	十回十二回 五十三分	十回十二回 五十三分半
午子	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
午亥半	一回十一回 十分	一回十一回 九分半	一回十一回 九分	一回十一回 八分半	一回十一回 八分	一回十一回 七分半	一回十一回 七分	一回十一回 六分半
未亥	二回十回 二十分	二回十回 十九分	二回十回 十八分	二回十回 十七分	二回十回 十六分	二回十回 十五分	二回十回 十四分	二回十回 十三分
未戌半	三回九回 三十分	三回九回 二十八分半	三回九回 二十七分	三回九回 二十五分半	三回九回 二十四分	三回九回 二十二分半	三回九回 二十一分	三回九回 十九分半
申戌	四回八回 四十分	四回八回 三十八分	四回八回 三十六分	四回八回 三十四分	四回八回 三十二分	四回八回 三十分	四回八回 二十八分	四回八回 二十六分
申酉半	五回七回 五十分	五回七回 四十七分半	五回七回 四十五分	五回七回 四十二分半	五回七回 四十分	五回七回 三十七分半	五回七回 三十五分	五回七回 三十二分半
酉	七回	六回 五十七分	六回 五十四分	六回 五十一分	六回 四十八分	六回 四十五分	六回 四十二分	六回 三十九分

		三十八節						
四回 三十三分	四回 三十六分	四回 三十九分	四回 四十二分	四回 四十五分	四回 四十八分	四回 五十一分	四回 五十四分	四回 五十七分
五回三回 四十七分半	五回三回 五十分	五回三回 五十二分半	五回三回 五十五分	五回三回 五十七分半	六回四回	六回四回 二分半	六回四回 五分	六回四回 七分半
七回三回 二分	七回三回 四分	七回三回 六分	七回三回 八分	七回三回 十分	七回三回 十二分	七回三回 十四分	七回三回 十六分	七回三回 十八分
八回二回 十六分半	八回二回 十八分	八回二回 十九分半	八回二回 二十一分	八回二回 二十二分半	八回二回 二十四分	八回二回 二十五分半	八回二回 二十七分	八回二回 二十八分半
九回一回 三十一分	九回一回 三十二分	九回一回 三十三分	九回一回 三十四分	九回一回 三十五分	九回一回 三十六分	九回一回 三十七分	九回一回 三十八分	九回一回 三十九分
十回十二回 四十五分半	十回十二回 四十六分	十回十二回 四十六分半	十回十二回 四十七分	十回十二回 四十七分半	十回十二回 四十八分	十回十二回 四十八分半	十回十二回 四十九分	十回十二回 四十九分半
十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
一回十一回 十四分半	一回十一回 十四分	一回十一回 十三分半	一回十一回 十三分	一回十一回 十二分半	一回十一回 十二分	一回十一回 十一分半	一回十一回 十一分	一回十一回 十分半
二回十回 二十九分	二回十回 二十八分	二回十回 二十七分	二回十回 二十六分	二回十回 二十五分	二回十回 二十四分	二回十回 二十三分	二回十回 二十二分	二回十回 二十一分
三回九回 四十三分半	三回九回 四十二分	三回九回 四十分半	三回九回 三十九分	三回九回 三十七分半	三回九回 三十六分	三回九回 三十四分半	三回九回 三十三分	三回九回 三十一分半
四回八回 五十八分	四回八回 五十六分	四回八回 五十四分	四回八回 五十二分	四回八回 五十分	四回八回 四十八分	四回八回 四十六分	四回八回 四十四分	四回八回 四十二分
六回八回 十二分半	六回八回 十分	六回八回 七分半	六回八回 五分	六回八回 二分半	六回八回	五回七回 五十七分半	五回七回 五十五分	五回七回 五十二分半
七回 二十七分	七回 二十四分	七回 二十一分	七回 十八分	七回 十五分	七回 十二分	七回 九分	七回 六分	七回 三分

				三七中				
卯	四回 三十分	四回 二十七分	四回 二十四分	四回 二十一分	四回 十八分	四回 十五分	四回 十二分	四回 九分
卯寅半	五回 三回 四十五分	五回 三回 四十二分半	五回 三回 四十分	五回 三回 三十七分半	五回 三回 三十五分	五回 三回 三十二分半	五回 三回 三十分	五回 三回 二十七分半
辰寅	七回 二回	六回 二回 五十八分	六回 二回 五十六分	六回 二回 五十四分	六回 二回 五十二分	六回 二回 五十分	六回 二回 四十八分	六回 二回 四十六分
辰丑半	八回 二回 十五分	八回 二回 十三分半	八回 二回 十二分	八回 二回 十分半	八回 二回 九分	八回 二回 七分半	八回 二回 六分	八回 二回 四分半
巳丑	九回 一回 三十分	九回 一回 二十九分	九回 一回 二十八分	九回 一回 二十七分	九回 一回 二十六分	九回 一回 二十五分	九回 一回 二十四分	九回 一回 二十三分
巳子半	十一回 十二回 四十五分	十一回 十二回 四十四分半	十一回 十二回 四十四分	十一回 十二回 四十三分半	十一回 十二回 四十三分	十一回 十二回 四十二分半	十一回 十二回 四十二分	十一回 十二回 四十一分半
午子	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
午亥半	一回 十一回 十五分	一回 十一回 十五分半	一回 十一回 十六分	一回 十一回 十六分半	一回 十一回 十七分	一回 十一回 十七分半	一回 十一回 十八分	一回 十一回 十八分半
未亥	二回 十回 三十分	二回 十回 三十一分	二回 十回 三十二分	二回 十回 三十三分	二回 十回 三十四分	二回 十回 三十五分	二回 十回 三十六分	二回 十回 三十七分
未戌半	三回 九回 四十五分	三回 九回 四十六分半	三回 九回 四十八分	三回 九回 四十九分半	三回 九回 五十一分	三回 九回 五十二分半	三回 九回 五十四分	三回 九回 五十五分半
申戌	五回 九回	五回 九回 二分	五回 九回 四分	五回 九回 六分	五回 九回 八分	五回 九回 十分	五回 九回 十二分	五回 九回 十四分
申酉半	六回 八回 十五分	六回 八回 十七分半	六回 八回 二十分	六回 八回 二十二分半	六回 八回 二十五分	六回 八回 二十七分半	六回 八回 三十分	六回 八回 三十二分半
酉	七回 三十分	七回 三十三分	七回 三十六分	七回 三十九分	七回 四十二分	七回 四十五分	七回 四十八分	七回 五十一分

四七節					四六中			五六節
四回 六分	四回 三分	四回	三回 五十七分	三回 五十四分	三回 五十一分	三回 四十八分	三回 四十五分	三回 四十二分
五回 三回 二十五分	五回 三回 二十二分半	五回 三回 二十分	五回 三回 十七分半	五回 三回 十五分	五回 三回 十二分半	五回 三回 十分	五回 三回 七分半	五回 三回 五分
六回 二回 四十四分	六回 二回 四十二分	六回 二回 四十分	六回 二回 三十八分	六回 二回 三十六分	六回 二回 三十四分	六回 二回 三十二分	六回 二回 三十分	六回 二回 二十八分
八回 二回 三分	八回 二回 一分半	八回 二回	八回 一回 五十八分半	七回 一回 五十七分	七回 一回 五十五分半	七回 一回 五十四分	七回 一回 五十二分半	七回 一回 五十一分
九回 一回 二十二分	九回 一回 二十一分	九回 一回 二十分	九回 一回 十九分	九回 一回 十八分	九回 一回 十七分	九回 一回 十六分	九回 一回 十五分	九回 一回 十四分
十一回 十二回 四十一分	十一回 十二回 四十分半	十一回 十二回 四十分	十一回 十二回 三十九分半	十一回 十二回 三十九分	十一回 十二回 三十八分半	十一回 十二回 三十八分	十一回 十二回 三十七分半	十一回 十二回 三十七分
十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
一回 十一回 十九分	一回 十一回 十九分半	一回 十一回 二十分	一回 十一回 二十分半	一回 十一回 二十一分	一回 十一回 二十一分半	一回 十一回 二十二分	一回 十一回 二十二分半	一回 十一回 二十三分
二回 十回 三十八分	二回 十回 三十九分	二回 十回 四十分	二回 十回 四十一分	二回 十回 四十二分	二回 十回 四十三分	二回 十回 四十四分	二回 十回 四十五分	二回 十回 四十六分
三回 九回 五十七分	三回 九回 五十八分半	四回 十回	四回 十回 一分半	四回 十回 三分	四回 十回 四分半	四回 十回 六分	四回 十回 七分半	四回 十回 九分
五回 九回 十六分	五回 九回 十八分	五回 九回 二十分	五回 九回 二十二分	五回 九回 二十四分	五回 九回 二十六分	五回 九回 二十八分	五回 九回 三十分	五回 九回 三十二分
六回 八回 三十五分	六回 八回 三十七分半	六回 八回 四十分	六回 八回 四十二分半	六回 八回 四十五分	六回 八回 四十七分半	六回 八回 五十分	六回 八回 五十二分半	六回 八回 五十五分
七回 五十四分	七回 五十七分	八回	八回 三分	八回 六分	八回 九分	八回 十二分	八回 十五分	八回 十八分

	五中
卯	三回 三十九分
卯寅半	五回三回 二分半
辰寅	六回二回 三十六分
辰丑半	七回二回 三十六分
巳丑	九回一回 四十九分半
巳子半	十回十二回 三十六分半
午子	十二回
午亥半	一回十一回 二十二分半
未亥	二回十回 四十七分
未戌半	四回十回 十分半
申戌	五回九回 三十四分
申酉半	六回八回 五十七分半
酉	八回 二十二分

東都定刻終

定刻附餘

卯	三回 三十六分	三回 三十三分	三回 三十分
卯寅半	五回三回	四回二回 五十七分半	四回二回 五十五分
辰寅	六回二回 二十四分	六回二回 二十二分	六回二回 二十分
辰丑半	七回一回 四十八分	七回一回 四十六分半	七回一回 四十五分
巳丑	九回一回 十二分	九回一回 十一分	九回一回 十分
巳子半	十回十二回 三十六分	十回十二回 三十五分半	十回十二回 三十五分
午子	十二回	十二回	十二回
午亥半	一回十一回 二十四分	一回十一回 二十四分半	一回十一回 二十五分
未亥	二回十回 四十八分	二回十回 四十九分	二回十回 五十分
未戌半	四回十回 十二分	四回十回 十三分半	四回十回 十五分
申戌	五回九回 三十六分	五回九回 三十八分	五回九回 四十分
申酉半	七回九回	七回九回 二分半	七回九回 五分
酉	八回 二十四分	八回 二十七分	八回 三十分

三回 二十七分	三回 二十四分	三回 二十一分	三回 十八分	三回 十五分	三回 十二分	三回 九分	三回 六分	三回 三分
四回二回 五十二分半	四回二回 五十分	四回二回 四十七分半	四回二回 四十五分	四回二回 四十二分半	四回二回 四十分	四回二回 三十七分半	四回二回 三十五分	四回二回 三十二分半
六回二回 十八分	六回二回 十六分	六回二回 十四分	六回二回 十二分	六回二回 十分	六回二回 八分	六回二回 六分	六回二回 四分	六回二回 二分
七回一回 四十三分半	七回一回 四十二分	七回一回 四十分半	七回一回 三十九分	七回一回 三十七分半	七回一回 三十六分	七回一回 三十四分半	七回一回 三十三分	七回一回 三十一分半
九回一回 九分	九回一回 八分	九回一回 七分	九回一回 六分	九回一回 五分	九回一回 四分	九回一回 三分	九回一回 二分	九回一回 一分
十回十二回 三十四分半	十回十二回 三十四分	十回十二回 三十三分半	十回十二回 三十三分	十回十二回 三十二分半	十回十二回 三十二分	十回十二回 三十一分半	十回十二回 三十一分	十回十二回 三十分半
十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回	十二回
一回十一回 二十五分半	一回十一回 二十六分	一回十一回 二十六分半	一回十一回 二十七分	一回十一回 二十七分半	一回十一回 二十八分	一回十一回 二十八分半	一回十一回 二十九分	一回十一回 二十九分半
二回十回 五十一分	二回十回 五十二分	二回十回 五十三分	二回十回 五十四分	二回十回 五十五分	二回十回 五十六分	二回十回 五十七分	二回十回 五十八分	二回十回 五十九分
四回十回 十六分半	四回十回 十八分	四回十回 十九分半	四回十回 二十一分	四回十回 二十二分半	四回十回 二十四分	四回十回 二十五分半	四回十回 二十七分	四回十回 二十八分半
五回九回 四十二分	五回九回 四十四分	五回九回 四十六分	五回九回 四十八分	五回九回 五十分	五回九回 五十二分	五回九回 五十四分	五回九回 五十六分	五回九回 五十八分
七回九回 七分半	七回九回 十分	七回九回 十二分半	七回九回 十五分	七回九回 十七分半	七回九回 二十分	七回九回 二十二分半	七回九回 二十五分	七回九回 二十七分半
八回 三十三分	八回 三十六分	八回 三十九分	八回 四十二分	八回 四十五分	八回 四十八分	八回 五十一分	八回 五十四分	八回 五十七分

卯	三回	二回 五十七分	二回 五十四分
卯寅半	四回二回 三十分	四回二回 三十七分半	四回二回 三十五分
辰寅	六回二回	五回一回 五十八分	六回一回 五十六分
辰丑半	七回一回 三十分	七回一回 三十八分半	七回一回 三十七分
巳丑	九回一回	八回十二回 五十九分	八回十二回 五十八分
巳子半	十回十二回 三十分	十回十二回 三十九分半	十回十二回 三十九分
午子	十二回	十二回	十二回
午亥半	一回十一回 三十分	一回十一回 三十分半	一回十一回 三十一分
未亥	三回十一回	三回十一回 一分	三回十一回 二分
未戌半	四回十回 三十分	四回十回 三十一分半	四回十回 三十三分
申戌	六回十回	六回十回 二分	六回十回 四分
申酉半	七回九回 三十分	七回九回 三十二分半	七回九回 三十五分
酉	八回 五十四分（九回）	九回 三分	九回 六分

右十五行東都ヨリ日ノ永キ国ノ用ニ備フ東都ニテハ用無シ

跋

昔者聖人旋璣玉衡以齊七政以授人時云西洋時辰儀亦其類也彼則以此量日之行度而過於溟渤之中不迷是器傳于　本邦已久矣人略知驗理而寡明辨者小川友忠獨精於此推歩自思卒得知長短廣狹天度而著一書名曰浩測時辰儀之用於此乎明矣而前之疑團消然冰解豈不愉快乎一日友忠謁予曰夫子在川上曰逝者如斯夫聖人觀於物其如此人於時辰儀亦復爾不啻知一日之景夫授時之宜亦不差乎可謂友忠喩於義者予感其言因爲之跋云爾

雲州藩侍醫　藤山豊識

此方[illegible]割合

石灰　壱石

灰釉　五斗

唐土[illegible]　但[illegible]入

小豆砂利　弐斗[illegible]

小から差引 二斥

代指之家二つ

川銀

○四匁五り　左定

内 合弐匁　五分

内 [illegible]

合弐匁 [illegible] 評文代

[illegible] 少から [illegible] の代

○九匁 [illegible]

[illegible] 振 [illegible] 実 [illegible] 来力

評文 [illegible]

但 [illegible] 用 [illegible] 評文代 [illegible]

[illegible]

時辰儀問答

渋川景佑著

客問て曰西洋製造の根付時計を観るに其時分を本邦に用ゆる処殆平等時分と相違ある者なり是の理なるや其理甚しく明らかなし

答曰近世西士の説又ハ漢土古説のごとく恒星ハ東より西へ動事古一定なりて変ずる事なし又経星ハ又常へ [illegible] 人 [illegible] 動を観る [illegible] 実動天ハ常に [illegible] 東ハ西に毎日左旋一周する其の行を見るのミ也太陽ハ [illegible] 黄道上ハ実左して

黄道赤道の形勢の解 [illegible] 詳暦書に詳なり [illegible] 実動天ハ常に [illegible] 毎日東に [illegible] 左旋

一周し又自動の平行ありて黄道上を西より東に毎日右旋する平行 [illegible]

毎日一度 [illegible] 人目を黄道の小 [illegible] 太陽黄道上を右旋し毎日東行する [illegible] 設如ハ今日午宮 [illegible] 一星

午正に太陽と同く南中するに次日ハ其午宮 [illegible] 一星ハ午正稍前に又南中

[illegible] 先立 [illegible] 太陽ハ自動の平行 [illegible] 恒

[illegible] 日々 [illegible] 午正に [illegible] のなり　又 [illegible] 今 [illegible] 六時 [illegible] 一星午中 [illegible] 次日 [illegible] 六時四分 [illegible] 南中し又 [illegible] 次日ハ [illegible] 六時

三分に南中し次第に南中の今西洋根付時計の一周時分も黄道左旋一周より
あまりを前よりも亦此理と同し
之遅に復する三百六十度に太陽毎日平行一度を加へ三百六十一度を得る是
を太陽毎日平行左旋黄道度と名く此左旋黄道度し一周天となるを定て二
十四時と成し是を平刻と云是を平時一周と云 即平時を平常又均数の定まる
即此平時一周の本意也 あり西洋諸暦も亦平時と留
も理なる前に詳にあり
元遅に復る三百六十度に太陽一日赤道行 本邦に用る置時平常時分を赤道左旋一周して
上に移し現在の行を云又元時刻を云 即人目を赤道の北極に当て太陽黄度上に在て毎日自行一度あるを赤道
生赤を赤に随て是を測る成に時刻あるで赤道上の度なり 上に移し現在を加へ是
を太陽毎日赤道行左旋赤道度と名く此左旋赤道度の一周天して元遅に
復する是を定て十二時と前し此を平刻と為即今日太陽正南に至り又翌日正
南に至る 或は今日子正より翌日子正に至る亦同し 是を用時一周と云 万民の用る時となるとあり西人此用時を真又時視時と云と云あり
本邦に至て暦術の仰の行刻又時辰何時何分と云は又皆此用時一周に於て立る
数にして必し根付時計のやうに本邦時一周に於て立る遅数流に在る是根付時計の
時分と本邦に用る置時平常時分と共に於て立る一周なり通俗根付時計の

原理を知らずして根付時計の二時を以て昼夜置時平常の一時に正当と
為せる者多し誤の甚しと云べし 蓋彼実時の二時を以て公合平常時分の一時に正当する行と為す 大太陽自
動して平行亦其度も四時に同て盈縮の差あり其最大なる者殆と二度に及び
太陽一日赤道行は四時共常なるを得ず又黄道は赤道に斜絡せる是を以て四象限
に分つ時は其象限に所謂句股弦の形を為し冬夏二至春秋二分前後に於て
或は股弦の差を生し或は股弦の差を生しは是を名て黄赤升度差と云是
最大なる者亦二度半に至る 盈縮差及升度差を生ずる諸暦書に詳なり故に略す 此二差を加減する所は四度半に
至る是平時一周と用時との最大の差を為す時と為是を刻数に変すれは一刻余
となる依て此盈縮差と升度差を時分に変し加減し時差総と名く是を根
付時計より測る平時分に必加減すれは本邦置時平常の用時分と成る所の
理也是故に四時に同て太陽南中を根付時計の午正前に至る事あり又午正後
に至る事あり 精密を論すれは毫中に微差を生す 尚後に詳にす 近年西人用時
平時の分別あるを通俗に知らしめんと欲して時差総の簡略なる一表を造る

看ありしを世に流布せり依て今度一ヶ数を設て根分時計の用方を解せる
左の如し　但今度に解せるに用ゆる時差総表ハ最精細にして世に流布せる
簡略なる者に比すれバ少しく異なる所あり其用の為なり
設如今年正月十七日江戸に於て南中用時午正十二時を測り得而して根分時計に於て此
時ハ何時なるを知らんとすれバ先ツ時差総表を見るに本日時差総減号一十四分
三十二秒　時差総の解別に詳にす　なるを以て用時午正の十二時に此時差総を加へ　時差総の加減号ハ反対に平
時を求る為なり今用時を定て平時を求る所に減号なるを反して加号と為せり
午正十二時に通せる平時分を得せる所に今年正月十七日に於て根分時計に於て十二
時一十四分三十二秒の時を差九ッ時と為し得べきを知る又若し根分時計に於て時分を
測りて用時を求んとならバ設如今根分時計を用ひて月食初虧を
測るに九時三十〇分五十七秒を得る者ありて時差総表を視るに本日時差総
減号三分五十七秒次日時差総減号四分四十五秒其較四十八秒と従ひ弾率根分時計
にてハ本日用時午正八十二時〇三分五十七秒次日用時午正之十二時〇四分四十五秒に
当るを知る仍て本日根分時計の用時一周ハ二十四時〇〇分四十八秒あり　即根分時計の

平時一周二十四時と本日次日の時差総四十八秒とを加ふる者又次日用時午十二時〇四分四十五秒
ハ二十四時を加へ因て本日用時午正十二時〇三分五十七秒を減せるものハ亦同し
又測得る初虧時分の内本日時差総を減し九時二十七分を得て従用時初虧
と為せバ是に於て一比例を施せる左の如し

一率　二十四時〇〇分四十八秒　根分時計用時一周
二率　四十八秒　時差総較
三率　九時二十七分　従用時初虧
四率　減差一十九秒　是即差中の微差

右の二率と三率とを相乗し一率にて除き四率に一十九秒を得る仍て本日時差総
と此一十九秒とを相加へ　時差総若し少後多なれバ相加若し多後少なれバ相減　四分一十六秒を得て本時時差総と
為せバ之を測得る初虧を減し余九時二十六分四十一秒を得て用時初虧と為せ
余も此に準知せよ

也動物人目を距ること遠けれハ其體を視るや小にして其行動も亦遅しく人目
に近けれハ其體を視るや大にして其行動も亦疾し彼如き海岸に
立て船行を観るに後岸を距ること遠き船ハ其視體較小にして其行や
遅し後岸を距る近き船ハ其視體較大にして其行や速なるの理と同し
今太陽を測るに時として其體徑大なれハ一日の行動の度ハ多く時として
其體徑小なれハ一日の行動の度ハ少し然も別に太陽の時に因て人を距
離することの遠近早あることを知るの遠近早を為すハ必地心を求て其行天の
心と為ることを知るへし古人発揮する所の太陽行動も時に因て盈
縮あるの理乃虚妄なることを察すへし仍て古今星学者太陽の行
動に視行と平行との分別ある事を悟る蓋し視行とハ人地面に立て
視る太陽毎日の行度にして四時に因て其度不齊しかして乃其一日赤
道行最小なる者を五十三分零秒と為す即太陽黄道經度三宮七度にあり
して其變最大にして均數加号ありて後多に其變最小なる時なり或ハ八宮二十三度に
あり是黄赤升度差加号ありて後小にして亦其變最大にして均數減号ありて後多

其變稍小なる時なり　最大なる者を一度〇六分四十秒と為す即太陽黄道經度初宮或ハ六宮初度内外にあり
是最小なる者と其數理相同し　平行とハ人太陽行天の心に立て視るへき太陽毎日の行度
にして而して萬古に至て消長することなき者なり
前説の如く人目に視る所の赤道上太陽一日の右旋行其赤道に相同して加減
仍て精細に一日の分數を論して其最短なる者を求る時ハ其法左の如し

一率　周天与太陽每日平行之和　化秒　一二九九五四八秒
二率　一百刻
三率　周天与最小太陽一日赤道行之和　化秒　一二九九二三〇秒
四率　最永一日刻數一百刻〇二分八四

最永と最短との差五分九三たり即時辰儀に在てハ五十一秒有奇にして
其差甚微なり
前論の如く太陽の行天ハ人居地球心即天心　恒星を以て心と為して其心と
其所是必地心にあり因て太陽の恒星天即黄道に満る形ハ其行天心より

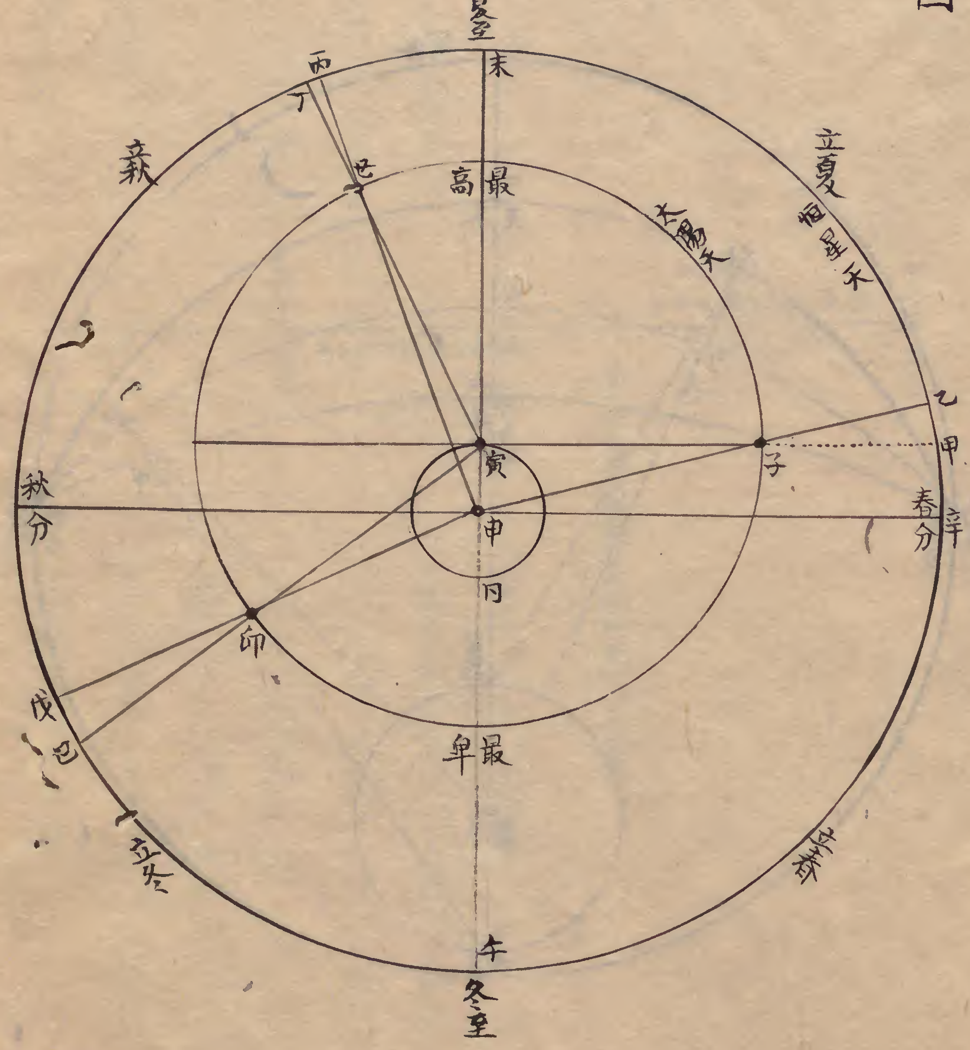
視て地心より視ると示差なり其図解左のごとし
第一図のごとく甲を地球心とし乙丙戌を恒星天圏とし寅を太陽天心とし
子丑卯を太陽天圏とし太陽子に在る時其本天心寅より之を視るときは恒星
天の甲に当る地心甲より之を視るときは其甲乙流を仮に
盈差と為す其差地心甲より視る太陽も本天心寅より視る太陽の東に当る
故に盈差と云ふ其最大数を二度五十五分三十二秒と為す 縮差最大亦同
其時平行経度 午寅甲角 縮少して実行経度 午申乙角 盈大なり其差にして
盈差と云ふ是実寅子申角の度即ち卯乙申辛角亦同し故に甲乙は
其の盈差にあたり後諸説に徴す
若太陽丑に在る時其本天心寅より之を視るときは恒星天の丁に当る地心甲
より之を視るときは恒星天の丙に当る其丙丁流を仮に縮差と為す其差地心
甲より視る太陽も本天心寅より視る太陽の西に当る故に縮差と云ふ
其時平行経度 未寅丁角 盈大にして実行経度 未申丙角 縮少なり 後除

亦同
若太陽卯に在る時其本天心寅より之を視るときは恒星天の巳に当る地心甲より
之を視るときは恒星天の戌に当る其戌巳流を仮に縮差と為す
此盈縮差は西法に在ては均数と云ふ蓋し平行に加減する実行を均整
して平等なる行度を算出するの差数たるの意なり即ち実行よりして平行
を求むる其両目の質名あり
凡時刻を算するは太陽の赤道上の度に当る刻を以て其時と為す仮如ば太陽赤道
上の度正の宮に当るときは即ち今の時刻を辰正初刻と云ふ赤道上の巳初の宮に当
るときは即ち今の時刻を巳初一刻と云ふの類なり然るに前論のごとく暦算の算
得数は黄道極或地心より視る黄道上の度にして赤道上の度にあらず故に其
差あるの差度を赤道に升度の差と云ふ其図解左のごとし
第二図のごとく今若し太陽乙に在る時黄極子より之を視るときは其黄道上の度
を巳乙流と為す 巳子乙角 北極辛より之を視るときは其赤道上の度を戌丁流と

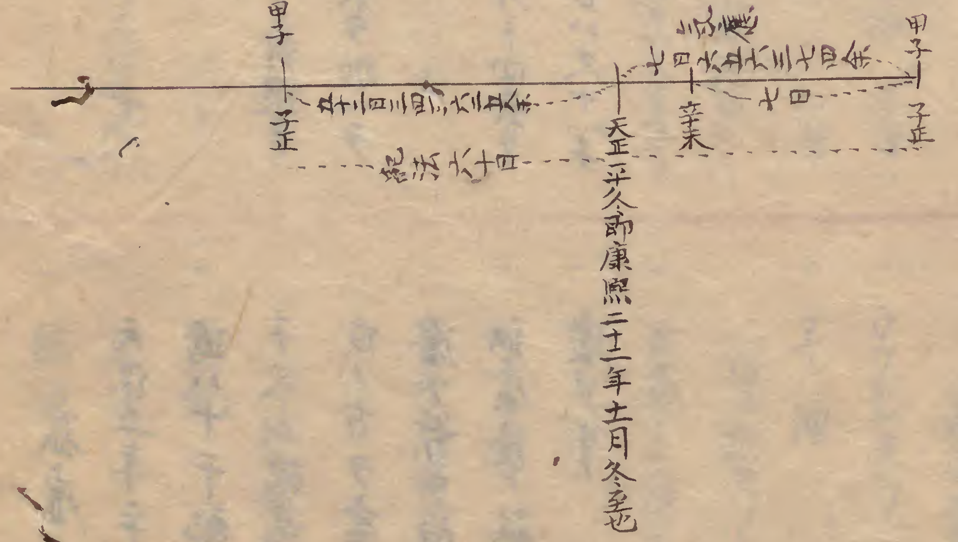
為す卯角戌辛戌丁赤道上の度より小なり又其後太陽
甲に至る時黄極丑より之を視れハ黄道上の度を子甲卯と為す（卯子巳甲角）
北極辛より之を視れハ赤道上の度を戌丙卯と為す戌丙赤道上の度を
子甲黄道上の度より大なり乃推歩し得数は黄道上の度なり得数を
赤道上の度なりとせバ推歩数を以て測量数に勝負ありこれを較正す必す
黄道上の度と赤道上の度との差を以て推歩し数に加減すべきなり之を加減する
差度の最大数は二度二十八分〇八秒と為す
秋分乃最大盈縮は二度二十二分二十二秒と最大外度は二度二十八分〇八秒と
其余四度二十三分四十秒を以て之を時刻に変して一刻二十二分〇七秒（一周日一百
刻の算）又一刻〇二分三十五秒（周日九十六刻の算）或一分〇三十五秒四百秒（周日八万六千四百秒の算）とす
自鳴鐘及ひ尺時計のやうな粗漏の器具を用ひて論するは洋製の時辰
儀といへども猶ほ巧なる此なし其道為の就源を考ふるに古今共に一日を細分して
本邦にて一百万秒又百刻とし西洋にて八万六千四百秒又九十六刻と一定す

源に論するか如く太陽は時刻を行る標的たれハ人の生る所又太陽行天の心と
其形の不同で太陽会る数年をもって一歳とす月より旬の数年をの正月に始り一周天する
秋数は時節に依らず其差あり其大一定せる八万六千四百秒を以て順に八万六千
四百秒より或は盈あり或は縮ありて一定せざる太陽一周の秋数に相会に至らしむる
其差会を為して天を験する所以其本旨にて会を為して天に験する之を算して之ル
天に以て会をもとむるを主とし故に昔より太陽行天の心（第一図の寅点）に立て太陽
の行動を測る時は毎日右旋の行に絶へず盈縮あり終古一定し亦従て毎日晷
に一周せず此の如くなれバ太陽の行動を視るに盈縮あるの周で之に依らず
一日を細分する秒数者に太陽行天一周の秒数と相会せしめ天行に協ふる
なし乃推算に便にして太陽の行動とに相合する数を設定し一日の秒数を
八万六千四百秒と為し而して時辰儀亦八万六千四百秒を以て一周と為さしむる所
如き別時辰儀ハ其に天行に別ち造る所の候器とす下周で以て天時辰儀と
名つけ可なり之を以て人は皆太陽天心に依りし行るに周て時辰儀を用ひて実

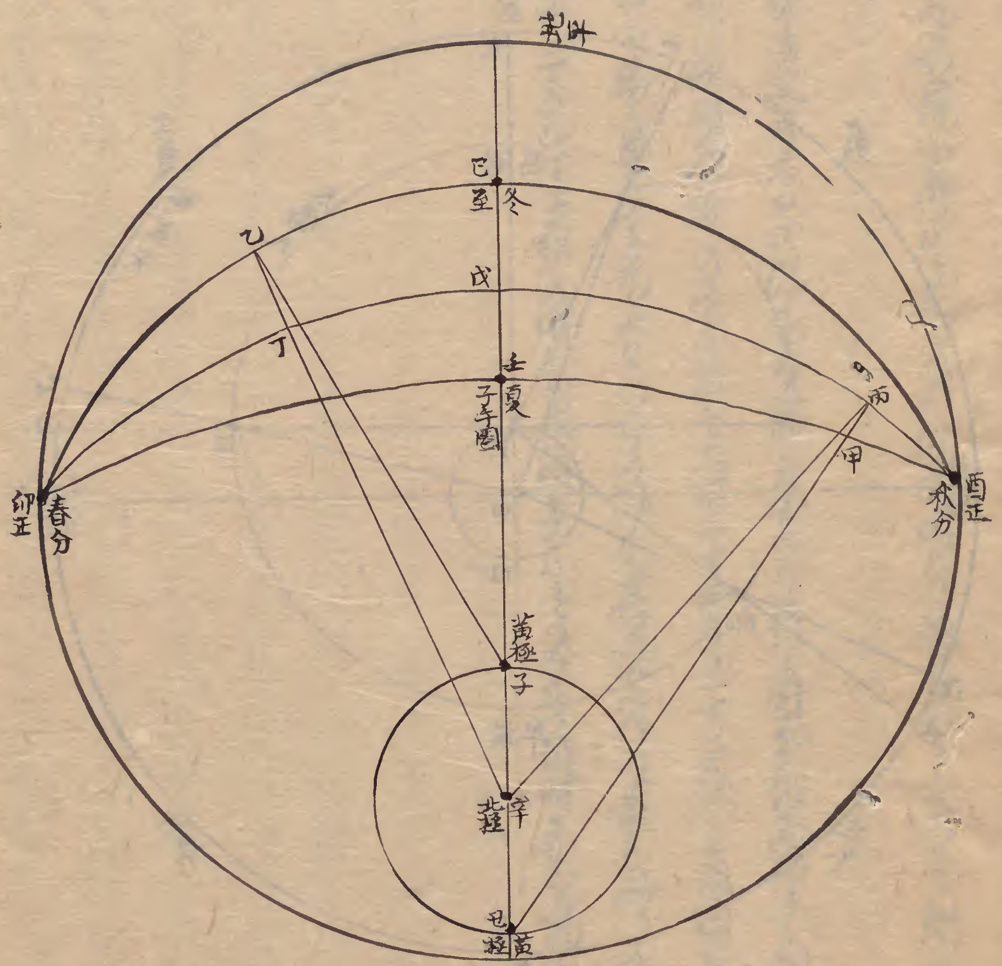
第一図



測ることの時辰表の帰差の測時の時分を悉く差引し各其測得時分に加減
するなり
設如し立春後五日六分の頃に太陽天心より行く時分地面にて測る時分との
盈し最大ならば即時辰儀の子正後十二時一十四分三十二秒を用時午正と為す後此
時太陽正南に来る又冬至前五日六日の頃は其帰差の最大なり即時辰儀の子
正後十一時四十三分四十二秒の時を用時午正と為す此時ニ太陽正南に来る



第二図



破軍星クリヤウ

時四ニテ月ノ数

譬ヘハ
正月戌ノ時ナレハ戌亥子丑ト刻限ヨリ
四ツ去リ月ノ数正月一ヶ寅ヲ加ヘテ
スナハチ寅ノ方斂先之
二月子ノ時ナレハ子丑寅卯ト四去リ
二月ニト辰巳ヲ加ヘテ見レハスナハチ
巳ノ方斂先之

孤虚ニハ

天保五年午ノ年ナル故午ヨリ卯
迄ハ十干配スル故善ニ辰ニ至テ
干尽ル故是ヲ孤トス孤ニ對スル
戌ノ方ヲ虚トス孤ヲ後ロニシテ
虚ノ方ヲ討ヲ勝アリトス年ノ
孤虚月ノ孤虚日ノ孤虚時ノ孤
虚アリ

西洋刃物焼法

一 白蠟 四戔　一 葡萄牙油（ホルトカル） 三戔
一 白石鹸（サボン） 細削 二戔　一 炭酸鉄（ベニガラ） 二戔
右四味を磁器ニて細火ニて煮溶和し
沸ふ用ゆる時ハ随て刃面を濡ハして塗り
刃物を磨ニ妙也

万年墨製方

礬 三合
酒 三合
水 二合
十五文目ニ煎し多量ニ至り
ハ新一 入ル

雨除塗薬

一 ロクシヨウ 一掬
一 エノ油 五合
但し微火ニて煮る
一 鉛白 二ツ（大ブリ）
一 サトウ 二匕
一 ハイ墨（ヨキ粒ノ　マル粒ニする）
右五品混解して塗るへし

膠膏

一 黄蠟 百目
一 麻油 三合
一 綿油 四合

菖蒲之粉子一升を布に入れ
右之色注利[illegible]口を能く綱 三十日程
秘在此様者[illegible]用 中十 二三合
[illegible]水[illegible]入[illegible]
出[illegible]能[illegible]包 十

梅酒製法

一 梅四升 三盃
右一夜水ニ漬置梅を水を去り[illegible]
入而を二寸計下より上ニ揚る秘入能口ま
炙[illegible]三斗の紀色梅を[illegible]
包之

右三味[illegible]
[illegible]一日秘[illegible]
[illegible]之[illegible]

[illegible]製方

一 [illegible]の粉 葉[illegible]一[illegible]
水六[illegible] [illegible]水[illegible]
[illegible] [illegible]
[illegible]入[illegible]方
[illegible]

[illegible]製方
一 砂糖 四十目 一 [illegible]一[illegible]

砂糖[illegible]製法

一 砂糖 三斤 秘
[illegible]一斤[illegible]
[illegible]
[illegible]入[illegible]
[illegible]包之

蕨糊製方

一 蕨の粉[illegible]入[illegible]
[illegible]入
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 玉子 二ツ
[illegible]
[illegible]之

一 角の中[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

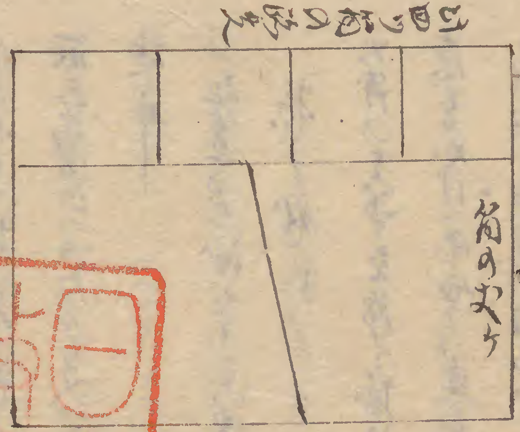
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

紙ニ包ミ掛ケカラ干シテ置候ヘハ
年々用ヒ而無難ニ候
右ハ書物ニ見ヘ又先輩ノ傳ニ而承リ候
之ヲ致シ験候処宜シ

宗エンノ葉

一 山葉　枸杞子　何首烏
　右四品各目宛
黒胡麻五合　白附霜少許
右細末ニ而練蜜ニ而丸シ毎夕二匁宛
酒ニテ一匁ツヽ用ヒ候ヘハ宗エンノ葉
ノ効能ハ及ブ候程ノ事ニ候
右胡麻ハ能クイリ候之

縦之



長サ深サ
二ツ分の切方

日本政府図書

国立公文書館
National Archives of Japan